

米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會會議錄(速記)第六回

付託議案  
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)(第五號)  
木炭需給調節特別會計法據置運轉資本臨時補足ニ關スル法律案(政府提出)(第一三號)  
食糧管理法案(政府提出)(第三九號)

會議

昭和十七年一月二十九日(木曜日)午前十時  
二十三分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 三善 信房君
- 理事岩瀨 亮君
- 理事濱地 文平君
- 理事森 幸太郎君
- 理事松本治一郎君
- 安倍 寬君
- 今成留之助君
- 小串 清一君
- 川島正次郎君
- 北原阿智之助君
- 高橋圓三郎君
- 成島 勇君
- 西川 貞一君
- 松浦周太郎君
- 村上 國吉君
- 山川賴三郎君
- 吉田 賢一君
- 淺沼稻次郎君
- 由谷 義治君
- 平野 力三君

出席政府委員左ノ如シ

- 農林大臣兼 拓務大臣 井野 碩哉君
- 農林次官 三浦 一雄君
- 農林省總務局長 重政 誠之君
- 農林省農政局長 岸 良一君
- 農林省山林局長 井出 正孝君
- 農林省水產局長 平岡 梓君
- 農林省食品局長 辻 謹吾君
- 農林省資材部長 岡本 直人君
- 農林書記官 笹山茂太郎君
- 農林省運輸局長 湯河 元威君
- 鐵道省運輸局長 堀木 鎌三君
- 樺太廳長官 小河 正儀君

獸獵獲禁止ニ關スル件(政府提出、貴族院  
送付)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣兼 拓務大臣 井野 碩哉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
米穀需給調節特別會計法中改正法律案  
(政府提出)

木炭需給調節特別會計據置運轉資本臨時  
補足ニ關スル法律案(政府提出)

食糧管理法案(政府提出)

野溝勝君

野溝委員 質問ノ順位ハ少シ違ヒマスガ、  
政府委員ノ關係デ木炭需給調節特別會計法  
律案ニ關シマシテ少シク質問ヲシテ見タイ  
ト存ジマス、政府ハ今回木炭需給調節特別  
會計ノ据置運轉資本トシテ九百萬圓ノ借入

金ヲナシ、臨時之ヲ補足スルコトヲ得ル爲  
ニ法律案ヲ出サレタノデアリマスガ、勿論  
此ノ需給調節特別會計ハ木炭ノ需給調節ト云  
フコトガ主ナルコトニナツテ居ルノデアリ  
マス、昨年以來此ノ木炭ノ需給調節ニ關ス  
ル問題ニ付キマシテハ議會ニ於テモ相當論  
議サレ、又國民ト致シマシテモ、木炭ノ需  
給調節ノ點ニ付キマシテハ非常ニ關心ヲ拂  
ハレテ來タノデアリマス、然ルニ此ノ木炭  
需給調節ノ問題ガ二年越ニ互ツテ指導ヲナ  
サレテ來タニ拘ラズ、本年ノ此ノ時期ニ至  
リマシテモ未ダ木炭ノ需給ノ圓滑ガ保タレ  
テ居ナイト云フコトハ洵ニ遺憾トスルモノ  
デアリマス、特ニ最近ハ近年ニナイ寒サデ  
アリマシテ、此ノ寒サヲ凌グノニハドウシ  
テモ木炭ガナクテハナラナイノデアリマス、  
勿論戰時下デアリマスガ故ニ、平時ノ如キ  
豐富ナル木炭ノ供給ヲ望ムト云フヤウナ不  
心得ナ國民ハナイノデアリマス、併シサリ  
トテ切符制、通帳制ニ依ル所ノ配給量位ハ  
必要ノ時期ニ自分ノ手許へ來ルト云フコト  
ニナルノデナクテハ、國民ト致シマシテモ  
全ク安心ハ出來マセヌ、特ニ生産地ニアル  
所ノ國民ナラバドンドン融通モ付クノデアリ  
マスガ、六大都市ヲ中心トシタ消費地ニ於  
ケル國民大衆ハ、生産地ニ於ケル國民トハ  
違ツテ非常ニ不安ヲ招イデ居ル、特ニ最  
近ノ東京方面ノ出廻リ狀況ヲ見マスト、  
餘程圓滑ニハナツテ居リマスケレドモ、東京

ノ如キハ毎日三十車ノ不足ヲ來シテ居ル狀  
態デアリマス、是ハ一ツノ實例デアリマス  
ガ、ナゼ斯ウ云フ不足ヲ來スノカ私共ハ見  
當ガ付カヌ、我ガ長野縣ノ如キハ生産縣デ  
ハアリマスケレドモ、國民全體ノ綜合生活  
ノ見地カラ——特ニ長野縣ノ如キハ中部地  
方デハ一番寒イ縣デアリマスガ、サウ云フ  
寒イ縣デアツテモ我慢シテ月々百萬貫近ク  
ノ木炭ヲ消費地ニ送ツテ居ルニモ拘ラズ、  
其ノ消費地ニ於キマシテハ依然トシテ不足  
ヲ來シテ居ル、斯ウ云フ風デハ甚ダ情ケナ  
イト私共考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ關  
シマシテ政府ハ此ノ木炭需給ノ調節ガ今日  
ヲ以テ最高ノ體制ヲ整ヘテ居ルト思ハレテ  
居ルノカ、或ハマダ——改善ヲシテ其ノ需  
給調節ヲ圖ラナケレバナラスト考ヘテ居ラ  
レルノカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シテ置キタイ  
ト存ジマス

井出政府委員 最近ノ木炭ノ主要消費地  
方面ニ對スル配給狀況ニ付キマシテ色々御  
心配ノ狀況ヲ伺ツタノデゴザイマス、此ノ  
點ニ付キマシテハ、多少私共モ懸念致シテ  
居ルノデアリマスガ、大體木炭ノ只今ノ需  
要最盛期ニ於キマスル主要消費地方ニ對ス  
ル需給關係ハ、先ヅ當初豫定ヲ致シマシタ  
所ニ比スレバ色々障礙ガアリマシタノデ、  
ソレヨリ十分ニ行ツテハ居リマセヌガ、最  
小限度消費地ニ於テ需要セラレルモノニ對  
スル配給ハ先ヅ大シタ障礙ナシニ配給ヲセ

第六類第二號 米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會會議錄 第六回 昭和十七年一月二十九日

ラレテ居ルモノト考ヘテ居リマス、ト申シマスノハ、一箇年ヲ通ジマシテ、大體六大都市ヲ含ム所謂六大府縣ノ外ニ福岡ヲ加ヘタ七大消費府縣ニ對シマシテハ、特ニ十分ナ計畫ヲ立テマシテ、一年ヲ通ジテノ配給量ヲ考ヘ、更ニソレヲ毎月ノ配給量ヲ定メテ配給ヲ致シテ居ルノデアリマス、全體的ニ申シマスニ最近マデノ狀況ハ、先ヅ其ノ月ニ配給セラルベキモノヲ寧ロ事前ニ配給シテ、更ニ翌月分ヲモ線上ガ配給シテ居ルト云フ風ナ狀況ヲ參ツタノデアリマスガ、昨年ノ十二月頃カラ地方ニ依リマシテハ多少輸送等ノ關係ニ障礙ガアリマスノデ、其ノ月ニ配給スル豫定デアリマシタモノガ、翌月ノ十日或ハ十五日位マデ遅レルト云フ風ナ事態モアルノデアリマス、併シ同時ニ是等ノ地方ニハ、相當政府木炭ヲ不需要期ニ貯藏致シテ居リマスノデ、此ノ「ストック」ト相俟チマシテ第一線ノ配給ヲシテ居ルノデアリマシテ、只今マデノ所豫定ノ配給量ヲ先ヅ賄フコトガ出來テ居ルノデアリマス、唯最近十一月、本月等ニ入りマシテ豫定ノ入荷ガ稍、御話ノヤウニ不足シテ居ル部面ガゴザイマス、併シ是ハ一時的現象トモ考ヘラレマスノデ、各方面ト十分ニ連絡ヲ執リマシテ、産地方面ニ於キマシテハ驛マデノ小運送ニ付キマシテ、ソレカラ消費地ニ對シマシテハ鐵道輸送或ハ機帆船等ニ依ル輸送ニ付キマシテ、ソレゾレノ方面ト十分ニ連絡ヲ執リマシテ其ノ輸送ノ圓滑ヲ圖ツテ、都市方面ヘノ入荷ヲ只今督勵シテ居リマシテ、最近非常ニ好調ヲ呈シテ參リ、續々ト入荷ヲ増加シテ居ルヤウニ見テ居リマス、此ノ分進ミマスレバ、固ヨリ此ノ需要最盛期ヲ切抜ケルコ

トモ出來ルト思フノデアリマス、唯御話ニアリマシタヤウニ、木炭ノ需給ノ問題ハ一年間ヲ通ジテ配給ヲシ、又輸送モ平均的ニ行フト云フコトヲ致シマシテ、三月或ハ四月以降九月、十月ト云フ時期マデノ、所謂木炭ノ比較的需要ノ少イ時期ニ於キマシテ、需要ノ最盛期デアリマス十一月以降二月頃マデノ木炭ノ需要量ヲ、ソレレノ需要者、或ハ需要者ニ至ルマデノ或ル配給過程等ニ於キマシテ、成べく早目ニ之ヲ貯藏ト申シマスガ、手當ヲシテ置クト云フ風ニ木炭ノ配給ヲ調節シテ參ル必要ガアラウト思ヒマシテ、左様ナ點ニ付キマシテ今後此ノ木炭需給特別會計ヲ中心ニシマシテ十分ニヤツテ參ル必要ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、既ニ昨年ニ於キマシテモ左様ナ意味ニ於キマシテ、約八月、九月頃マデハソレレ進シテ居リマスガ、其ノ後御承知ノヤウナ色々ナ特殊事情ガ勃發致シマシタ關係デ、此ノ木炭年度ニ於キマシテハ其ノ點ニ付テハ稍、マダ理想ニ達シナイ憾ミガ多分ニアツタノデアリマスガ、今後ノ木炭年度ニ於キマシテハ、只今申シマシタヤウナ操作ヲ一年ヲ通ジテ行ヒマシテ、此ノ需要ノ最盛期ニ至リマシテ各種ノ物資ガ消費地ニ色々輸送サレナケレバナラナイ時ニハ、出來ルナラバ木炭ノ消費地ニ對スル輸送量ハ少シデモ輕クシテ、此ノ配給ノ圓滑ヲ圖リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○野澤委員 非常ニザツクバラシニ正直ナ所ヲ御話シ下サイマシテ私モ納得出來マシタ、今山林局長モ御認メニナツテ居ラレル通り、出廻リノ惡カツタト云フコトハ、主産地ノ輸送關係ノ問題ト、ソレカラ生産者ニ對スル施設ト云フヤウナ點ヲ今少シク何トカシタイト云フ御話デアツタヤウニ私ハ聽キ取ツタノデアリマスガ、ソレハ御尤モト思ヒマス、ソコデ私特ニ質問ヲ繼續スルノデアリマスガ、生産地ノ輸送關係ヲ痛切ニ感ジテ居リマス、私共ノ方ノ郡ハ長野縣デモ特ニ生産郡デアリマスガ、郡ノ山間部ノ山村ニ對シマシテ、時局柄大イニ木炭増産ヲヤツテ呉レト云フ譯デ私共盛シニ御願ヒシテ居ル、所ガ、アナタ方ハ何ヲ瘦ボケテ居ル、増産シロ、ト言フノデ、折角一生懸命汗水垂ラシテ増産シテ山ノヤウニ炭ヲ積ンデ置イテモ、何時マデ經ツテモ持ツテ行ツテ呉レナイデハナイカ、其ノ不様デ以テ木炭ノ需給調節ガ聞イテ呆レル、斯ウ云フヤウナコトヲ私共耳ニスルノデ、冗談デハナイカト思ツテ行ツテ見ルト、豈ニ圖ラシヤ弟然ランヤデアリマシテ、實際山ノ如ク積ンデアル、百姓ノ言フコトニ嘘ハナイト私ハ思フ、斯ウ云フ實情ヲ見テ成程百姓ノ言フコトニハ眞理ガアル、斯ウ云フコトデハ政府ノ指導者階級モ、吾々ソレニ關聯ヲ持ツテ居ル一聯ノ政治家モ申譯ナイト云フ譯デ、私共ハ長野縣ノ木炭生産者ノ陳情員ト共ニ、今ノ長崎鐵道次官ガ運輸局長時代ニ、輸送關係ニ付テ何トカ圓滑ニシテ貰ヒタイト縷々陳情ニ參ツタノデアリマス、所ガ、イヤ御無理御尤モ、ソレニ付テハ、ドウモ農林省ノ方ト相談シナケレバナラヌトカ、企畫院ト相談シナケレバナラヌトカ何トカ言ツテ、狐ニ鼻ヲ摘マレタヤウナ譯デ、一體ドウ云フ風ニシタラ宜イノカト云フ結論ヲ與ヘテ呉レナイ、ソコデ縷々陳情ニ陳情ヲ重ネ、輸送關係ニ付テ具體的ニ、交通ノ問題トシテハ自動車ノ問題ダラウト思フガ、省營自動車或ハ貨物自動車ト云フヤウ

ナ問題ニ付テ何トカ便ヲ與ヘテ貰ヒタイト云フ話ヲシタ、所ガソレニ付テモ色々ノ關係ガアツテ中々思フヤウニ行カヌ、デアルカラ此ノ次ニサウ云フ問題ガ起ツタ時ニハ第一ニ考ヘルコトニ致シマセウ、何ヲ一體第一ニ考ヘルノカ知リマセヌガ、サウ云フ譯デス、斯ウ云フダラシノナイコトデハ、木炭ノ増産ヲ致シマシテモ、需給調節ノ圓滑ヲ期スルト云フコトヲ山林局長ガ幾ラ言ツテモ駄目ダ、今山林局長ハ輸送關係ニ付テ萬全ヲ期スルト言ヒマスケレドモ、斯ウ云フ問題ガ起ツタ時ニハ一體ドウ云フ處置ヲ講ズルカ、此處ニ鐵道省ノ運輸局長モ參ツテ居ラレマスガ、一ツ御相談シテ明確ナル回答ヲ與ヘテ貰ハヌト、私共歸ツテ精勵ノ推進班トシテ教導スルコトガ出來ナイノデスカラ、一ツ御教示願ヒマス

○堀木政府委員 今木炭ノ生産ニ關シマシテ輸送問題ガ一體用合ツテ居ルノカドウカ、増産ヲスルノハ宜イガ、輸送ガ伴ハナケレバ大小ノ運送ヲ通ジテ需給ノ調整ヲ圖リニクイ、洵ニ仰シナル通りデゴザイマス、私共ト致シマシテハ實ハ農林當局ト木炭ノ需給ニ關シマシテハ毎月要輸送量ト申シマスカ、一年ノ計畫、四半期別ノ計畫ハ無論、毎月ノ實施計畫ニ付キマシテ、本當ニ全部ノ資料ヲ御互ヒニ出シ合ツテ、木炭ノ輸送ノ確保ヲ圖ルト云フ風ナ狀態ニナツテ居ルノデゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ、或ハ各種ノ物資ニ付キマシテ色々ノ問題ガゴザイマスガ、恐ラク木炭ノ輸送關係ガ一番緊密ニ——サウ云フ配給機構ノ整備ト相俟チマシテ輸送ノ方ニ付キマシテモ一番緊密ニ連絡ガ出來テ居ル、場合ニ依ツテハ一番模範的ナモノデハナイカ、無論ソレガ今

仰シヤイマスヤウニ國民生活ニ最モ重要デア  
アルダケニ當然ノ處置デハゴザイマスガ、  
サウ云フ風ナ状態ニナツテ居リマス、先程  
山林局長カラ申サレマシタヤウニ、成程最  
近ハ發送ガ稍、落チテ居リマスガ、十六年ノ  
年計ヲ見テ參リマスト木炭ニ付キマシテハ  
前年ニ比ベ、マシテ四割八分五厘ノ増送ヲ致  
シテ居リマス、斯ウ云フ貨物ハ全體ヲ通ジ  
テゴザイマセヌ、私共自身モ農林當局ト緊  
密ナル連繫ヲ取リマシテ輸送ノ萬全ヲ期シ  
テ居リマス、消費地ニ付キマシテモ一昨年  
ノ冬以來殊ニ特殊ノ處置ヲ講ジテ居ルノデ  
ゴザイマスガ、只今仰シヤイマスヤウニ生  
産地ノ方ノ關係デゴザイマス

生産地ノ方ノ關係ハ御承知ノ通りニ交通  
ノ比較的不便ナ所ガ多イノデゴザイマス、  
又國有鐵道ト地方鐵道ヲ相通ジマストカ、  
或ハ「トラック」ニ依リマストカ、色々ナ他  
ノ方法ヲ講ジテ、國有鐵道ニ流レテ參ルト  
云フ風ナ事情ガ非常ニ多イノデアリマス、  
私共省營ノ自動車ヲ運轉シテ居リマス所ハ、  
木炭ノ關係ニ付キマシテハ、出來ルダケノ  
輸送ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、省營  
自動車ノ路線網ハ全國ニ限ラレタ數デゴザ  
イマス、ドウシテモ一般ノ民間ノ「トラッ  
ク」輸送ニ依ル、或ハ其ノ他ノ運送ニ依ルト  
云フ場合ガ多イノデゴザイマス、最近ハ政  
府全體ト致シマシテモ、此ノ木炭關係ノ  
「トラック」ニ關シマシテハ、油ノ特配スラ  
圖リマシテ、特ニ優先ノヲ施策ヲ致シテ居  
リマスコトニ徴シマシテモ、出來ルダケ御  
意思ニ政府自體ガ副フヤウニ努力致シテ居  
リマスコトヲ御諒承願ヒタイト思フノデア  
リマス、全體トシテノ今執ツテ居リマス方  
策ヲ申上ゲタノデゴザイマスガ、多クノ物

資ニ付キマシテ間々實際上豫想通りニ參リ  
マセヌコトハ、私共今後尙ホ十分努力ヲ致  
シマシテ、完璧ヲ期シタイ、斯ウ決心致シテ  
居ル次第デアリマス

○野澤委員 長イ答辯ハ要求シテ居  
ナイノデス、私ノ質問ノ要點ヲ捉ヘテ、ア  
ナタノ方デモハツキリ答ヘテ呉レバソレ  
デ結構ナンデス、此ノ山間僻地ノ者ガ、一生  
懸命木炭増産ヲヤツテ居ルガ、輸送ガ出來  
ヌノデ、折角増産シタモノヲ活スコトガ出  
來ナイ、サウ云フ現實ノ問題ヲドウスルカ、  
サウ云フ問題ニ對シテハ、斯ウ云フ風ニシ  
マスト云フ御答辯ヲ下サレバ宜イノデス

○井出政府委員 御話ノヤウニ最近木炭ノ  
出廻リニ支障ヲ來シ、一方又ソレガ次ノ生  
産ニ多少障礙ニナツテ居ルト云フ原因ハ、  
今御話ノヤウニ主要木炭ノ産地ニ於キマシ  
テ山元ニハ炭ガ非常ニ溜ルガ、ソレヲ鐵道  
輸送ノ驛マデ運轉スル此ノ途中ノ小運送ノ  
機關ガ不十分デアアル爲ニ左様ナ結果ニナツ  
テ居ル次第デアリマス、鐵道輸送其ノモノ  
ハ今運輸局長ノ御話ノヤウニ非常ニ十分ニ  
行ツテ居リマシテ、場所ニ依リマシテハ滯  
貨ガナイト云フ位ノ状態デアリマス、隨ヒ  
マシテ此ノ問題ハ御話ノヤウニ山元カラ鐵  
道マデノ運輸ノ障礙デアリマス、此ノ障礙ノ  
原因ハ御承知ノヤウニ昨年八月頃以降極端  
ニ「ガソリン」或ハ自動車ノ數ガ少ク相成ツ  
タコトニ原因シテ居ルノデアリマス、ソコデ是  
ノ対策ニ付キマシテハ、之ニ代ルベキ各種ノ  
輸送ノ方法、綜合的ニ補給スベキ方法ヲ講ジ  
テ居ル次第デアリマシテ、是モ鐵道省其ノ他  
ノ方面ト御連絡ヲ願ヒマシテ木炭自動車、  
或ハ薪自動車等ニ「トラック」ヲ改造スルト  
云フヤウナ問題、又不足ナガラ使ヒ得ル「ガ

ソリン」ヲ季節的ニハ此ノ木炭ノ滯貨ヲ一  
掃スル爲ニ相當優先的ニ利用ヲ願フト云フ  
コト、或ハ牛馬車等ノ利用ヲ促進スルト云  
フコト、又場所ニ依リマシテハ各種ノ勤勞  
奉仕ノナ勞力ニ依リマシテ應急ノ運ビ出シ  
ラスルト云フ風ナコトヲ講ジマスシ、又更  
ニ相當滯貨ノアリマス地方ハ、何ト致シマ  
シテモ「ガソリン」ニ依ル自動車ヲ動かサナ  
ケレバ、中々巧ク行カナイコトハ明瞭デア  
リマス、ソレ等ニ付キマシテハ最近「ガソ  
リン」ノ相當増配ヲ願フコトニ致シマシテ、  
之ニ付キマシテモ米麥等ノ主要食糧ト相並  
ンデ優先的ニ是等ヲ運搬スルコトニ手配ヲ  
致シマシテ、之ニ依ツテ着々ト山ノ滯貨ヲ  
一掃シ次ノ木炭ノ生産ヲ十分ニ刺戟スルヤ  
ウニ施策ヲ講ジツツアリマシテ、其ノ效果  
ガ順次只今現ハレテ、東京其ノ他ノ消費地  
ニ最近非常ニ炭ノ入荷ガ多クアルノハ其ノ  
一ツノ現ハレト存ズル次第デアリマス、又  
一方ニ於テ應急的ニ「トラック」殊ニ木炭自  
動車等ノ通過シ得ルヤウニ或ル程度林道其  
ノ他ノ道ヲ修理スルト云フ風ナコトモ講ジ  
得ル部分ハ講ズルト云フ風ナコトヲ致シテ、  
實ハ此ノ輸送ニ全力ヲ注イデ居リ、又斯ウ  
云フ方策ヲ以テ今後モ施策ヲ致シテ行クト  
云フコトニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○野澤委員 後ニ食糧問題ガアリマスノデ、  
此ノ問題ヲ論議スル時間ガナイノデスケレ  
ドモ、ドウカアト二ツダケ聽キマスカラ、  
要點ダケ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、シ  
テ見ルト結局輸送ノ問題ニ付テハ所謂牛馬  
利用デアルトカ、或ハ「ガソリン」ノ特配ト  
カ、或ハ勤勞奉仕ト云フヤウナ意味ニ於テ  
輸送ノ圓滑ヲ期スルト云フコトデアリマス  
ガ、之ヲ掘下ゲテ行クト牛馬ヲ利用スル場

合ニ牛馬ガドウ云フ風ニ使ハレルカ、一體  
飼料ハドウナルカ云フコトニナリマス、  
其ノ結論ハ得ラレナイ、「ガソリン」ヲ特配  
スルト云フガ、「トラック」ノ利用ヲドウ云  
フ風ニスルカト云フ具體的質疑ニナルト又  
有耶無耶トナツテ分ラナイコトニナル、併  
シ少イ物資デ少イ勞力デ目的ヲ達シヤウト  
云フノデアリマスカラ、戰時下ノ心構ヘト  
シテハ最善ノ工夫ヲシテ參ラナケレバナラ  
ヌト思ヒマスカラ、私ハ是以上掘下ゲテ質  
問致シマセヌ、唯此ノ問題ハ斯ウ云フヤウ  
ニシテ戴キタイト思ヒマス、例ヘバ生産地  
交通網ノ確立スルコトデス、省營自動車ト  
カ或ハ乘合自動車デアルトカ、斯ウ云フ施  
設ヲ擴充強化シ炭ヲ積出サセルトカ、扱ハ  
セルト云フコトニシ、生産地域ト停車場ト  
ノ距離ヲ短クスルコト、從來省營自動車ガ  
運轉シテ居ツタト云フヤウナ場合ニハ、又  
其ノ省營自動車ヲ動かシテ、人的輸送ト同  
時ニ、生活物資デアアル木炭輸送トヲ兼備輸  
送サセルヤウナ方法ヲ講ズルトカ、ソレカ  
ラ一面生産地多クサレルニハ、現在ノ生  
産費ノ問題ニ付テモ再檢討スル必要ガア  
ルト思フ、例ヘバ樞ハ一等ガ一圓八十一錢デ  
アル、松ノ上等ガ一圓六十六錢、是ガ御承  
知ノ通り小賣最終値ニ持ツテ行クト上値ガ  
四十錢、卸ノ方ガ十錢計五十錢上廻ルガ、  
實際ハ一等格デ五十錢足シタ二圓三十錢ニ  
ハ商ヒサレテ居ラス、二圓五、六十錢位デ  
商ヒサレテ居ル、サウ云フコトニナルノデ、  
生産者ノ方デハモツト値ヲ上ゲテ呉レタラ  
宜イデハナイカト云フテ居ル、此ノ點ニ付  
テハドウ云フ程度マデ調整シタラ宜イカ調  
査ヲ要スルト思ヒマスガ、少クトモ生産費  
ヲ割ラナイ程度ニ一ツ價格制度ヲ改メルコ

トヲ考へ、新ラシク更改スル必要ガアリハ  
セヌカ

ソレカラモウ一ツはハ需給ニ關係シタ點  
デアリマスガ、今度ハ之ヲ合理的ニ配給スル  
ト云フ部面ニ於キマシテハ、六大都市ノ外ニ

百五十箇小都市ガ通帳制ヲ施行シテ居ル、  
サウ云フ所ハ需給モ比較的旨ク行ツテ居リ  
マスガ、是ハ全國的ニ均一化サレテ居ナイ、  
此ノ點ハ山林局長カラ御話ガアリマシタガ、

サウ云フ點デ六大都市ハ圓滑ニ行ツテ居ル、  
或ハ岡山トカ何々ト云フ消費縣ハ圓滑ニ行  
ツテ居ル、サウ云フ所ハ通帳制ヲ布イテ居ル  
ト言ハレマスケレドモ、今後計畫經濟ヲ遂行

スルニ生活物資ニ對スル物資別統制デナク  
テ、全體統制ヲヤツテ行カウト云フ場合ニハ、  
ヤハリ生産ト配給消費ノ一貫的ナ計畫統制  
經濟ヲ立テ行カテレバナラヌノデアリ

マスカラ、切符制ナドニ於キマシテモ、私  
ハ全體的ナ切符制ヲ實施シテ行ツタ方ガ宜  
イト思ヒマス、生産縣ハ非常ニ損デアルト

カ言フガ、サウ云フ從來ノ個人的「ブロッ  
ク」主義的ナ考ヘ方デハイカナイ、吾々ハ  
國防經濟主義ニ立ツテノ意見デナクテハイ

カスト思ヒマス、サウ云フ點ガ例ヘバ生産  
縣ガ少シ抑ヘラレテモ、實際ニ於テハソレ  
ハ屑ト云フモノガデアリマスカラ、鹽原多

助デハナイケレドモ、少シツツ層ガアル、  
其ノ層ハ利用スルコトモ出來ルカラ、兎ニ  
角此ノ際全國民ヲシテ其ノ燃料ニ不平ナカ

ラシメヌト云フコトニナラナケレバナラ  
ス、サウ云フ點デ綜合切符制ト云ヒマスガ、  
通帳制デモ宜シイ、此ノ際實施シテ貫ヒタ  
イト思フガ、當局ノ御考ヘ竝ニ將來ノ御方

針ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス  
○井出政府委員 一番初メノ御話ノ木炭ノ

小運送ニ付キマシテノ綜合的ナ計畫ヲモツ  
ト立テ行カテレバナラヌト云フコトニ  
付テノ御氣付ハ洵ニ私共貴重ナ御話ト承ツ  
テ、更ニ十分考慮シテ參リタイト思ツテ居  
リマス

ソレカラ木炭ノ價格ノ問題ニ付キマシテ  
ハ、昨春秋ニ規格ノ改訂ニ伴ヒマシテ、比  
較的中等以上ノ良イ炭ヲ生産セシメル必要

ガアルノデ、ソレニ伴ヒマシテ多少價格ノ  
異動ヲ致シマシタ、更ニ今後此ノ點ヲドウ  
スルカト云フ問題ニ付キマシテハ、私共ノ

大體ノ見方ハ、現在ノ木炭ノ價格ハ大體所  
ヲ得タ妥當ナモノト考ヘテ居リマス、唯地  
方的ニ特殊ナ銘柄ニ付テ、他ノ銘柄ノ品

物等トノ關係或ハ他ノ地方トノ關係等ニ於  
テ、或ハ部分的ニ修正シナケレバナラヌモ  
ノガアルカモ知レナイ、是等ハ十分考究ノ

上、全體トノ調和ノ上デ調整スベキモノハ  
考ヘテ行ク必要ガアラウト思ツテ居リマス  
ソレカラ最後ノ御尋ネノ木炭ノ消費地方

ニ付キマシテハ、主要ナル消費地方ノミナ  
ラズ、ヤハリ同様ニ消費ニ付テハ通帳制或  
ハ割當切符制ヲ極力實行スル必要ガナイカ

ト云フ點ハ同感デゴザイマス、此ノ點ニ付  
テハ既ニ實ハ昨年以來各消費府縣、生産縣  
總テニ對シマシテ、其ノ一年間ノ消費量、

且ツソレヲ家庭用ノ木炭或ハ事務用或ハ工  
業用或ハ農林漁業用ト云フヤウナ用途別  
ニ割當ヲ致シマシテ、更ニ家庭用ノ木炭ニ  
付テハ、其ノ府縣内ノ主要ナル市町村等ニ  
付テ出來得ル限り公平ニ配給ノ出來マサル  
ヤウニ割當或ハ切符制ヲ實施セシメルヤ  
ウニ指導致シテ居ルノデアリマシテ、其  
ノ結果ト致シマシテ、大體昨年ノ十一月現  
在ニ依リマシテ調べマシタ所ヲ見マスレバ、

家庭用木炭ニ付テ切符制或ハ通帳制ヲ採ツ  
テ、之ニ依ツテ配給ヲ致シテ居リマスル市  
町村ノ數ガ二千六百六十二市町村ト云フコ  
トニナツテ居リマス、是ノ關係致シマスル

世帯ノ數ガ七百五十万世帯程ニナツテ居リ  
マス、大體那樣ナ工合ニナツテ居リマシテ、  
更ニ今後モソレノ地方ノ事情ニ依リマシ  
テ、此ノ家庭用木炭ニ關スル割當ヲ那樣ナ

制度ニ依ツテ擴張致シテ參ル必要ノアルコ  
トハ左様ニ考ヘテ居リマス、ソレ等ハソレ  
ノ地方廳ヲシテ十分ニ善處セシメテ參リ  
タイ積リデ居リマス

○野溝委員 私ハ山林局長ガ通帳制ヲ實施  
シヨウト云フ熱意ヲ披瀝サレタコトニ付キ  
マシテ満足スルモノデアリマス、近イ機會

ニ一ツ實施シテ戴キタイト思ヒマス、尙ホ  
此ノ際運輸局長ニ特ニ御願ヒ致シテ置キマ  
スガ、ドウカ先程御願ヒ致シマシタ通り山

間僻地ノ生産縣デハ先ヅ交通ニ困ツテ居リ  
マシテ、實ノ持腐レニナツテ居ツテ、是デ  
ハ國家トシテモ大キナ損デアリマスカラ、

至急輸送ノ點ニ付キマシテハ、農林當局ト  
御相談ヲ下サイマシテ、優先的ニ輸送ニ對ス  
ル御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、之ヲ以テ

木炭需給ニ關スル質問ハ打切りマシテ、農  
林大臣ガ見エマシタヤウデスカラ、質問ノ  
本論ニ入りタイト思ヒマス  
先輩同僚諸賢ガ數日來ニ互リマシテ本法

案ニ對シテ種々御檢討ヲ下サイマシテ、大  
體ニ於キマシテ本案ノ目的、内容、其  
ノ性格ノ全貌ヲ知ルコトガ出來マシタ、併  
シ私ハ其ノ目的及ビ性格トシテノ政府ノ答  
辯ヲ伺ヒマスルト、大體質問スル觀點ガ部  
分的「ブロック」主義デアリ國民經濟主義ニ  
立籠ツタ質疑デアリマス、私ハ此ノ食糧管

理法案ガ、少クトモ國防經濟的ナ觀點ニ立  
ツテ立案サレ提案サレタモノト云フ風ニ  
考ヘテ居リマスカラ、左様ナ觀點ニ立ツテ  
私ハ質疑ヲ交ハサウト存ジマスノデ、當局

ニ於キマシテモ、左様ニ私ノ意圖ヲ諒承下  
サイマシテ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス  
先ヅ此ノ管理法案ノ目的ヲ見マス「本

法ハ國民食糧ノ確保及國民經濟ノ安定ヲ圖  
ル爲食糧ヲ管理シ其ノ需給及價格ノ調整並  
ニ配給ノ統制ヲ行フコトヲ目的トス」ト云

フコトニナツテ居リマス、洵ニ結構ナ目  
的デアリマシテ、之ニ對シテハ寸分ト雖モ  
反對スルモノデハアリマセヌケレドモ、此

ノ目的通り果シテ本法案ニ依ツテヤツテ行  
ケルカドウカト云フコトニ對シマシテハ多  
分ノ深憂ヲ持ツモノデアリマス、ナゼカト

云フナラバ、此ノ食糧管理法案ハ從來ノ計  
畫生産、ソレカラ從來ノ物資別配給統制ヲ  
綜合化シテ、之ヲ一ツノモノニ配給ノ指導

ヲスル、統一スルト云フ點マデハ非常ニ精  
巧ナ内容ヲ持タレテ居ルノデアリマスガ、  
消費部面ニ至リマシテハ、蟬ノ脱殻ミタイ

ニナツテ居ルノデアリマス、ソレハ成年一  
日ノ割當ガ二合三勺ガドウノ斯ウノ昨日  
アタリモ色々言ツテ居リマスケレドモ、二  
合三勺ガドウノ斯ウノ言ツテ見タ所デツ

レハ何等強制力ヲ持ツテ居ラナイ、所謂任  
意組合主義的ナモノデアル、サウ云フモノオ  
デハ此ノ目的ヲ達スルコトハ中々不可能ダ  
ト思フ、サウシタ點ニ付テ、當局ハ之ニ依ツ  
テ本當ニ日本ノ國民ノ食糧確保ガ完全ニ出  
來ル、又國民經濟ノ安定ヲ期シ得ルト云フ  
風ニ御考ヘニナツテ居ルカドウカ、今日ノ  
場合ハ此ノ程度デアツテ、將來ハ是レ以上  
一步統制ヲ擴大スル意思ヲ持ツテ居ラレル

カドウカ、之ニ對スル御所見ヲ農林大臣カ  
ラ御伺ヒ致シタイト存ジマス

○井野國務大臣 食糧管理法案が生産者カ  
ラ配給部門マデノ體制ハ能ク出來テ居ル  
ガ、消費部門トノ結付キニ於テ缺クル所ガ  
アリハシナイカト云フ御説デアリマス、是  
ハ私モサウ思ツテ居リマス、消費部門ニ付  
テノ精細ナル規定ハ管理法案ニハ入ツテ居  
リマセズ、是ハ現在ノ過程ニ於キマシテハ  
事實消費部門ニ對スル整備シタル機構ガマ  
ダナイノデアリマス、現在ハ隣組其ノ他ノ  
機關ヲ使ツテ色々ヤツテ居リマス——嘗テ  
ハ消費組合ナリ其ノ他ノ機關ニ依ツテ動イ  
テ居リマシタモノガ、切符制度ニナリマス  
ト、其ノ機構ハ十分ニ動かヌト云フコトカ  
ラ、隣組ノ制度ヲ利用シテ居ルノデアリマ  
スガ、果シテ此ノ制度デ宜イカドウカト云  
フコトニ付キマシテハ、色々ノ實驗ヲ經テ  
後ニ於テ政府トシテモ考ヘテ行カナレバ  
ナラス、デアリマスカラ今消費部門ノ機構  
ヲハツキリドウスルト云フ風ニマダ決メ得  
ラレナイ事情ニアリマスノデ、此ノ法案モ  
其ノ點マデハ觸レテ居リマセズ、デアリマ  
スカラ御説ノ通り其ノ點ニハ嫌ラナイコト  
ハ、私モ嫌ラナイノデアリマシテ、其ノ點  
ハ將來十分考慮シテ参リタイト考ヘテ居リ  
マス

○野澤委員 ドウモ私ノ信頼スル井野農林  
大臣カラ實ニ明確ニ答辯サレマシタノデ、  
私氣持ヲ好クシタ譯デアリマスガ、僞ハラ  
ザル御答辯ハ感謝致シマス、願ハクハ近  
イ機會ニ消費部門ノ統制ヲ徹底スルヤウニ  
シテ戴キタイト思ヒマス

ソコデ第二條ノ點ヲ一寸御聽キスルノデ  
アリマス、是ハ條文ニ入りマスガ、本法第

二條ニ於テ主要食糧トハ米穀、大麥、稗麥、  
小麥其ノ他勅令ヲ以テ定ムル食糧ヲ謂フト  
アリマスガ、本法第三條ニ於テ主要食糧ト  
ハト直グ打突ケテシマツタノデハ何ガ何ダ  
カ分ラナイ、本法第三條ニ於テ國民食糧ト  
ハ主要食糧デアル米穀、大麥、稗麥、小麥  
ト云フヤウナ工合ニ修正スルナラ明確ニナ  
ルガソウ修正スル意志アリヤ是デ差支ナイ  
ノデスカ、ドウデス、一寸立案者ニ御聽キ  
致シマス

○井野國務大臣 其ノ點ハ一向差支ナイノ  
デアリマス、「本法ニ於テ主要食糧トハ」ト云  
フ主要食糧ノ文句ガ本法ノ中ニ方々ニ出テ  
來マス、其ノ出テ來ル主要食糧ノ意味ヲ第  
二條デ現ハシテ居ルノデアリマス、是ハ專  
門家ガ見レバ直グ分リマス

○野澤委員 質疑ヲ進メテ行ク上ニ於テ一  
寸御伺ヒシタイノデアリマスガ、只今大臣  
ノ御答辯ニ依リマス、消費部門ニ付テハ  
マダ——拙イ點ガアルカラ、將來考ヘルト  
云フコトデアリマス、私ハ考ヘルト云フ以  
上ハ英斷果敢ナ農林大臣ハ必ズ實行スルモ  
ノダト云フ前提ノ下ニ、此ノ程度ニ打切り  
マシテ次ニ進ミマス

大臣ハ先般豫算委員會ニ於ケル大臣ノ答  
辯及ビ本委員會ニ於ケル答辯ニ於テモ、食  
糧ノ需給推算ニ關シマシテハ前年度ノ七千  
百餘万石ヲ踏襲シ行ク方針デアルト云フコ  
トデアリマスガ、其ノ希望ト計畫ハ是ハ大  
キク持タナレバナラスカラ結構デアリマ  
ス、結構デアリマスガ、豫想通りニハ行カヌ、  
是ハ天候ノ關係モアリマスシ、色々ナコト  
モアリマスノデサウ簡單ニ参リマセズガ、  
少クトモ昨年ノ如キ氣候ノ自然的惡條件ニ  
ヤラレマシテ苦イ經驗ヲ得テ居ル譯デアリ

マス、農林大臣ハ死物狂ヒニナツテ北陸東  
北ニ向ツテ大イニ鞭撻行脚サレタ、其ノ效  
果ハ現ハレテ居リマスガ、幾ラ農林大臣ガ  
行脚シ激勵サレテモヤハリ足りナイモノハ  
足りナイ、結局五千五百万石ト云フコトデ  
最低豫想ノ六千三四百万石ヲ大割レニ割ツ  
タノデアリマスガ、是ハ天候ノ關係デ致シ  
方アリマセズ、尤モ日本米米作ハ二三年來、  
豫想ヲ裏切ラレタ米米作状態ヲ續ケテ居ルノ  
デアリマスガ、私ハ又恐ラク今年度モ七千  
百万石ト云フヤウナ豫想ハ中々至難デハナ  
イカト思フノデアリマス、シテ見ルト此ノ  
七千百万石ヲ踏襲スルト云フ言葉デナク  
テ、七千百万石ヲ豫想シテヤルト云フヤウ  
ナ考ヘ方ナラ、是ハ吾々モ諒解出來マスガ、  
七千百万石ヲ踏襲スルト云フコトハドウ云  
フ御見解デテ御主張ナサレテ居ルノデア  
リマスガ、其ノ御意圖ヲ御伺ヒ致シタイノ  
デアリマス

○井野國務大臣 七千百万石ヲ目標ト致シ  
マシテ本年ノ米作ニ當ラウト思ツテ居ルノ  
デアリマスガ、是ハ單ナル目標デアリマ  
セズ、各農家ニ此ノ數字ニ基キマシテ割當  
テマシテ、ソレダケ作ツテ貰ヒタイト云フ  
コトヲ申ス譯デアリマス、只今御話ノ通り、  
昨年ハ此ノ目標ニ對シマシテ相當ノ減收ヲ  
見マシタガ、是ハ主トシテ天候、病害蟲ノ  
爲メデアリマス、私ガ過般地方ヲ廻ハツテ  
見テ、現在ノ農民ノアノ熱心ナ増産熱ヲ以  
テシマスレバ、天候ガ順調デアレバ、必ズ  
ヤ七千百万石ハ獲レルト云フ確信ヲ持つテ  
居リマス

○野澤委員 農家ノ報告ト言ヒマスガ、農  
家ノ報告ハ決定デアリマセズ豫想報告ト  
云フノデアリマス、報告ヲ得テ居テモ其ノ

報告ハ自然的惡條件其ノ他デ何時デモ覆ヘ  
サレルト云フコトニナル、私ハ此ノ豫想報  
告ニ對シテモ非常ニ不安ノ點ガアルノデア  
リマス、先般來各議員ニ依リマシテ其ノ不  
安ノ實情ヲ申上ゲマシタ私ハ特ニ其ノ不安  
ノ實情ノ一ツトシテ、農林大臣ガ盛シニ絶  
叫サレテ居ル農地開發營團ノ問題デアリマ  
ス、同施設ハ十二箇年ニ田畑五十万町歩ノ  
開發アト百二十有餘万町歩ノ改良ニ依ツテ  
云々ト言ハレテ居リマス、ソレモ着々實行  
ニ入ツテ居ルト云フコトヲ言ハレテ居リマ  
スガ、例ヘバ是ガ十箇年ニ致シマシテ五十  
万町歩全部水田ト致シマス、一箇年五十  
町歩ト云フコトニナリマス、併シ是ガ大體  
ニ於テ一反歩カラ二石穫レルト致シマシテ  
モ百万石、一方一箇年ニ美田、熟田ガ三万  
五千町歩位ツツ潰サレテ行ク、所ガ美田、  
熟田ノ米ノ收穫、例ヘバ一反歩ニ於テ三石ト  
スレバ一年約百万石減トナル然ラバ開發生産  
收穫ト減收トハ、トシ——デアアル、新田デ三  
石内外ノ收穫ヲ得ルト云フコトハ出來ナイ、  
新田ハ三年經タネバ美田ノ價值ヲ持タナ  
イ、是ハ尤モダト思フ、桃栗三年柿八年、石  
ノ上ニモ三年ト云フコトガアリマスガ、新田  
ヲ美田、熟田ニスルニハ三年掛ル、ヤハリ桃  
栗三年ト同ジデアアル、ダカラ三年ノ年月ヲ  
閱シナケレバ美田、熟田ダケノ成果ヲ擧ゲ  
ルコトハ出來ナイ、サウスルト一方デハ一年  
ニ三万五千町歩乃至四万町歩ノ潰地ガアル、  
最近ノハ分リマセズガ、東京附近ノ潰地ハ  
相當面積ニナツテ居ヨウト思フ、例ヘバ軍  
需工場地、宅地ニナラウトモ、道路ニシヨウ  
トモ、兎ニ角潰サレル美田ガ非常ニ多クナ  
ツテ居ル、一箇年四万町歩ト云フド十箇年  
ニハ潰地四十万町歩トナル、五十万町歩ノ

開田計畫ト差引十一万町歩ノ差ガアルト云フダケデアリマシテ、大シク成果ヲ擧ゲル譯ニ行カヌ、片一方デ開發計畫ニ依ツテ新田ヲ造ツテモ、片一方デ美田、熟田ヲ潰シテ居ルト云フコトニナルト、中々農地開發營團ダケデハ、目的ヲ達シラレナイト思ヒマス、私ハソレガ惡イト言フノデアリマセヌケレドモ、之ニ依ツテ七千百餘万石ノ計劃生産ヲ達スルト云フコトハ到底出來ナイト思ヒマス

尙ホ問題ハ勞力、肥料等々ノ不足ノ問題デアリマス、勞力不足ノ問題ハ御承知ノ通り、肥料ナドノ問題ニ付キマシテモ、農林大臣ガ御話ニナリマシタ通り、硫酸ニ於テハ〇%、燐酸ニ於テハ五〇%、加里ニ於テハ、無「パーセント」、零「パーセント」ト云フコトデアラシイノデアリマスケレドモ、ソレハ此ノ場合仕方ガナイ、楮テサウナリマスルト、此ノ次ニ増産ヲスルノニ一體何ヲヤルカト云フコトニナリマス、農林大臣ガ一生懸命草鞋穿デ歩イテモ連モ駄目ダ、ソレデハ吾々ガヤラウト云フノデヤツテモ勿論駄目デアリ、指導階級デアリマス所ノ政府ノ激勵ハ洵ニ結構デアリマス、是ハ御願ヒシナクチヤナラヌコトデアリマスレケドモ、是ノミニ依ツテハ不可能、又個人的ナ氣魄ダケデモ駄目、ヤラヌヨリハヤル方ガ宜イコトハ當然デアリマスケレドモ、是デモ駄目、一體ドウスレバ肥料ナリ勞力ナリヲ補ツテ行クコトガ出來テ、此ノ戰時下ニ於ケル所ノ増産ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカト云フト、マア工夫ト云フコトデアリ、其ノ工夫ハドウ云フ工夫ヤラナケレバナラヌカト云フト、殘サレタ問題ト致シマシテハ、土地制度ノ改

革ト有畜農業ノ普及ニ依ル以外ハ絶對ニナイト私ハ信ズル、ソレハ耕種改善モ必要デアリマス、又病蟲驅除モ絶對必要デアリマス、是ハ大イニヤラナケレバナラヌノデアリマスガ、私ハ本當ニ農民ヲ感激戰慄セシメテ起チ上ラシメ、本當ニ協力シテ政府ノ方針ニ眞一文字ニ挺身シ行クヤウニセシムルニハ、先ヅ戰時下ニ於テハ土地制度ノ改革ト有畜農業ニ依ル施策ニ依ツテ此ノ目的ヲ達スルト云フ以外ニハナイト思フ、ソレニハ只今話シマシタ通り、指導當局デアリマスル農林大臣以下次官カラ全部ガ、要スルニ各推進班ヲ組織シ地方ニ行脚シ増産ヲ指導獎勵スルト云フコトガ必要デアリ、吾モ所謂農林當局ノ先達トナツテ、一生懸命國策ヲ下部組織マデ浸透シテ草鞋穿デヤルコト云フコトニシテヤラナケレバナラヌガ、取敢ズ此ノ二ツノ問題ヲ實行ニ移シテ貰フノデナケレバ、七千百萬石ノ増産目的ヲ達スルコトハ、到底不可能ト思ヒマスガ、此ノ點ニ對スル農林大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ、御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス

○并野國務大臣 野溝君ノ御述ベノ有畜農業問題或ハ土地問題、農地問題、重大ナ問題デアリマスコトハ、是ハ私モ能ク了承シテ居リマス、併シ前提セラレタ五十萬町歩ノ開墾ト、潰地トノ關係、是ハ野溝君ノ獨斷ノ御計算デスカラ其ノ通りニハ行カナイノデアリマス、農林省ハモツト立派ナ計畫ヲ持ツテ居リマス、ト云フノハ、五十萬町歩ノ開墾ハ、潰地以外ニ新シク作ル目標デアリマス、潰地ニ對シテノ對策ハ別ニ立ツテ居リマス、詰リ潰地ニ對シテハ農地管理令ニ依リマシテ、無闇ニ工場デアルトカ、或ハ其ノ他デ農地ヲ潰サナイヤウニ、防止

スル方法ヲ一面ニ於テ講ジマスト共ニ、潰地ニ對スル小開墾ナリ其ノ他ノ開墾ハ五十萬町歩ノ開墾以外ニ農林省デ考ヘテアルノデアリマス、デアリマスカラ五十萬町歩ノ方ハ潰地以外ニ新シク出來ル開墾地デアリマス、隨テ五十萬町歩出來テ片方ニ四十萬町歩減ルト云フ計算ハ野溝君ノ計算デ、農林省ノ計算デハナイノデアリマス、ソレハ決シテ御心配ハ要ラナイ、斯ウ云フコトニナツテ來ルノデアリマス、併シ後段ノ御意見ニ付キマシテハ、野溝君ノ農地問題或ハ有畜農業問題、是ハ私共モ色々研究ヲ致シ、又殊ニ有畜問題ニ付テハ農林省トシテモ全力ヲ擧ゲテ之ニ邁進シテ居ルノデアリマス

○野溝委員 ソレデハ美田、熟田ノ問題、農地ノ問題ト潰地ノ問題ニ付キマシテハ意見ノ相違デアルト云フコトデアリマスルカラ、之ヲ論議シテ居リマスルト時間ガ相當掛リマスカラ、私ハ之ニ對シテ餘リ論議ハ致シマセヌ、唯私ノ後段ノ問題ニ付キマシテハ、農林大臣モ篤ト贊成ヲシテ下サルト言ヒマスカラ、非常ニ有難ウゴザイマス、特ニ有畜農業ト、土地制度ノ改革ニ對シマシテ、農林大臣ガ積極的ニ熱意ヲ拂ハレテ贊成サレルト云フコトナラバ、私ハ是レ以上ノ満足ハナイノデアリマス

就キマシテ農林大臣ハ拓務大臣ヲ兼攝サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ増産計畫ニ對シ關係ガアリマスカラ、一寸關聯シテ御伺ヒシテ置キマスガ、滿洲ニ於キマシテハ二十箇年百萬戸ノ移民計畫ヲヤツテ居ルノデアリマスガ、此ノ二十箇年間百萬戸ノ移民計畫ノ第一期五箇年計畫ハ終了シマシタ、併シ其ノ計畫ノ移民戸數トハマダ

マダ餘程ノ開キガアリマス、滿洲ニ於ケル開拓モ中々容易デナイト私ハ思ヒマス、國防上重大ナ據點デアリ、尙ホ國防上カラ見テモ移民送出ヲヤラナケレバナラヌノデアリマスガ、最近ニ於キマシテ、滿洲ニ於テハ比較的農産物ノ成果ガ擧ラナクナツテ來タト云フコトヲ私ハ耳ニスルノデアリマス、ソレハ色々土壌ノ關係、地域ノ關係等ニ依ツテ擧ル所モアリ擧ラス所モアルデアリマセウケレドモ、特ニ滿洲ニ於ケル農村ノ重要指導者ガサウ云フ意見ヲ吐イテ居リマス、特ニ南滿ノ方面ニ於テハ、毎年百分ノ二位ヅツ減收シテ行ク、生産高ニ於テ二分ノ一トナツテ來タト云フコトヲ堂々ト發表サレテ居リマス、苟クモ當局ト云ヒマセウカ、特ニ其ノ指導階級デアアル人々カラサウ云フ意見ガ出ルト云フコトニナリマス、純粹デアリ半知半解、農民トシテハ、半分信ジ半分疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、サウナツテ來ルト、先程モ言ヒマシタ通り、開拓移民五箇年計畫實施ノ成果ヲ見マシテ、第一期年度八萬一千九百戸ノ計畫ガ、四萬六千戸ト云フコトニナツテ居リマスカラ、益以テ不安ガ伴ツテ來ル譯デアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ意見ヲ統一シテ置カヌト、サウデナクテモ、南方へ行ケ「バナナ」ガアリ、椰子ノ木ガアルナドト云フコトデ、埒モナイ話デスガ、裸一貫デ南ノ方へ行ケバドンナ生活デモ出來ルト云フヤウナ氣分ヲ與ヘマス爲ニ、私共ハ百姓ノ北方移民ノ指導ニ困ツテ居ル、殊ニ長野縣ニ於テハ開拓民送出ニ於テ又生絲ニ於テ木炭生産ニ於テモ第一等、全國的ニ見テ何モ彼モ第一等、唯政治家ハ別問題トシテ、サウ云フ譯デ實際我が長野縣ト致シマシテハ、此ノ北方移民

ニ對シテモ優秀ナル成果ヲ擧ゲテ居ル此ノ際、斯ウ云フヤウナ指導部面ノ不統一ト云ヒマスカ、サウ云フヤウナコトデハ全ク困ル、又是ガ事實トスレバハツキリ事實ヲト言ツテ賞ヒタイ、然ラバ之ニ對スル對策ヲドウスルカ、ソレヲ斯ウ云フ機會ヲ通シテ其ノ所見ヲ發表サレルナラバ、非常ニ吾々トシテモ今後ノ指導モシ宜イシ、色々ノ點ニ於テ移民計畫ニ對スル指導モヤリ宜イト存ズルノデアリマスカラ、此ノ機會ニ農業移民ノ實情ニ付テ簡單デ宜シイカラ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 滿洲開拓移民ニ付キマシテハ、現在ノ方針トシテハ、主トシテ北滿ニ於ケル移民計畫ヲ實施シテ居ルノデアリマス、只今御話ノ南滿地方ハ從來カラモ相當長イ間耕作ヲシテ居リマスカラ、多少地味モ減退シ、肥料等モ十分使ハナケレバ増産モ期待出來ナイヤウナ事情ニアルト云フコトハ、是ハ實ハ或ル程度アリマス、併シ北滿ノ地ハマダ殆ド未開墾地デアリマシテ、肥料モ要ラズ、耕作ヲシマスレバ、非常ニ有利ナ條件デ農作物ガ生産セラレルト云フ状態デアリマス、加藤完治氏等ノ御話ニ依リマシテモ、内地ヲ一トスレバ滿洲ハ十位ノ能力ヲ持ツト云フ位ノ地味豊饒ノ地點ガ北滿ニアルノデアリマスカラ、我が國ノ北滿開拓移民ニ對シテ生産力減退ト云フコトカラ、其ノ士氣ヲ阻害セシメルト云フヤウナコトハ有り得ナイト考ヘテ居リマス

○野澤委員 ドウモ南滿ノ北滿ト云フテ見タ所デ、滿洲ト云ヘバ送出移民ハ滿洲全體ヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、大臣ノ言ハレルヤウニ南滿ハ昔カラヤツテ居ルカラ地力ハ弱ツテ居ツテ駄目ダ、北滿ハ未開墾

地デ將來宜イト云フヤウナコトニナルト、オ五ヒハ分ルガ、一般ノ農民ニハ分ラナイ、特ニ最近長野縣邊リデモ移民ヲ勸メルニ當リマシテ、無肥料デ宜イト言ヒマスカラ行ツタ所ガ、迎モ「アルカリ」土壤デドウニモナラナカウツト云フコトデ、場所ヲ變ヘルニ相當困難ヲシタデアリマスガ、サウ云フコトデハ、吾々モ指導スルニ困ル、併シ困ルト云ツテドウスルカト云フコトニナリマス

ト、指導スル政府ニ於キマシテ、南滿方面ハ斯ウ云フ土壤デアアルカラ斯ウデアアル、北滿方面ハ斯ウ云フ土壤デアアルカラドウデアアルト云フコトヲ豫メ能ク示シテ、サウシテ移民計畫ヲ樹立シ、指導サレタ方ガ宜イト思ヒマスガ、此ノ點ニ對スル大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 其ノ點十分滿洲開拓移民ヲ指導シマス者モ、亦指導ヲ受ケマス者モ能ク分ツテ居ルノデアリマス、南滿地帯ハ殆ド大キキ移民ヲ持ツテ行ク餘地ガナイノデアリマス、滿洲移民ト云ヘバ北滿ノ移民ト云フコトハ、是ハ常識的ニ分ツテ居ルノデアリマス、サウ云ツタヤウナ御心配ハナイト思ヒマス

○野澤委員 御心配ガナケレバ結構デスガ、マア一ツサウ云フ點モ吾々ノ接スル農民ハ心配シテ居ル者モアリマスカラ、念ニハ念ヲ入レヨデアリマス、ヨリ一層政府ノ目的ヲ達スルヤウニ、徹底的ニ御指導ヲ願ヒタイト思ヒマス

次ニ今回ノ法案中其ノ内容ヲ検討シテ見マス、内地米ニ對シテハ食糧管理局デ扱フシ、外地米ニ對シテハ食糧管理局デ扱フト云フ二元の機構ニナツテ居リマスガ、麥ノ出荷ニ付テハ又一ツ彈力ヲ持タシテアルヤ

ウニ思フノデアリマス、サウナルト先程農林大臣ガ御答辯ヲサレタ目的、精神トハ少シ違ツテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、此ノ點食糧管理局長官ニハドウ考ヘラレテ居リマスカ

○湯河政府委員 此ノ點ハ能ク御説明ヲ申上ゲテ置キタイト存ジマス、此ノ管理法ノ建前ト致シマシテ、茲ニ米麥トゴザイマスノハ、寧ロ内地ニ於テ生産サレタ米麥デ、是ハ三條、四條ノ規定ニ依リマシテ政府ガ謂ハバ專賣的ニ之ヲ買入賣渡ヲ致シマス、此ノ政府ノ取扱ヒマシタ米麥ガ營團ニ渡サレマス、營團ヲ介シテ之ヲ配給スルニ付キマシテハ、四條ノ規定ニ依リマシテ政府ハ米麥ヲ營團ニ賣渡スト云フコトガ書イテゴザイマスガ、内地米ニ付キマシテハ政府ハ中央營團ニハ賣渡シマセズニ、地方營團ニ賣渡スト云フコトニ決メテ居リマス、此ノ所以ハ何ト申シマシテモ米ノ取扱量ト云フモノハ莫大ナモノデアリマシテ、之ヲ扱ツテ參リマスノニ實ハ食糧管理局ニ特別會計ガアルノデアリマス、更ニ之ヲ中央營團デ扱ハセルト云フコトハ必要ガナイデハナイカ、農林省ガシツカリ抑ヘテ居ルカラ、之ヲ地方營團ニ計畫的ニ渡シマシテモ、ソコニ配給上ノ些カノ不安モナイ、斯ウ思フノデアリマス、寧ロ斯ウ云フ行キ方デ中央營團ガ出來タカラト申シマシテモ中央營團ニヤラセルト云フコトハ、中央營團ニ無用ノ手數料ヲ取ラセルコトニシカナラヌノデハ子イカト云フヤウニ思ヒマス

外米ニ付テノ扱ヒハ、是ハドウナツテ居ルカト申シマス、南方ノ米ヲ買ツテ參リマス時ニ政府ガ之ヲ買フノデアリマスガ、政府ハ之ヲ現在此ノ事業ヲ扱ツテ居リマス

商社ニ嚴重ナル條件ノ下ニ委託ヲ致シマシテ、其ノ米ヲ輸入シタ後ニ内地ニ於テ政府ガ之ヲ買フノデアリマス、是ガ配給ニ當リマシテハ一方ニ麻袋ノ回收、是ガ現下非常ニ大事ナ物ニモナツテ居リマス等ノ必要モ考ヘマシテ、政府ガ直接賣渡ス場合モアリ、又從來ノ日本米穀會社ヲシテ扱ハシメルヤウニ必要ノアル場合ニ於キマシテハ、中央營團ヲシテ扱ハシタイト思ツテ居リマス、是ハ斯ウ云フヤウナ特殊ノ事情ガゴザイマスカラ中央營團ニ扱ハセルノデアリマスガ、内地米ニ付キマシテハ、サウ云フ必要ガゴザイマセヌカラ、政府ガ貯藏致シマス、ソレカラ麥ノ方ニ付キマシテハ、是ハ大麥、稗麥モ食糧ニナリマスルモノハ、何レモ精麥ト云フ過程ガ必要デゴザイマスルシ、又小麥ニ付キマシテハ製粉ト云フ加工過程ガアルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ從來カラソレトノ相當ノ設備ヲシテアルデアリマス、其ノ設備ノ全國的ノ配置ノ狀況等カラ考ヘマシテ、政府ガ米ト同ジヤウニ中央營團ニ直接大麥、小麥、稗麥ト云フヤウナ原料ヲ配給シテシマヒマス、更ニ地方營團ガ又偏在シテ居リマス設備ノ所有者ニ對シテ精麥或ハ製粉ヲ頼ムト云フコトニナリマシテ、非常ニ複雑ニナリマスカラ、是ハ從來トテモ政府ニ於キマシテハ、小麥ハ全國ノ配給會社ニ一手ニ拂下ガマシテ、ソコデ然ルベク製粉過程ヲ經マシテ、其ノ製粉ヲ地方營團ニ相當スル從來ノ地方配給機構ニ拂下ゲテ居リマス、ソレカラ大麥、稗麥ノ食糧ニナリマスモノ、精麥過程ノ必要ナルモノハ、只今デハ日本米穀會社ニ扱ハシメマシテ、サウシテ全國カラ見マス

ト偏在シテ居リマスル精麥工場ニ於テ精

麥シタモノヲ地方ノ配給機構ニ拂下ゲテ居ルノデアリマス、是等加工設備ノ散在シテ居リマスル事情等カラ考ヘマシテ、又是非加工ト云フ過程ガ必要ダト云フコトカラ致シマシテ、從來カラ是ハ日本米穀會社ナリ或ハ全國製粉會社ナリニ扱ハシテ居ルノデアリマシテ、大體ソレデ從來此ノ一兩年ノ經驗上支障ナク動イテ居リマスカラ、今度ノ營團ヲ作りマスニ付キマシテモ其ノ從來ノ經驗ヲ生カシマシテ、斯ウ云フ風ナ扱ヒガ決メラレテ居ルノデアリマス、無論從來ト申シマシテモ、麥類ニ付キマシテ地方ノ消費縣内ノ生産シタモノヲ縣内ニ於テ消費スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、必ズシモ中央ニマデ持ツテ來ルト云フコトニ致シマセヌ實情ガゴザイマス、是等ノ點ハ今後此ノ中央地方ノ營團ノ運營上ニ於キマシテモ、十分過去ノ經驗ト地方ノ實情トヲ能ク勘案致シマシテヤツテ參リタイト思ヒマス、併シナガラ中央營團ガ何ダカ中途半端ノ仕事ヲヤツテ居ルヤウニ御氣付キノヤウデゴザイマスガ、何ト申シマシテモ食糧管理局ノ特別會計ノ大キナ經濟上ノ動キニ即應シテ、中央營團ハ働イテ貴ヒタイト云フ考ヘヲ持ツテ居

ノデアリマシテ、其ノ外又中央營團ガ出來マスレバ、之ニ貯藏シテ貴フ吾々ト致シマシテハ、中央營團ト農林省トガ一體トナツテ働イテ行キマスレバ、配給ハ是デ行クト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○野澤委員 詳細ノ内容ニ付テ御答辯ニナリマシテ有難ウゴザイマシタ、漸クハツキリシマシタ、何ダカドウモ此ノ間ガ非常ニ曖昧模糊トシテ居リマシテ、露ヲ被ツタヤウデ分ラナカツタノデス、ソコデ一ツ警告ト申シテハ失禮デアリマスガ、希望ヲ申上

ゲテ置キマス、此ノ實施ニ當リマシテ、私ハ食糧管理局長官ガ考ヘテ居ラレルヤウニ圓滑ニハ中々行カスト思ヒマスカラ、相當面倒ダラウト思ヒマス、デアリマスカラ今後ハ此ノ物資ガヤハリ偏在スルコトノナイヤウニ、或ハ人的方面ニ於キマシテモ、食糧營團ト食糧管理局トガ仕事ノ上ニ於キマシテ、相剋ト言ツテハ失禮デアリマスケレドモ、色々支障ヲ來サナイヤウニ特ニ希望ヲ申上ゲテ置キマス

尙ホ本法案中雜穀モ結局ハ扱フコトニナルデアラウト思フノデアリマスガ、勿論勅令デ扱ヘルコトニナツテ居ルノデスカラ、行クハ當然扱フコトト思ヒマス、其ノ場合はハ大臣ニ特ニ御伺ヒシテ置キタイノデアリマスガ、包米トカ或ハ高粱ト云フ重要飼料デアリマスガ、此ノ飼料ガ一應勅令ニ依ツテ食糧トシテ扱フ場合ニ於キマシテハ、ソレガ價格ノ上ニ於テ、食糧トシテ買入レル場合ハ、時價價格ニ依ツテ之ヲ買上ゲルノデ相當ノ價格ニナルシ、次ニ飼料トシテ流ス場合ニハ、食糧ノ價格ニ依ツテ飼料ノ方ニ廻ハスト云フコトニナルト、是ハ有畜農業ガ大キナ暗礁ニ乗上ゲルコトデア

ルト思フ、此ノ點ニ對シテ農林大臣ノ御考ヘヲ特ニ聽イテ置キタイト思フノデアリマ

モ其ノ方針デヤツテ行カレルノデアリマスカ

○井野國務大臣 其ノ通りデアリマス

○野澤委員 次ニ私ハ時間ノ關係上一括シテ二、三質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、第三條第二項デスガ、前項ノ場合ニ於ケル政府ノ買入ノ價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ生産費及物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ムト云フコトニナツテ居リマス、先般モ先輩同僚ノドナダデアリマシタカ、此ノ點ニ關シテ質問サレマシタ、特ニ同僚平野君カラハ此ノ點ニ對シマシテ質問ヲサレタノデアリマスガ、其ノ時ノ答辯ガドウモ曖昧ダハツキリシマセヌデシタ、勿論此ノ生産費ヲ規定スルト云フコトニ付キマシテハ、相當色々意見モアルコトト存ジマスガ、特ニ先程來申上ゲマシタ通り、土地制度ノ改革ト有畜農業ヲヤラナケレバ、生産目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フコトヲ私主張シタコトニ對シマシテ、農林大臣ハ尤モデアルト云フ答辯ヲサレタ以上ハ、此ノ問題ハ特ニ重要ナ問題デアリマスガ故ニ、當局ノ生産費ニ對スル御所見ヲ御聽キシタイト思ヒマス、特ニ御所見ト言ヒマシ

テモ、私ハドウ云フヤウナ基準算定ヲ以テヤラウトスルカト云フ御所見ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、ソレニ對シマスル質疑ヲ又交換シテ居リマス時間ガ掛リマスカラ、ココデハ意見ダケヲ御聽キシマシテ、此處ニ私ハ私トシテノ私案ヲ持ツテ居リマスカラ、其ノ私案ヲ御示シ致シタイト思ヒマス

○湯河政府委員 第三條第二項ノ規定ニ依リマシテ、生産費ヲ參酌シテ買入價格ヲ決メルト云フコトニナツテ居リマス、此ノ生産費ノ問題ハ、是ハ此ノ法律ノ中デモ非常ニ重要ナ點デアルト思フノデアリマスガ、是ハ色々御議論ガオアリカト存ジマスルガ、吾々ト致シマシテハ兎ニ角米穀法、米穀統制法以來ノ經驗ヲ持ツテ居リマスノ

○野澤委員 其ノ點ニ關シマシテ一寸疑義ガアリ異見ガアリマスケレドモ、質疑ノ時聞ヲ許サレマセヌノデ私案ヲ速記ノ方ニ載セテ置キマスカラ、農林當局ト私案ヲハ參考



ニシテ戴イテ適正生産費ヲ正當ニ算定シテ  
戴キタイト思ヒマス、此ノ私案ハ後、速記  
ニ載セテ戴クヤウニ委員長ニ御願ヒ致シマ  
ス

○三善委員長 宜シウゴザイマス

○野溝委員 次ニ本法中主要食糧、米麥芋  
等々ガ入ツテ居ルノデアリマスガ、一體主  
要食糧ト云フモノハ、米麥ハ勿論主要食糧  
ニハ違ヒアリマセヌ、芋モサウデアリマセ  
ウケレドモ、ソレ以上必要ナモノハ蛋白質給  
源デアリマス動物性蛋白質、肉類ガ、絶對  
重要食糧デアリ、主要食糧デアルト思フノ  
デアリマスガ、ドウシテ此ノ主要食糧ノ中  
ヘ織込マナカツタノデスカ、此ノ點ヲ一ツ  
御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス

○湯河政府委員 此ノ點ハ昨日モ川島サン  
デゴザイマシタカノ御尋ネニ御答ヘ致シタ  
ノデゴザイマスガ、肉類、生鮮食料品等ハ  
米麥其ノ他此處ニ豫定シテ居リマス物資  
ト、其ノ取扱ヒノ方式等ハ可ナリ違フモノ  
ノヤウニ思ハレマス、同一ノ方式ヲ以テ取  
扱ヒ管理シテ參ルコトガ適當デナイト思ヒ  
マスノデ、是ハ尙ホ能ク檢討致シマシテ、營  
團ナリ或ハ管理法ナリ取扱フコトガ出來ル  
ト云フ結論ガ出マズレバ別デゴザイマスケ  
レドモ、只今デノ吾々ノ考ヘデハドウモ是  
等ヲヤルノニハ別ノ方式ヲ以テスベキデハ  
ナイカト思ヒマシテ、此ノ間申シマシタヤ  
ウニ、主要食糧ノ中ニハソレ等ノモノヲ入  
レテ居リマセヌ

○野溝委員 此ノ點ハ私非常ニ遺憾タト思  
フノデアリマス、一體食糧管理法ノ精神ト  
云フモノハ國民食糧ノ確保ト云フコトデア  
リマス、國民食糧ノ確保ト云ヒマシテモ、平  
年作以上、朝鮮ガ二千五百万石、内地ガ六

千五六百万石カラ七千万石、或ハ臺灣ガ一  
千万石カラ一千二百万石穫レル事情ニアル  
ナラバ、國民食糧ノ自給ハ圓滑トナル其ノ  
トキハ此ノ食糧管理法ト云フモノハ要ラナ  
イ、又食糧營團ト云フモノモ要ラナイト思  
フ、併シ客觀情勢ハ段々ト食糧ニ對スル色  
色ナ支障ガ派生シテ來マシタ結果ハ最低食  
糧確保ト云フコトニナツタ本食糧管理法  
ハ、最低食糧確保ヲ推進セン爲メニ生レタ  
モノデアルト思ヒマス、實際此ノ法律ノ精  
神ト云フモノハサウデナケレバナラヌト思  
フ、ソコガ國防經濟ノ觀點ガ、私ハサウ見  
ルノガ正シイト思フ、ケレドモ本管理法  
ノ内容トシテハ不備ノ點ガ相當アル最低食  
糧ノ確保ト云フコトニナリマスルト、最後  
ハ榮養價ノ問題ニナツテ來ルト思フ、結局  
ハ蛋白質ハ八十「グラム」熱量ガ二千四百

「カロリー」ガ成年標準榮養價デアアル、此ノ  
榮養價問題ヲ脫合セテ國民食糧ヲ確保スル  
ト云フノガ最モ正シイノデアアル、要スルニ  
榮養價ノ問題ガソコニ重要ナル問題トシテ  
登場シテ來ルノデアリマス、特ニ農林大臣  
及ビ食糧管理局長官ガ考ヘテ居ラレルヤウ  
ニ、是ハ本當ニ空襲ノ場合ニ於ケル用意ノ  
貯藏ヲモ考ヘテ居ル點ハ周到ナル心構ト存  
ジマス、今デコソ空襲ハアリマセヌケレド  
モ、戰爭政府トシテハ、當然ノ施策デアリ  
マスガ、其ノ空襲ニ對スル貯藏マデモ考ヘ  
テ居ラレルナラバ、此ノ榮養價ノ問題ヲ無  
視シタ所ニ本法ノ缺陷ガアル、動物性蛋白質  
トシテノ肉トカ或ハ生鮮魚ト云フモノモ此  
ノ食糧管理法ノ中ニ、食糧營團ノ中ニ之ヲ  
吸收シナクテハ意義ヲナサヌト思フ、併シ  
今回ハ非常ニ取急イデ居ツタカラ取敢ズ應  
急立法トシテ提出シタト云フノデシタラ特

ニ勅令ニ依ツテドウデモ扱ヘルコトニナツ  
テ居ルカラ、何レ考ヘテソレニ即應スルヤ  
ウニシテ貫ヒタイ、私ハ此ノ問題ニ對スル  
質問ハ是デ打切りタイト思ヒマスガ、之ニ  
對スル御所見ヲ承リタイ

○井野國務大臣 只今野溝委員ノ御述ベノ  
通り、食糧對策トシテハ、單ニ澱粉質ノ食  
糧ノミナラズ、蛋白給源ノ食糧ニ付キマシ  
テモ極メテ重大デアルト云フコトハ御説ノ  
通りデアリマス、隨テ政府トシテノ最近閣  
議ガ決定シマシタ緊急食糧對策ト云フモノ  
ハ澱粉質給源、蛋白質給源、或ハ脂肪質給  
源ノ三方面カラ國民ノ食糧ノ最低限度ヲ確  
保スルト云フコトノ目標ノ下ニ現在施策ヲ  
致シテ居ルノデアリマス、食糧管理法ハ其  
ノ一端デアリマス、全部ノ食糧問題ヲ此ノ  
法案ニ依ツテ解決シヨウト云フノデハナイ  
ノデアリマス、農林大臣ガ其ノ三ツノ方面  
ノ責任ヲ持チマシテ、色々ノ施策ヲスル、  
其ノ一端トシテ此ノ食糧管理法ヲモ運用シ  
テ參リタイ、斯ウ云フ次第デアリマスカラ、  
決シテ御説ノ通り肉ヲ粗末ニスルト云フ氣  
持ハチツトモゴザイマセヌ、勿論十分ニサ  
ウ云フ點モ増産ヲ圖ツテ參リタイト考ヘテ  
居リマス

○三善委員長 野溝君、マダアリマスカ  
○野溝委員 モウ二三點アリマス、マダ五  
分アリマスカラ……

○三善委員長 纏メテ下サイ、唯一點ダケ  
御許シシマス

○野溝委員 ソレデハ時間ノ關係デ質問ヲ  
注意セラレマシタノデ、遺憾ナガラ私ハ食  
糧増産ニ關スル建設意見ダケ申上ゲテ置キ  
マスカラ、ドウカ一ツ農林當局ハ、私ノ建  
設の意見ヲ御検討御考慮ヒタイト思フ、

私ハ外来依存ガ宜イトカイカストカ、或ハ  
内地自給ガ宜イトカイカストカ、盛ニ議  
論サレテ居ルガ、ソシテモノハ外来依存デ  
アラウト内地自給デアラウト、議論ノ必要  
ハナイ、私ハ東亞共榮圈ヲ如何ニシテ經濟  
的ニ政治的ニ推進シテ行クカト云フコトガ  
吾々ニ與ヘラレタ所ノ使命デアルト思フ、  
サウ云フ觀點カラ一切ノ政策ヲ私ハ立案シ  
ナケレバナラヌト思ヒマス、デアリマスカ  
ラ東亞共榮圈ノ國土計畫ト云フ觀點カラ、  
私ハ左ノ見解ヲ持ツテ居リマス、特ニ食糧  
問題ニ對シマシテハ、大東亞食糧政策ト致  
シマシテ、先ヅ日滿支南方ヲ含メタ東亞協  
力經濟ヲ基調トスル國防經濟ノ編成、是ガ  
一デアリマス、二ガ食糧一切ノ生産、配給、  
消費ノ交流調整、三、綜合食糧ノ自給方策  
ノ確立、右ヲ基本方針トシテ次ノヤウナ實  
踐ヲヤツテ貫ヒタイ、其ノ實踐要綱ト致シ  
マシテハ、先ヅ計畫生産ノ目標ヲ立テル、  
内地ト致シマシテハ食糧及ビ原料作物ノ多  
收穫品種ヲ獎勵スルコト、ソレカラ是ハ大體  
農林省デモヤラレテ居リマスガ、部落協同  
組合ヲ單位トスル共同耕作、利用ニ依ル生  
産命令等ニ依リ七千万石確保、次ニ臺  
灣ト致シマシテハ、最近砂糖船ガドクノ  
來ルト云フヤウナ馬鹿ナコトヲ新聞言ツ  
テ仕様ガナイガ、米ノ増産ニ重點ヲ置クト  
云フコトニシテ貫ヒタイト思ヒマス、千三  
百万確保、朝鮮ハ農業經營ノ改良ト計畫ノ  
更新ニ依リ増産ヲ圖ルニ千八百万石確保、滿  
洲ハ開拓ヲ獎勵シテ國防前線基地トシテ滿  
洲移民ヲ徹底スル、特ニ二十箇年間百万戸  
ノ送出ニ付キマシテハマダノ内容ヲ改善  
シナイト、高度國防上ノ危險性ガアル、其  
ノ内容ト致シマシテハ水田ノ許可性ト云フ

○野溝委員 ソレデハ時間ノ關係デ質問ヲ  
注意セラレマシタノデ、遺憾ナガラ私ハ食  
糧増産ニ關スル建設意見ダケ申上ゲテ置キ  
マスカラ、ドウカ一ツ農林當局ハ、私ノ建  
設の意見ヲ御検討御考慮ヒタイト思フ、

○野溝委員 ソレデハ時間ノ關係デ質問ヲ  
注意セラレマシタノデ、遺憾ナガラ私ハ食  
糧増産ニ關スル建設意見ダケ申上ゲテ置キ  
マスカラ、ドウカ一ツ農林當局ハ、私ノ建  
設の意見ヲ御検討御考慮ヒタイト思フ、

○野溝委員 ソレデハ時間ノ關係デ質問ヲ  
注意セラレマシタノデ、遺憾ナガラ私ハ食  
糧増産ニ關スル建設意見ダケ申上ゲテ置キ  
マスカラ、ドウカ一ツ農林當局ハ、私ノ建  
設の意見ヲ御検討御考慮ヒタイト思フ、

ヤウナ面倒ナコトヲ言ハズドシテ、許スト云フヤウナコトニシテ行カケレバナラヌト思ヒマス、特ニ滿洲ニ於キマシテハ四百萬石位シカ出來ナイサウデアリマスカラ、是等ニ對シマシテハ徹底的ニ自給ノ出來ルヤウナ増産獎勵ヲシテ貰ヒタイ、ソレト貯藏設備ヲ完備スルト云フコトガ必要デアリマス、支那ニ於キマシテハヤハリ土地制度ノ改革ヲスルコトガ必要デハナイカ、併シ是ハ支那ノ領土デアルカラサウ簡單ニ行キマセス、先ヅ取敢ズヤラナケレバナラヌコトハ、清郷工作ノ確立、技術ノ指導、品種改善、水利灌溉事業ノ實施等々、南方ニ於キマシテハ佛印、タイ、ハ米二千二百萬石、雜穀七十萬トシ、ト云フ程度デ満足セズ、此ノ方面モ東亞共榮圈の建前ヲ持つテ居ルノデアリマスカラ、日本ガ指導シテ、特ニ米ノ増産及ビ雜穀ノ大増産ヲ積極的ニ推進シ共榮圈食糧供給基地トシテ戴キタイト考ヘテ居リマス、當面ノ實踐要綱ト致シマシテハ、先程私ガ此處デ申上ゲマシタ通り、土地問題、有畜農業ノ普及徹底、農業團體ノ統合、此ノ三ツヲ捉ヘタイト思ヒマス、特ニ土地制度ノ問題ニ付キマシテハ既ニ前回平野君ヨリ申サレマシタ通り、吾々ハ絶エズ農林當局ノ御出席ヲ願ヒマシテ、農地制度改革同盟ノ意見ト致シマシテ、種々農林省ニ陳情シ意見ノ交換ヲナシ瑞穂ノ國日本ノ建設ヲ申上ゲテ居リマスカラ、此處デハ申上ゲマセス、ドウカ我々ノ熱意生産農民ノ眞情御酌取り願ヒマシテ、一日モ早く立案サレ本議會ニ土地制度ノ改革ニ對スル法案ナリ或ハ何等カ之ニ代ルベキモノヲ此ノ機會ニ一ツ實踐シテ戴キタイト思ヒマス、又農業團體ノ統合ハ先般來御意見ガアリマシ

タガ、何ト云フテモ増産ニハ國民組織ガ必要デアルト思ヒマス、此處ニ馬ガ來タ、牛ガ來タ、イヤハ八十人デ一馬力ノモノヲ馬ハ二頭デ馬力ノ能力ヲ發揮スル、脱穀機ハ人ガ一時間ニ一石八斗ノ所ヲ是ハ六石ヤルト言フテ見テモ、ヤハリソレガ部分的デアツテハ效果モ少ナイ、人的ニシテモ、只今ノヤウナ畜産ト云フ物のニシテモ限界アル効力シカナイ、斯ウシタ部分的ナ効力ヲ有機的ニ操作スルニハ組織ノ力デナケレバナラヌ、ヤハリ下部組織、國民組織、此ノ組織ガナケレバナラヌ、組織ト云フモノハ人ガ組織ヲ動かカス、組織ハ人ヲ錬成スルノデアリマスカラ、ドウシテモ戰時下物資ノ不足ノ時ニ於キマシテハ、此ノ組織ニ依ツテ此ノ物資不足、勞力不足ヲ補足シテ行クト云フ方針ヲ茲ニ確立シナケレバ、私ハ増産目的ヲ達成スルコトハ出來ナイト思ヒマス、以上當面ノ實踐要綱ト致シマシテ有畜農業ノ普及徹底、土地制度ノ改革、農業團體ノ統合ト云フコトヲ私ハ深刻ニ考ヘテ居ルモノデゴザイマスカラ茲デハ「アウトライン」ダケ申上ゲマシテ、内容ニ付テハ甚ダ空疎デアリマスガ意ノアル所ヲ諒トシテ戴キタイト、後刻時間ガアリマシテ質問ヲ許シテ戴ケレバ此ノ點ニ付テモ當局ト意見ヲ交換シテ見タイト思フノデゴザイマス、若シ時間ガナカツタナラバ只今ノ意見ハ、私ノ試案デアリマスケレドモ農林當局ニ於カレマシテ御批判願ツテ、取ツテ以テ施策ノ上ニ取上ゲテ戴クナラバ幸甚ト考ヘル次第デアリマス、以上ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス

午後一時十九分開議  
○委員長代理 午前ニ引續イテ開會致シマス——松本治一郎君  
○松本(治)委員 數日間ニ互リマシテ、本委員會ニ於テ多數ノ同僚議員カラ凡ユル角度、凡ユル方面カラ質問ガナサレテ居リマス、其ノ中ニ私ノ御尋ネシヨウトスルコトモ多ク質サレテ居リマスカラ、私ハ簡單ニ重複ラ避ケマシテ、私ガ農村ニ於キマシテ農村ノ人達ガ、是非ダケハ政府ノ人ニ言ツテ呉レ、斯ウ言ハレタコトニ付テ一寸御尋ネラシ、私ノ氣持モ述べ、政府ノ意ノアル所ヲ聽キタイトデアリマス、其ノ一ツハ農業所得ニ依リ農民ノ生活ガ出來ルヤウニシテ呉レ、今一ツハ働クノハ何ボデモ働クカラ生産ニ必要ナル肥料ト器具資材ヲ呉レ、サウシテ強イ純綿ノ綿布ト地下足袋ヲ呉レ、呉レルナラバ早く呉レ、今一ツハ食糧生産ニ働クタメニ必要量ノ米ヲ保有サシテ呉レ、斯ウ言フノデアリマス、食糧ノ問題ハ平素ノ場合ニ於テモ重大關心事デアリマシガ、今日ノヤウナ戰時非常時下ニ於キマシテハ尙更重大ナ問題デアルトハ、私ガ申上ゲルマデモナク御分リノコトト思フノデアリマス、併シ我が國ハ大東亞共榮圈確立ノ爲ニ、延イテハ世界新秩序建設ノ爲ニ大東亞戰爭ヲ敢行シ、緒戦ニ於テ世界戰史上未曾有ノ輝カシイ戰果ヲ收メツツ、長期戰對應ノ態勢ヲ完勝ニ向ツテ邁進シテ居ルノデアリマス、其ノ國家ノ大目的完遂ニハ國民食糧ノ確保ガ絕對必要條件デアリマス、就中國内ノ食糧ハ國內ニ於テ需給ヲ圖ルコトガ又絕對ニ必要デアルノデアリマス、然ルニ我が國現下ノ食糧生産事情ト云フモノハ、勞力、肥料ノ不足其ノ他ノ資材

ノ窮屈化等ノ惡條件ニ置カレマシテ、搦テテ加ヘテ消費ハ増大ノ一途ヲ進ンデ居ルノデアリマス、此ノ望マシカラザル食糧生産關係ヲ克服致シマシテ、大東亞戰爭完遂ノ爲ニ食糧問題ノ解決ヲ圖ル必要カラ本案ガ出サレタカト思フノデアリマス、此ノ事ニ付キマシテハ、何人モ些カモ異論ハナイコトト思フノデアリマス、此ノ食糧問題ヲ解決スルニハ、農業所得ニ於テ農民ガ生活シ得ルヤウニスベキデアルト思フメデアリマス、然ルニ今日マデ我が國ノ農業政策ハ唯彌縫的デアリマシテ、何等根本的解決ノ本道ヲ行ツテ居ナイヤウデアリマス、統計ノ示スガヤウニ、農村人口ノ移動状態ヲ見又土地ノ荒廢振リヲ考ヘマシテモ、國民食糧生産ノ源泉デアアル、農村ノ現状ハ、實ニ心細イ氣ガ致スノデアリマス、農村人ノ離農防止ヲヤル爲ニ、政府ハ本年ノ一月十日、農林省令ニ依ツテ農業生産統制令ヲ施行セラレマシタ、斯ノ如キ消極的對策ダケハ本質的解決ハ不可能デアルト思ヒマス、根本的ニハ農民ノ農業所得ガ少イ爲ニ起ル現象デアルト考ヘナケレバナラナイノデアリマス、帝國農會ノ調査ニ基イテ計算シタ農民ノ自家勞賃ヲ見テモ分リマスカラ、例ヘバ一町二反ノ小耕作者、中農ノ自作農デ米價四十三圓ノ時、自家勞賃一日二圓五十錢ニ當ル、同じ時小作農デハ日當七十錢ニシカ當ツテ居ナイノデアリマス、洵ニ氣ノ毒ナ位ニ思ヒマス、何ト政府ノ人が申シマシテモ、今日ノ物價高カラ見マス時ニ、引合ハナイノガ本當デアラウト思ヒマス、ダカラ離農者ガ多クナルノデアリマシテ、大切ナ食糧増産ニ支障ヲ來シテ居ルト思フノデアリマス

正午休憩

正午休憩

〔森委員長代理退席 委員長着席〕

僅カナ獎勵金ヲヤリ、補助金ヲヤリ、助成金ヲヤルヤウナ消極的ナ、恩惠的ナ對策デハ駄目ダト私ハ思ヒマス、要ハ小作料ノ適正化ヲ圖リ、自ラ土地ヲ耕ス者ニ土地ヲ持タセルコトダト私ハ思フノデアリマス、即チ二十六日本會議議西川貞一君ノ質問ニ對シテ農林大臣ハ「農村ハ單ニ食糧ノ生産場所デアルト云フ使命ヲ持ツバカリデナク、日本精神ニ燃ユル健全ナル人的資源ノ培養地デアリ、今回赫々タル戰果ノ裏ニハ、平素農民ガ土ニ育ミ、風雨ト闘ツテ參リマシタ辛苦ノ結果ガ、戰場勇士ノ義勇奉公ノ精神トナツテ居リマスコトハ、明カナ事實デアリス、農林ニ對シテ限りナキ感謝ノ御言葉ヲ送ツテ貰ツテ居ル、此ノ建前カラ見マシテモ、大臣ハ農村ガ農業所得一本建ニ依ツテ安心シテ食糧生産ニ從事シ得ルヤウナ温かい根本的農業政策ヲ講ゼラレル責任ガアルト思フノデアリマス、以上述べマシタ事柄ニ付テドウ云フ御考ヘヲ以テ居ラレルカ、ソレヲ御尋ネシタイノデアリマス

料ナリガ、色々ノ已ムヲ得ザル事情カラ手ニ入ラナイ、是ハ吾々トシテモ出來ルダケ農村ニ送リタイガ送レナイト云フ事情ノ下ニ、吾々ハ増産ヲ農民ニ御願ヒスル以上、農民ニ對シテハ與ヘラレタモノニ於テ出來ルダケ一ツ増産シテ貰ヒタイ、戰爭ニ於テ彈丸ガナクナツタカラ戰爭ヲ止メルト云フコトデハイケナイノデ、兵士ト雖モ彈丸ガナケレバ肉彈ヲ以テ敵ニ突貫シテ行クノダ、其ノ氣持ヲ以テ一ツ増産ヲヤツテ貰ヒタイト云フコトヲ農民ニ御願ヒシテ居ルノデアリマス、又經營上ノ問題ニシマシテ、政府トシテハ出來ルダケ農村ノ經營ヲ有利ナラシメルヤウニ凡ユル角度カラ今マデ根本的對策ヲ講ジテ來テ居リマス、現ニ昨年来ガ非常ニ安イト云フ點ニ鑑ミマシテ、國家トシテハ數億ノ國幣ヲ米穀生産獎勵金トシテ出シマシタ、兎ニ角今日ノ米價ヲ五十圓見當ニ置イテ農民ノ生産費ヲ償フト云フコトニ付キマシテモ、國家トシテハ非常ナ考慮ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ農村ニ於テ今日非常ニ引合ハナイカラ農業ヲ止メテ外ニ行クト云フモノデハナイノデアリマス、農民自身モ今日ハ能ク時局ヲ認識シテ、多少不利不便ガアツテモ、其ノ困難ヲ克服シテ國家ノ要請ニ應ヘルト云フ氣持デ喜ンデ今日ハ増産ニ邁進シテ呉レテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ全體ノ農民トシテ之ヲ考ヘル時ニ、今松本委員ノ言ハレタヤウナ氣持ハ私ハナイト思フ、個個ノ農民ニハ多少アルカモ知レマセヌガ、全體ノ農民ハ全ク政府ノ氣持ト一體トナツテ増産ニ邁進シテ呉レテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テハ出來ルダケ政府トシテノ親心ヲ今後モ盡シテ參リタイ、斯ウ考

ヘテ居ル次第デアリマス

○松本(治)委員 大臣ノ答辯ハ豫想シタヤウナ答辯デアリマシタ、大臣ノ各委員會、各場所ニ於テノ答辯ヲ聽イテ居リマスルト同ジ筋合ノ答辯デアリマス、ヤリマス、分ツテ居リマス、斯ウ云フコトナノデス、農林大臣ニハ本當ニ農民ノ辛サガ分ツテ居ルノデアラウカ、私ハ之ヲ疑フノデアリマス、決シテ農民ハ革ノ足袋ヲ穿カシテ呉レ、絹布デ作ツタ着物ヲ着セテ呉レ、絹デ作ツタ手拭ヲ呉レト云フノデハナイ、二、三回使ヘバ汗ノ爲ニ汚レル、サウシテ洗ヘバ破レルヤウナ「ス・フ」製ノ作業服デヤイケナイ、手拭デハイケナイ、働クノハ何ボデモ働クカラ、働カルルヤウナ物ヲ呉レ、汗ニ強イ、洗濯ノ利ク作業着ト手拭ヲ呉レト斯ウ云フ、地下足袋ヲ呉レト言フ、所ガ物ガナイ、ソレハアルトモナイトモ私ハハツキリ分ラナイ、所ガオ偉イ人達ハ何ト云ツテ居ル「ラジオ」ヲ通ジテ國民ニ呼掛ケテ居ル、其ノ人ノ話ヲ聽クト決シテ物ガ不足シテ居ルノデヤナイ、アルノハアルンダ、アルケレドモ出サナイ者ガ居ルカラ悪インダ、又賣惜ミヲシテ居ル者ガ居ル爲ニ物ノ不足ヲ告ゲテ居ル、決シテ足りナイノデヤナイ、アルノハアルンダ、斯ウオ偉イ人達ガ「ラジオ」デ言ツテ聽カシテ居ルカラ、農民ノ人達ハソレヲ信ジテ居ル、吾々ハ働カウト思フケレドモ、働カレナイ、此ノ非常時ニ於テ自分ガ買溜ヲヤリ賣惜ミヲシテ居ル、サウ云フ人達ガアルコトハ吾々ハドウモ腑ニ落ちナイ、斯ウ云フコトヲ農民ハ考ヘテ居ルノデアリマス、アルト云フ證據ヲ一ツ擧ゲテ見マセウ、先日私ガ大阪ニ立寄りマシテ、或人ノ所ニ行ツテ話ヲ聞クト、元ノ某商工

大臣ノ家ニ泥棒ガ入ツタ、其ノ泥棒ガ其處デハ捕ヘラレナイデ、他ノ所デ捕ヘラレタ、サウシテ警察デ訊問ヲ受ケタ際ニ、元ノ某商工大臣ノ家ニ泥棒ニ入ツタ時ニ八疊ノ間一パイ純綿ノ物ガアリマシタト云フ供述ヲシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ル、是ガ買溜デアリマセウ、賣惜ミハ倉庫ノ中ニ澤山アルト聞イテ居ル、農林大臣ハオ偉イ人デアアル、此ノ賣惜ミヲ買溜ヲシテ居ル人達ニ出サセテ、食糧増産報國ノ念ニ燃エテ、力一杯働キタイト待ツテ居ル農民ニ其ノ純綿ノ物ヲ廻サレルヤウニ努力シテ貰ヒタイト思フガ、農林大臣ノ其ノ氣持ヲ一寸聽キタイ

大臣ノ家ニ泥棒ガ入ツタ、其ノ泥棒ガ其處デハ捕ヘラレナイデ、他ノ所デ捕ヘラレタ、サウシテ警察デ訊問ヲ受ケタ際ニ、元ノ某商工大臣ノ家ニ泥棒ニ入ツタ時ニ八疊ノ間一パイ純綿ノ物ガアリマシタト云フ供述ヲシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ル、是ガ買溜デアリマセウ、賣惜ミハ倉庫ノ中ニ澤山アルト聞イテ居ル、農林大臣ハオ偉イ人デアアル、此ノ賣惜ミヲ買溜ヲシテ居ル人達ニ出サセテ、食糧増産報國ノ念ニ燃エテ、力一杯働キタイト待ツテ居ル農民ニ其ノ純綿ノ物ヲ廻サレルヤウニ努力シテ貰ヒタイト思フガ、農林大臣ノ其ノ氣持ヲ一寸聽キタイ

○井野國務大臣 政府トシマシテモ、農民ニ對シテ増産ヲ要請致シマス以上、アルモノデアリマスレバ、勿論之ヲ配給シテ行クト云フコトニ付テ各カデアアル筈ハナイノデアリマス、純綿ニシマシテモ「ゴム」足袋ニシマシテモ、實際其ノ原料デアアル所ノ物ガ今日國家的ニ不足シテ居ルト云フ實情カラ、其ノ限度ニ於テ配給致シテ居ルノデアリマシテ、物ノ關係ニ付キマシテハ企畫院ガ中心ニナリマシテ物動計畫ト云フモノヲ立テマシテ、内地ニ於ケル所ノ在庫品並ニ海外カラ來ル輸入品、ソレ等ノモノヲ勘案シマシテ、サウシテ現實ニ配給シ得ルモノヲ現在配給致シテ居ルノデアリマス、偶、一人ガ買占ヲ賣惜ミヲシテ居ルト云フ事實モ絕對ニナイトハ私ハ申シマセヌ、併シソレ等ノ材料ハ是ハ全部政府ガサウ云フモノヲ能ク調べ上ゲテ、サウシテソコニ遺憾ノナイヤウニシナケレバナラヌコトモ當然デアリマスケレドモ、併シ現在ノ實情ニ於テ大體サウ云フ種類ノモノガナイト云フコ

大臣ノ家ニ泥棒ガ入ツタ、其ノ泥棒ガ其處デハ捕ヘラレナイデ、他ノ所デ捕ヘラレタ、サウシテ警察デ訊問ヲ受ケタ際ニ、元ノ某商工大臣ノ家ニ泥棒ニ入ツタ時ニ八疊ノ間一パイ純綿ノ物ガアリマシタト云フ供述ヲシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ル、是ガ買溜デアリマセウ、賣惜ミハ倉庫ノ中ニ澤山アルト聞イテ居ル、農林大臣ハオ偉イ人デアアル、此ノ賣惜ミヲ買溜ヲシテ居ル人達ニ出サセテ、食糧増産報國ノ念ニ燃エテ、力一杯働キタイト待ツテ居ル農民ニ其ノ純綿ノ物ヲ廻サレルヤウニ努力シテ貰ヒタイト思フガ、農林大臣ノ其ノ氣持ヲ一寸聽キタイ

大臣ノ家ニ泥棒ガ入ツタ、其ノ泥棒ガ其處デハ捕ヘラレナイデ、他ノ所デ捕ヘラレタ、サウシテ警察デ訊問ヲ受ケタ際ニ、元ノ某商工大臣ノ家ニ泥棒ニ入ツタ時ニ八疊ノ間一パイ純綿ノ物ガアリマシタト云フ供述ヲシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ル、是ガ買溜デアリマセウ、賣惜ミハ倉庫ノ中ニ澤山アルト聞イテ居ル、農林大臣ハオ偉イ人デアアル、此ノ賣惜ミヲ買溜ヲシテ居ル人達ニ出サセテ、食糧増産報國ノ念ニ燃エテ、力一杯働キタイト待ツテ居ル農民ニ其ノ純綿ノ物ヲ廻サレルヤウニ努力シテ貰ヒタイト思フガ、農林大臣ノ其ノ氣持ヲ一寸聽キタイ

トモ吾々ハ色々ノ施策ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ商工省ニ於キマシテモ、最近色々ノ物ノ在庫調ベト云フコトヲ司法省トノ連絡ニ依ツテ徹底的ニ致サウト云フコトモ考ヘテ居ラレルヤウデアリマス、若シサウ云ツタモノガ出テ參リマスレバ、是ハ勿論其ノ材料ニ依リマシテ、出來ルダケ農村ナリ鑛山ナリニ必需品ヲ配給シテ行クト云フコトニ努力致ス積リデアリマス、現ニ先日モ豫算總會申上ゲマシタ通り、南方カラ來ル「ゴム」ニ付キマシテモ、若シモ戰果ニ依ツテ相當量方船ノ都合デ來レバ、先ツソレヲ労働者ナリ農村ノ地下足袋ニ製作シテ、サウシテ之ヲ優先配給ヲシヨウト云フ氣持マデ政府ハ持ツテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ苦心ヲ致シテ居ル點ニ付キマシテハ、十分一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○松本(治)委員 大臣ノ答辯ヲ聽キマシテ幾ラカ安心ヲシマシタ、一生懸命待ツテ居ル農民ニ與ヘテ貰ヒタイ、ソレガ食糧増産ノ唯一ノ途デアルト私ハ思フノデアリマス、又御尋ネ致シタイノハ、食糧管理ノ人事ニ關スルコトデアリマス、此ノ食糧管理法ノ第十八條ヲ見マス「中央營團ニ總裁、副總裁各一人、理事五人以上、監事三人以上及評議員若干人ヲ置キ政府之ヲ命ズ」トアルノデアリマス、此ノ事變以來多クノ所謂國策會社ナルモノガ出來テ居ルヤウデアリマス、此ノ所謂國策會社ノ人事ニ付テハ相當評判ガ宜シクナイヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、此ノ國策會社ト云フモノハ今國家ガヤツテ居リマスル大東亞共榮圈確立、此ノ國家ノ大目的完遂ノ爲メノ必要上斯ウ云フ國策會社ガ作ラレテ居ルト思フノデアリ

マスガ、其ノ裏ニハ、其ノ蔭ニハ多クノ人ガ泣イテ居ルノデアリマス、所謂企業合同、整理統合、其ノ爲ニ轉廢業ヲシテ泣イテ居ル人達ガ澤山居ル、其ノ人達ハ泣キナガラモヤハリ國家ガ命ズル方面ニ轉出シテ居ル、所ガ茲ニ考ヘナケレバナラヌコトハ、國策ノ爲ニ犧牲ニナツタ轉廢業者、此ノ人達ヲ見ナガラ、此ノ國策會社ノ總裁及副總裁其ノ他ノ高級役員連中ハ何ヲ考ヘテ居ルカ、私ハ此ノ一事デアルト思フ、明日ノ生活費モ心配シナケレバナラヌ立場ノ人スラ、國策ノ爲ニハ轉廢業ヲシテ居ル、所ガ一方ニハ國家カラ多額ノ生活ノ保證ヲ受ケナガラ、又一方ノ關係シタ會社カラ報酬ヲ受ケテ居ル、其ノ人ガ其ノ報酬ヲ受ケナケレバ生活ガ出來ナイト云フナラバ、ソレハ要ルダケ出サナケレバナラヌ、所ガ一方ニハ多額ノ恩給ヲ取り收入ガアル、而モ少ナカラヌ財産ガアリナガラ平氣デ其ノ報酬ヲ受ケテ居ルト云フ其ノ人達ノ氣持ガ分ラナイ、人ニハ滅私奉公、公益優先、此ノ非常時ヲ認識シロト言ヒナガラ、自分ノ受ケルダケハ平氣デ受ケテ居ル、此ノ營團ノ人事ニ關シテハ一ツ注意シテ貰ヒタイト思ヒマス、茲ニ小サイ「ザンプル」ガアル、ソレハ此ノ松本デアアル、私ハ昨年七月二十四日附ヲ以テ認可セラレマシタ日本新興統制株式會社ノ社長デアアル、是ハマダ小サイ統制會社デアアルケレドモ、ソレニ集ツテ來ル人ソレニ關係シテ居ル人達ヲ見マス時、涙ナクテハ見ラレナカッタ、涙ナクテハ聞カレナカッタ悲話ガアルノデアリマス、國家ノ行ハウトスル統制、此ノ爲ニ幾代カ幾十年カノ長イ間此ノ商賣ニ依ツテ生活シテ居ツタノガ、自分ノ資本ガ少イ爲ニ、自分ノヤ

ツテ來タ實績ガ少イ爲ニ、泣クノ廢業シナケレバナラナイ、斯ウ云フコトヲ見テ、斯ウ云フコトガ分ツタノデアリマス、是モ國策ノ爲ニサウ云フ不幸ナ立場ニナル人達デアアル、ソコデ私ハサウ云フ人達ノコトヲ考ヘテ、後ニ殘ツテ其ノ會社ニ關係スル人達ニ對シテ斯ウ言ツタ、諸君ハ財産ガアルデヤナイカ、今マデ儲カワツタ金ガアルデヤナイカ、アノ人達ノコトヲ考ヘテ眞面目ニヤツテ呉レ——是モ承知シテ呉レマシタ、所ガ私ノ報酬ト云フモノガ問題ニナツタノデアリマス、ソコデ私ハ報酬ハ要ラナイ、是ハ自家宣傳ノヤウニナリマスカラ言ヒタクナイケレドモ、事實ダカラ仕樣ガナイ、私ハ此ノ會社ニ關係ヲシテモ、此ノ會社カラ報酬ヲ貰ハナクトモ十年ヤ二十年食フコトニ難儀ハナイ、ソレヨリモ此ノ爲ニ轉廢業、轉廢業トシテ行ク人達ノ方ガ氣ノ毒ダカラ、若シ僕ニ呉レル金ガアルナラバ其ノ方ニ向ケナケレバナラヌト言ツタ、自分ノ財産トカ外ノ收入ニ依ツテ生活ガ出來ル人ハ——此ノ食糧營團ニ關係スル人ハ其ノ報酬ヲ遠慮サレルヤウナリ選ンデ貰ヒタイト私ハ希望スルノデアリマス、サウ云フコトニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ御尋ネ致シマス

○井野國務大臣 國策會社ノ人事ニ付キマシテ、農林省關係ノ國策會社ニ於キマシテ、私ハ今マデ人事ノ不當ナコトガアツタト云フコトハ聞イテ居リマセヌ、適當ナル人事ヲ致シテ居ルト考ヘテ居リマス、今御述べニナリマシタ國策會社ノ社長ナリ、其ノ他役員ガ報酬ヲ餘リ多ク取ラスガ宜イト云フコトニ付キマシテモ、サウ多額ノ報酬ヲ取ルコトハ私ハ宜クナイト思ツテ居リマス、

又企業合同ノ裏ニ色々ノ悲話ノアリマスコトモ能ク私承知シテ居リマス、ソレ等ノ社會情勢ヲ考ヘマシテ、人事ナリ報酬ヲ決定ナラヌト思ヒマスルガ、唯今國策會社ノ重役ニ俸給ヲ辭退スルヤウナリ持ツテ來イト云フ御話デゴザイマス、財産ヲ非常ニ持ツテ居ル人デ自ラ辭退サレル人ハ是ハ別デアリマスガ、制度トシテ報酬ノ要ラスヤウナリ選ブコトニナリマス、ソレガ必ズシモ良イ人材ヲ得ルト云フ譯ニハ參ラス、財産必ズシモ人材デハナイノデアリマスカラ、隨テ財産ノナイ立派ナ人ヲ持ツテ來テ充テナケレバナラヌ場合モアリマス、其ノ爲ニ役人ヲ辭メテ來ル人ガアルノデ、恩給等ニ依ツテ生活出來ルニ拘ラズ、サウ云フモノヲ貰フノハ怪シカラヌト云フ御議論モアリマシタガ、ソレハ國家ノ制度トシテ會社收入ガ多イ場合ニハ恩給ヲ或ル限度ニ於テ停止スルト云フ制度マデ出來テ居ルノデアリマシテ、財産ヲ持ツテ居ル者ハ他ノ收入ヲ皆辭退シナケレバナラヌト云フ制度ニナツテ居ナイ今日ニ於キマシテ、國策會社ノ重役ダケガサウ云ツタコトヲシナケレバナラヌト云フコトモ私ハナイカト思フノデアリマス、要ハ其ノ會社ヲ運營シテ行キマスノ適當ナル人材ヲ得ル其ノ爲ニ、多少ノ報酬ヲ出サナケレバナラヌト云フナラ、是ハ已ムヲ得ナイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

(委員長退席、森委員長代理著席)

○松本(治)委員 財産必ズシモ人材デナイコトハ私モ能ク辨ヘテ居ルノデアリマス、私ハサツキ質問ノ中ニ其ノ報酬ガナケレバ生活出來ナイ人デアレバ、其ノ人ニハ與ヘナ

ケレバナラナイ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、決シテ全部ヲ只働カセルト云フノデアリ、其ノ人ノ努力ニ對シ、其ノ力ニ對シテ報酬ヲアルノハ當然ノコトデアリ、ソレハ能ク辨ヘテ居ルノデアリマス、所ガ今ハ非常時デアリ、大東亞共榮圈ヲ確立シ、世界新秩序ノ確立ヲ目指シテ行ツテ居ル我ガ國ハ、今非常時中ノ非常時デアルカラ、此ノ戰時中ダケハ遠慮シテ貰ヒタイト私ハ言フノデアリマス、遠慮スルヤウナ人デナケレバ本當ノ働キハ出來ナイト思フ、尤モ人材ハ財産カラ離レテアルデアラウ、併シサウ云フコトヲサウ云フ立場ノ人ガヤラレト云フコトハ金ノ高ノ問題デアリ、國民ノ精神上ニ及ボス影響ガ大ナリト私ハ考ヘルノデアリマス、是カラ生ズル國民思想ノ關係モ亦大ニアルト思フノデアリマス、其ノ國民ノ精神上ニ及ボス影響ヲ考ヘテ私ハ申シテ居ルノデアリマス、物ノ問題ハ第二義デアツテ、第一ハ精神デアリ、ソレヲ中心ニ私ハ話ヲシタノデアリマス、其ノ點能ク御諒承願ヒタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○森委員長代理 馬岡次郎君

○馬岡委員 既ニ色々質問サレテ居リマス、大體御尋ねスルコトハ盡キテ居ルノデアリマス、併シドノ御答ヲ承ツテ見マシテモ、マダ私共地方デ眞ニ田ノ中ニ立ツテ居ル者ノ考ヘト當局ノ方ノ考ヘトハ幾分變ツテ居ナイカト思ハレマス、第一、三御尋ね致シタイト思ヒマス、第一ニ御斷リ致シテ置キマスガ、私共ハ現在デハ二重人格ヲ使ハナケレバナラナイ立場ニアアルデアリマス、地方ヘ戻リマス、農民ニ向ツテハ、國策ニ從ヘ、政府ハ決シテ惡ク取

計ラハナイ、斯様ニ常ニ喋ラナケレバナラナイ立場ニアリマス、然ルニ農民ノ言葉ヲ聽キマシテ、其ノ儘抑ヘテ置クコトガ是デアルカ非デアルカト云フ此ノ立場ニ立ツテ私共ハ政府ニ御尋ねシナケレバナラナイ事情ガ起ツテ來ルノデアリマス、先ヅ増産方面カラ御尋ね致シタイノデアリマス、現在政府ハ此ノ増産ニ付テ凡ユル角度カラ御心配下サツテ居ルコトハ能ク分ツテ居リマス、ガ、動トモ致シマス、此ノ獎勵ガ技術技術ノ立場ニ立ツテ一貫サレテハ居リマス、ガ、綜合的ニ缺ケテ居ル點ハナイノデアラウカ、此ノ點ヲ私共ガ往々ニシテ田舎ノ農民カラ聽カサレルノデアリマス、茲ニ最モ端的ノ一例ヲ申上ゲマス、米ヲ増産シナケレバナラナイコトハ分ツテ居リマス、ソコデ田ノ畦ニ豆ヲ植エルト反當リ五升乃至八升ノ米ガ減ズル、ダカラ豆ヲ止メルノダ、サウシテ米ヲ増産セヨト云フ指導ヲサレマス、然ルニ今度一年經チマス、米ハ或ル程度出來タガ、農民ノ家庭ニ豆ガナイ、豆ガナイ爲ニ味噌ガ造レナイ、ソコデ食糧ノ上カラ一方デ増産サレタガ一方デ減ツテシマツテ非常ニ困ル、斯ウ云フコトニナリマス、政府ノサレルコトガ何ヲシテ呉レルカ分ラナイ、ソコデ豆ヲ多ク貰ハウトシテ滿洲大豆ノ輸入ヲ御願ヒマシテモ、現在或ル時ニハ思フニ任セヌ事情ガアリマス、斯ウ云フコトニナリマス、折角指導サレマスルコトガ農民ニピント來ナイ、又昨年色々ト御心配ヲ掛ケマシテ私共ガ御願ヒシテ石當リ五圓ノ獎勵金ヲ頂戴シマシタ、然ル所是ガ米ヲ植付ケテカラニナリマシタ爲ニ農民ノ感謝ノ念ガドウモ薄イコトハナカラウカ、延イテ十八米穀年度ニ屬

スベキ今年ノ植付ニハ、是ハ當然權利デアヘルノダト云フヤウナ調子デ、農民ノ感謝ノ念ガ去リハシナイデアラウカ、斯様ニ考ヘラレマス、之ヲ考ヘマスルト結局是ハ一方ニ偏シナイデ綜合的ニ今少シ御考ヘテ願ツテ、一貫シテ獎勵ヲ御願ヒシナケレバ、眞ノ増産ハ出來ナイノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ政府ニ於テハ現在ノ儘デ宜イト云フ御方針デアルカ、御尋ね申上ゲタイ

○井野國務大臣 馬岡委員ハ地方ニ居ラレテ農村ノ爲ニ非常ニ御盡瘁願ツテ居ルノデアリマス、只今ニ重人格デ苦シムト言ハレマシタガ、其ノ御苦シミヲ持タレル必要ハナイ、政府ト一體ニナツテ參リマスレバ一寸モ二重人格ノ必要ハナイノデ、政府ノ趣旨ヲ能ク御理解願ハナイ點ガ其處ニアルカラ農民ニ對シテ十分ノ氣持ヲ御傳ヘ願ヘナイノデアリマス、ソコデ今御尋ねノ色々ノ點モアリマス、一々ノ御疑問ニ對シテ此處デ一々ソレヲ明カニスルコト云フコトモ困難カト思ヒマス、今一例ヲ取ツテ御話ニナリマシタカラ、其ノ點ニ付テ申上ゲマス、例ヘバ米ヲ作ル爲ニ畦ニ豆ヲ作ツテ貰ヒタクナイト云フコトヲ指導シタ、其ノ通りノ指導ヲ致シマシタセウ、然ルニ農民ハ豆ガ穫レナイ爲ニ味噌醬油ガ十分ニ得ラレナカツタ、斯ウ云フ御話デアリマス、農民モヤハリ一國民デアリマス、國全體ガ味噌醬油デ苦シム時ニハ農民モ苦シマシテ宜イデ

ヤナイカト思フノデアリマス、内地ニ於キマシテ是ダケノ人口ヲ養フ爲ニハ農村トシテ政府ガ割當テタ計畫ダケノモノハ作ツテ戴カナケレバナラヌ、味噌醬油ノ原料デアル大豆ハ滿洲デモ出來ルノデアリマス、十分ハ得ラレマセヌガ、兎モ角滿洲デ出來ルモノデアリマス、其ノ點ハ滿洲ノ方ニ或ル程度委任シテ、サウシテ米ハ内地外地ヨリ外十分ノ作ガ出來ナイノデアリマス、ソレニ全力ヲ注イデ貰ヒタイ、是ガ其ノ技術者ガ農村ニ要請シタ一ツノ點デアラウト思フノデアリマス、デアリマス、豆ガ穫レナクテモ農村ハ政府ガ配給シタ大豆ニ依リマシテ味噌醬油ヲ我慢シテ貰フト云フノデアリマス、皆ガ自分ノ所デ出來ル物ハ勝手ニ自分デ作ツテ、自分ダケガ自分ノ物ヲ得ルト云フコトデハ、却テ此ノ戰爭ヲシテ居ル國民全體ノ氣構ヘノ上ニ於テ缺クル所ガアルト思フノデアリマス、ソレガ一ツノ點デアリマス、又米ノ獎勵金ニ付キマシテモ段々ト感謝ノ念ガナクナルト云フ御話ガアリマス、私共別ニ感謝ト云フコトヲ期待シテヤツテ居ルノデアリマス、現在ノ實情ニ於テ米ガ現在ノ價格デハ農村ニモ氣ノ毒デアル、一方ニ於テ肥料モヤラズ資材モ十分ニ供給シナイデ米ヲ作ツテ呉レト云フコトヲ要望スル以上ハ、出來ルダケ經營モ引合フヤウニシタイト云フ氣持カラシテ居ルノデアリマス、隨ツテ其ノ金ニ依ツテ増産ヲ誘致シヨウト云フ譯デハナイノデアリマス、デアリマス、本年ノ作付ニ付キマシテモ、是アルガ故ニ農民ノ増産ヲ刺戟スルコト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、農民ハ金ノ問題ニ拘ラズ、今日國家要請ノコトヲ能ク理解シテ増産ニ

邁進シテ與レルト思フノデアリマス、其ノ  
氣持ガ御分リニナリマスレバ、二重人格ノ  
必要ハナイト思フノデアリマス

○馬岡委員 御説明ヲ伺ヒマスルト御尤モ  
デアリマス、併シ農民ハ感謝ノ生活デナケ  
レバ現在働カナイノデナカラウカ、又感謝  
ノ生活ヲサセナケレバ現在ノ農民ハ國家ノ  
爲ノ御奉公ハ出來ナイノデナカラウカ、私  
ハ左様ニ考ヘル、ナゼナラバ、他ノ物資物  
價カラ考ヘテ見マシテ、農民ハ現在國家ノ  
爲ニ御奉公シテ居ル、自分ハ日本國民デア  
ルカラ、農民トシテ此ノ日ヲ暮シ得ラレル  
ト云フ感謝ノ念カラ來ララウ、サモナ  
ケレバ今少シ歩廻リノ宜イ方面ニ行クノデ  
ナカラウカ、私ハ常ニ之ヲ心配スルノデア  
リマス、此ノ點ニ付キマシテ私ハ二重人格  
ダト申上ゲマシタ、是ハ第一私ハ物動其ノ  
他ノ關係カラ農民ノ心配シテ居ル點ヲ安心  
サセルコトガ出來ナイノデアリマス、大臣  
ノ御答辯ニモアリマス通り、第二回豫想ヲ  
發表サレテ居リマス、實收ハ大體分ツテ居  
ルダラウト思ハレマス、併シ是モ物動其ノ  
他ノ關係カラ數字ヲ明カニサレルコトモ出  
來ナイダラウト思フノデアリマス、左様ナ  
時ニ米ニ不安ガナイカト言ヘバ、政府ヲ信  
頼セヨ、君達ヲ食ハセナイデ置カナイカラ  
安心セヨト度々申シマス、併シ或ル時ガ來  
レバ今ニモ自覺サセナケレバナラヌ、此ノ  
時ニ於キマシテハモウ少シ全國民ニ知ラシ  
メテ、協力セヨト云フ根柢ヲ或ル程度マデ  
教ヘテヤツタ方宜イノデナカラウカト思  
ハレル點モアリマス、併シ教ヘタクテモ教  
ヘラレナイ場合モアル爲ニ、茲ニ私共ノ立  
場ト致シマシテハ二重人格ナラザルヲ得ヌ  
コトガ多イノデアリマス、又一面ニ考ヘマ

スルナラバ、米ノ増産ノ上カラ全部トハ申  
シマセヌガ、或ル一部ニハ勞働賃金ノ問題  
ガ祟ツテ居ル例ヲ私共ハ端的ニ認メマス、  
一例ヲ申上ゲマスナラバ、米ヲ作ツテ居ル  
農民ト、木炭及ビ其ノ他ノ山村ニ林業的ニ  
活動シテ居ル人間トノ勞働賃金デアリマス  
ガ、之ヲ比ベマスルト相當ノ差額ガアルノ  
デアリマス、一方ハ單位請負賃金其ノ他ニ  
依ツテ、協定率ヲ越シテモ、是ハ自己ガ  
働イテ取ルノダト言ヘバソレデシマヒデ  
アリマス、サウシテ喜ンデ居ル、米作農  
民ニ對シテハ、俺達ハ一日働クナラバ米  
一俵貰ヘルノダ、暑イ時ニ君達ハ田ノ中  
デ汗水垂ラシテ米ヲ作ツテ居ルガ、俺ハ一  
日働クト米一俵貰ヘルノダ、斯様ナコトヲ  
心安ダテニ言フノデアリマセウガ、米作農  
民ハ彼ノ人達ニ食ハス米ヲ俺ハ作ルノハ厭  
ヤダ、吾々ハ斯様ニシテ苦シンデ居ツテ  
モ、其ノ心理ハ認メテ貰ヘナイノカ、假リ  
ニ警察ニ引張出サレテモ、俺達ハアンナ人  
ニ米ヲ食ハスノナラ、止メテ置キタイト云  
フヤウナ言葉ヲ山村デ時々聞クノデアリマ  
ス、色々ト實情ヲ聞ケバ、涙ナキ能ハザル  
點モアリマス、併シ是等ノ點ノ根本ハ、今  
少シク勞働賃金ノ問題ヲ正確ニシテ貰フナ  
ラバ、片付ク問題ダラウト思ハレマス、又  
小作問題ニ付キマシテモ、本年ハ全國各地  
デ適正小作料ガ祟ツテ、私ハドウモ米ノ出  
廻リモ一部分惡イヤウニ考ヘラレマス、此  
ノ問題モ或ル所デハ極端カラ極端ニ走ツ  
テ、サウシテ地主ハ惡イ者ナリ、高イ者ナ  
リ、小作料ヲ下ゲレバソレデ米ノ増産ガ出  
來ルト云フヤウナ御指導ヲサツテ居リマ  
ス、併シ私共ガ實際目ニ見マシタ體験シタ  
結果ニ依リマス、強チ小作料ヲ下ゲテ

モ、米ノ増産ガ出來ナイ地方モ多イノデア  
リマス、之ヲ自作ニスレバ必ズ増産ガ出來  
マスガ、小作料ヲ下ゲレバ、作ツテ收支相  
償ハナケレバ負ケテ貰ヘルト云フ別個ノ精  
神ガ起ルノデアリマス、其ノ實情カラ自ラ  
土地ノ値段ガ下リ、土地ヲ愛スル氣持ガナ  
クナツテ來ル地方モ私共ハ見受ケマス、是  
ハ豫算委員會デ、絶對的ニサウ云フコトハ  
自作農創定資金デ一時片付ケラレル問題デ  
ハナイト大臣ハ仰セラレマシタガ、私ガ考  
ヘマスノニ、斯カル問題ハ此ノ際ニ一遍ニ  
片付ケラレル問題デハナカラウカ、或ル程  
度以下ヲ全部自作農ニシテ戴ク爲ニハ、地  
主ト云フモノハ喜ンデ政府ノ命令ニ應ズル  
ダラウト思ハレマス、而モ之ヲ國策ヲ以テ  
オヤリ下サルナラバ、別ニ貨幣制度ノ上カ  
ラモ、通貨ノ上カラモ左程ノ問題ガ起ルモ  
ノデハナカラウト思フ、而モ是位償還財源  
ノ確實ナ公債ハナイヤウニ考ヘラレマス、  
此ノ際ニ是等ノ問題ヲ一舉ニシテ御片付願フ  
コトハ、米ノ増産ニ最モ良イコトデハナカ  
ラウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、又勞  
働賃金ノ問題ナリ、是等ノ點ニ御考ヘガア  
レバ承リタイ

農村カラ見レバ非常ニ羨マシイ場合モアラ  
ウト思ヒマス、併シ私ハ現在ノ農民ハ一時  
的ノ勞賃ノ問題ニ迷フコトナク、自ラ土地  
ヲ愛シ、土地ニ親シム氣持カラズツト耕作  
ヲヤツテ居ルノデアリマスカラ、サウ云ツ  
タ部分ガ假リニアリマシテモ、ソレハ全農  
村ノ一小部分デ、極メテ僅カノモノデア  
ル、農村全體トシテハサウ云ツタ憂ヒナク、ヤ  
ハリ増産ニ邁進シテ與レルモノト信ジテ居  
ルノデアリマス、又自作農創定ノ問題ニ付  
キマシテモ、今御話ノヤウニ交付公債カ何  
カデ一時的ニ片付ケルト云フコトモ一ツノ  
手段デアリマス、併シ今日地主全體ニ對シ  
テ、或ル一定ノ價格デ以テ土地ヲ手放セト  
云フコトガ、果シテ社會情勢ニ適當デア  
ルカト云フコトモ考慮シナケレバナリマセ  
ス、現在ハ兎モ角大東亞戰爭ヲ遂行スルト  
云フコトガ一番大事ナコトデアリマシテ、  
其ノ爲ニ色々ナ社會情勢ノ上ニ於テ、大キ  
ク變化ヲサウ云ツタ問題ノ爲ニ生ズルト云  
フコトニ付テモ、十分考慮ヲシナケレバナ  
ラスト思フノデアリマス、隨テ自作農創定  
ノ方向ニ對シマシテハ私モ同ジ所感ヲ持ツ  
ノデアリマスケレドモ、手段ニ於テハ十分  
ニ研究シテ參リタイト考ヘテ居ルノデア  
リマス

○馬岡委員 見解ノ相違デアリマスカラ、  
是以上御尋ネ致シマセヌ

次ニ今度食糧管理法ニ依ツテ、米ノ國營  
検査ガ行ハレマス、此ノ検査手數料ノ問題  
ニ付キマシテ、是ハ前年來カラノ問題ニナ  
ツテ居リマスルガ、此ノ際此ノ検査手數料  
ハ御徴リニナルノデアリマスカ、全免サレ  
ルノデアリマスカ、之ヲ御尋ネ致シタイ

○井野國務大臣 先般食糧管理局長官カラ

○井野國務大臣 農村ニ於キマスル勞働賃  
金ノ問題ニ付キマシテハ、色々他ノ産業ノ  
勞賃ト比較シマシテ差違ノアリマスコトハ、  
御説ノ通りデアリマス、隨テ厚生省ガ中心  
トナリマシテ、各地方ニ於ケル勞賃ノ適正  
ト云フコトノ爲ニ色々ノ苦慮ヲ致シテ居  
マス、基準勞賃ヲ定メマシテ、サウシテ其  
ノ間ノ適正ヲ圖ルヤウニ致シテ居リマス、  
併シ事實勞働力ノ不足ノ現狀ニ於キマシテ  
ハ、實際ノ場合ニ於テ違ツタ勞賃デ働キ得  
ル場合モアリマスノデ、サウ云ツタヤウナ

○井野國務大臣 農村ニ於キマスル勞働賃  
金ノ問題ニ付キマシテハ、色々他ノ産業ノ  
勞賃ト比較シマシテ差違ノアリマスコトハ、  
御説ノ通りデアリマス、隨テ厚生省ガ中心  
トナリマシテ、各地方ニ於ケル勞賃ノ適正  
ト云フコトノ爲ニ色々ノ苦慮ヲ致シテ居  
マス、基準勞賃ヲ定メマシテ、サウシテ其  
ノ間ノ適正ヲ圖ルヤウニ致シテ居リマス、  
併シ事實勞働力ノ不足ノ現狀ニ於キマシテ  
ハ、實際ノ場合ニ於テ違ツタ勞賃デ働キ得  
ル場合モアリマスノデ、サウ云ツタヤウナ

○井野國務大臣 農村ニ於キマスル勞働賃  
金ノ問題ニ付キマシテハ、色々他ノ産業ノ  
勞賃ト比較シマシテ差違ノアリマスコトハ、  
御説ノ通りデアリマス、隨テ厚生省ガ中心  
トナリマシテ、各地方ニ於ケル勞賃ノ適正  
ト云フコトノ爲ニ色々ノ苦慮ヲ致シテ居  
マス、基準勞賃ヲ定メマシテ、サウシテ其  
ノ間ノ適正ヲ圖ルヤウニ致シテ居リマス、  
併シ事實勞働力ノ不足ノ現狀ニ於キマシテ  
ハ、實際ノ場合ニ於テ違ツタ勞賃デ働キ得  
ル場合モアリマスノデ、サウ云ツタヤウナ

○井野國務大臣 農村ニ於キマスル勞働賃  
金ノ問題ニ付キマシテハ、色々他ノ産業ノ  
勞賃ト比較シマシテ差違ノアリマスコトハ、  
御説ノ通りデアリマス、隨テ厚生省ガ中心  
トナリマシテ、各地方ニ於ケル勞賃ノ適正  
ト云フコトノ爲ニ色々ノ苦慮ヲ致シテ居  
マス、基準勞賃ヲ定メマシテ、サウシテ其  
ノ間ノ適正ヲ圖ルヤウニ致シテ居リマス、  
併シ事實勞働力ノ不足ノ現狀ニ於キマシテ  
ハ、實際ノ場合ニ於テ違ツタ勞賃デ働キ得  
ル場合モアリマスノデ、サウ云ツタヤウナ

○井野國務大臣 農村ニ於キマスル勞働賃  
金ノ問題ニ付キマシテハ、色々他ノ産業ノ  
勞賃ト比較シマシテ差違ノアリマスコトハ、  
御説ノ通りデアリマス、隨テ厚生省ガ中心  
トナリマシテ、各地方ニ於ケル勞賃ノ適正  
ト云フコトノ爲ニ色々ノ苦慮ヲ致シテ居  
マス、基準勞賃ヲ定メマシテ、サウシテ其  
ノ間ノ適正ヲ圖ルヤウニ致シテ居リマス、  
併シ事實勞働力ノ不足ノ現狀ニ於キマシテ  
ハ、實際ノ場合ニ於テ違ツタ勞賃デ働キ得  
ル場合モアリマスノデ、サウ云ツタヤウナ

○井野國務大臣 農村ニ於キマスル勞働賃  
金ノ問題ニ付キマシテハ、色々他ノ産業ノ  
勞賃ト比較シマシテ差違ノアリマスコトハ、  
御説ノ通りデアリマス、隨テ厚生省ガ中心  
トナリマシテ、各地方ニ於ケル勞賃ノ適正  
ト云フコトノ爲ニ色々ノ苦慮ヲ致シテ居  
マス、基準勞賃ヲ定メマシテ、サウシテ其  
ノ間ノ適正ヲ圖ルヤウニ致シテ居リマス、  
併シ事實勞働力ノ不足ノ現狀ニ於キマシテ  
ハ、實際ノ場合ニ於テ違ツタ勞賃デ働キ得  
ル場合モアリマスノデ、サウ云ツタヤウナ

○井野國務大臣 農村ニ於キマスル勞働賃  
金ノ問題ニ付キマシテハ、色々他ノ産業ノ  
勞賃ト比較シマシテ差違ノアリマスコトハ、  
御説ノ通りデアリマス、隨テ厚生省ガ中心  
トナリマシテ、各地方ニ於ケル勞賃ノ適正  
ト云フコトノ爲ニ色々ノ苦慮ヲ致シテ居  
マス、基準勞賃ヲ定メマシテ、サウシテ其  
ノ間ノ適正ヲ圖ルヤウニ致シテ居リマス、  
併シ事實勞働力ノ不足ノ現狀ニ於キマシテ  
ハ、實際ノ場合ニ於テ違ツタ勞賃デ働キ得  
ル場合モアリマスノデ、サウ云ツタヤウナ

○井野國務大臣 農村ニ於キマスル勞働賃  
金ノ問題ニ付キマシテハ、色々他ノ産業ノ  
勞賃ト比較シマシテ差違ノアリマスコトハ、  
御説ノ通りデアリマス、隨テ厚生省ガ中心  
トナリマシテ、各地方ニ於ケル勞賃ノ適正  
ト云フコトノ爲ニ色々ノ苦慮ヲ致シテ居  
マス、基準勞賃ヲ定メマシテ、サウシテ其  
ノ間ノ適正ヲ圖ルヤウニ致シテ居リマス、  
併シ事實勞働力ノ不足ノ現狀ニ於キマシテ  
ハ、實際ノ場合ニ於テ違ツタ勞賃デ働キ得  
ル場合モアリマスノデ、サウ云ツタヤウナ

○井野國務大臣 農村ニ於キマスル勞働賃  
金ノ問題ニ付キマシテハ、色々他ノ産業ノ  
勞賃ト比較シマシテ差違ノアリマスコトハ、  
御説ノ通りデアリマス、隨テ厚生省ガ中心  
トナリマシテ、各地方ニ於ケル勞賃ノ適正  
ト云フコトノ爲ニ色々ノ苦慮ヲ致シテ居  
マス、基準勞賃ヲ定メマシテ、サウシテ其  
ノ間ノ適正ヲ圖ルヤウニ致シテ居リマス、  
併シ事實勞働力ノ不足ノ現狀ニ於キマシテ  
ハ、實際ノ場合ニ於テ違ツタ勞賃デ働キ得  
ル場合モアリマスノデ、サウ云ツタヤウナ

○井野國務大臣 農村ニ於キマスル勞働賃  
金ノ問題ニ付キマシテハ、色々他ノ産業ノ  
勞賃ト比較シマシテ差違ノアリマスコトハ、  
御説ノ通りデアリマス、隨テ厚生省ガ中心  
トナリマシテ、各地方ニ於ケル勞賃ノ適正  
ト云フコトノ爲ニ色々ノ苦慮ヲ致シテ居  
マス、基準勞賃ヲ定メマシテ、サウシテ其  
ノ間ノ適正ヲ圖ルヤウニ致シテ居リマス、  
併シ事實勞働力ノ不足ノ現狀ニ於キマシテ  
ハ、實際ノ場合ニ於テ違ツタ勞賃デ働キ得  
ル場合モアリマスノデ、サウ云ツタヤウナ

○井野國務大臣 農村ニ於キマスル勞働賃  
金ノ問題ニ付キマシテハ、色々他ノ産業ノ  
勞賃ト比較シマシテ差違ノアリマスコトハ、  
御説ノ通りデアリマス、隨テ厚生省ガ中心  
トナリマシテ、各地方ニ於ケル勞賃ノ適正  
ト云フコトノ爲ニ色々ノ苦慮ヲ致シテ居  
マス、基準勞賃ヲ定メマシテ、サウシテ其  
ノ間ノ適正ヲ圖ルヤウニ致シテ居リマス、  
併シ事實勞働力ノ不足ノ現狀ニ於キマシテ  
ハ、實際ノ場合ニ於テ違ツタ勞賃デ働キ得  
ル場合モアリマスノデ、サウ云ツタヤウナ

其ノ問題ハ御答致シマシタヤウニ、全廢致シマセヌ、手數料トシテ、各地方ニ均衡ヲ得テ手數料ハ徵ル積リデアリマス

○馬岡委員 今一ツ御尋ね致シタイノハ、食糧國家管理ノ上カラ、農村ノ地方々々ニ、今マデ備荒貯蓄トシテ積立テタリ、若シクハ共同米ガ相當アルグラウト思ヒマス、或ル地方ニハ部落ノ共同米ガアリ、或ル地方ニハ地主、小作ノ共同米ガ、相當作付飯米トカ、サウ云フ形ニ於テ積マレタ米ガアルコトデアリマス、是ガ今度ノ管理法ニ依ツテ、今マデノ形デ行カナイトスレバ、是等ニ對シテ之ヲ全部處分サセルコトハ、或ル意味ニ於テ私共ハ宜イコトデモナイヤウニ思ハレマス、併シ此ノ際ノ國家ノ事情カラ見テ已ムヲ得ナイトスレバ、ソレマデデアリマスガ、是等ニ對シテハ何カノ存置方法、若シクハ獎勵方法ヲ御考ヘニナツテ居ラレマスカ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○井野國務大臣 各地方ニアリマスル共同貯藏米、殊ニ東北方面ニ於キマスル郷倉ノ制度等ニ付キマシテハ、從來カラモ政府トシテハ獎勵ヲ致シテ參ツテ居ルモノデアリマス、唯米ガ國家管理ニナリマシタ關係上、數量ノ上カラ、之ヲ共同米トシテ保管シテ置ク譯ニハ行カヌト云フ事態ニナツテ參リマシタノデ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ其ノ米ニ代ル代金ノ問題、色々ノ問題ガアリマス、結局郷倉其ノモノノ制度自體ハ或ル程度保存致シタイト考ヘテ居リマス、隨テ其ノ倉ニ對シテ各部落ナリ或ハ町村ノ共同米トシテテナシニ、政府米トシテ或ルモノヲ保管シテ置クト云フコトモ考ヘテ參リタイト存ジテ居リマス、隨テ今郷倉制度ヲ如何ニスベキカト云フコトニ付キマシテハ、

此ノ法案ノ成立ト相俟ツテ、十分ニ研究シテ參リタイト考ヘテ居リマス

○馬岡委員 ソレカラ食糧割當ノ問題、之ニ付キマシテハ大分色々ト御心配ヲ掛ケテ、相當緩和サレマシタ、又其ノ狀態ニ於テ増配ヲ願ツタリ致シテ居リマス、併シドウモ一番困リマス問題ハ、動モ致シマスルト農民ニハ割當米ガ少イ、事實是以上吳レナクレバオ米ガ作レナイトカ云フコトハ好ムベキコトデナシ、如何ニ之ヲ救ヘマシテモ、又是ガアル爲ニ供出米ガ幾分變ツテ來ルト申シマスカ、幾分サウ云フ方面ニ缺點ガアルヤウニ思ハレルノデアリマス、就キマシテハ私共考ヘマスノニ、今少シ農民ニ米ヲ満足行クヤウニ食ハシテ、一方ニ於テ他ノ方法デ節米ヲサシメテ、餘ツタモノヲ出サセルヤウニ御考ヘニナツタ方ガ、事實ノ結果トシテハ宜クハナカラウカ、此ノ儘ノ情勢デ行キマス、自然ニ農民ハ收穫ヲ隱シテ、嘘ヲ言ツテ來ル、其ノ地方ハ非常ニ苦ンデ、闇取引ガ農民間ニ行ハレハシナイダラウカト云フ心配ヲスルノデアリマス、是等ノ點ニ付テ何トカ今少シ御考ヘノ點ガナイノデアアルカ、此ノ點ニ付テ御尋ね致シタイ

○井野國務大臣 農家ノ自家用保有米ノ量ノ問題ニ付キマシテハ、昨年カラ初メテ實施シタ制度デアリマシテ、私共モ之ヲ決メマスニハ隨分苦慮致シタノデアリマス、併シ現在ノ米ノ事情カラ考ヘマシテ、農村ニ保有シ消費スル米ノ量ト、都會ニ於テ消費スル量トノ色々ナ數量上ノ關係モ考慮致シテ、先ヅ現在ニ於テハ此ノ程度ヲ以テ農村ハ満足ヲシテ貰ハナケレバ困ル、米ノ足りナイ者ハ他ノ芋ナリ其ノ他ノ物ニ依ツテ補

ツテ行クト云フコトデ、現在ノ數量ヲ定メタノデアリマス、隨テ一年ノ實績ニ依リマシテ多少不合理ノアリマス點ハ今回モ改正ヲ致シ、徐々ニ兎モ角モ適正ナル量ニ定メテ參リタイト考ヘテ居リマスケレドモ、昨年ノ米作事情カラ致シマスレバ、此ノ程度デヤハリ本年モ農村トシテハ保有米ノ量ヲ考ヘテ戴キタイ、併シ米作事情ガ色々變ツテ參リマスレバ、又ソレニ即應シテ保有米ヲ考慮シテ行クコトハ是ハ當然デアリマス、ソレデアリマスカラ、現在ニ於テハ此ノ保有米ヲ以テ満足シ、更ニ尙ホ農村ニ對シテハ、此ノ保有米ノ中デモ他ノ代用食等ニ依ツテ之ヲ補ヒ、其ノ分量ノ中カラモ更ニ供出シテ貰ヒタイト云フコトヲ御願ヒシテ居ル次第デアリマス

○馬岡委員 御尤モデアリマスガ、併シ是ハ一律ニ割當テマス結果、大臣モ定メシ御承知ダラウト思ヒマスガ、以前米ヲ食ハナカツタ者ガ米ヲ食ヒ出シテ來マシタ、之ヲ自治的ニ直サウト致シマシテモ、割當テラレタカラト云フヤウナ譯デ中々直サナイノデアリマス、之ヲ永久ニ救ヘマスナラバ、其ノ地方ハ、今ハ兎モ角、是ガ平常ニ復シタ場合ニ於テハ、相當困ラナケレバナラナイヤウナ地方事情モ起ルノデアリマセウ、成ベクナラバ以前麥六割、米四割デアツタナラバ、其ノ形體ヲ續ケサセタイト思ヒマシテモ、割當テラレタノダカラト云フノデドウモ難カシイノデアリマス、ソコデ何か方法ヲ考ヘテ、今少シ農村ノ保有米ハ多クシテヤルガ、一方ニ於テ獎勵的ニ節米ヲセヨト云フノ抑ヘタナラバ巧ク行クノデナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレル爲ニ御尋ね申上ゲルノデアリマスガ、是ハ私共モ良イ方

法ガ分ラナイノデアリマス、又是ハ何トカ精神的ノ考ヘトシテ他ニ御考ヘヲ願ハナイト、終ヒニハ色々ノ關係上牛ガ米ヲ食ツタリ、馬ガ米ヲ食ツタリスルヤウナコトハ已ムヲ得ナイト云フヤウナ事實ガ形ノ上ニ現ハレテ參リマシテ、非常ニ窮屈ナ米ガ尙ホ窮屈ニナルト云フヤウナ事情ニナルノデアリマス、僅カノ一地方デアアルトシテ考ヘレバ一地方デアリマスガ、是ガ國家全體ノ十分ノ一デアレバ割違ツテ參リマスカラ、此ノ點ニ付テハ尙ホ他ノ方法ヲ御考ヘ願ヒタイト思フノデアリマス、大臣ニ對シテノ御尋ねハ是デ終リマス

ソレカラ検査員ニ付テハ前年カラ問題ニナツテ居リマスガ、私モ検査員ノ資格及ビ検査員ノ一人ノ負擔率、是等ニ付テ御尋ね申上ゲタイノデアリマス、即チ前ノ縣營検査ノ時ニハ傭員デアツタト云フヤウナ御話デアリマシタガ、今回ハドウ云フ風ナ資格ニ於テ検査員ヲ置カレルノカ、又地方ニ依ツテハ他ノ專業ヲ擔當サセテリ何カシタ關係上、地方々々ニ人ガ居リマシタガ、今度國營ニナリマスナラバ、一人ノ擔當量ヲ御決メニナツテ、サウシテ數箇町村ヲ受持サセルノデアアルカ、是等ノ點ニ付テ御尋ね申上ゲタイト思ヒマス

○湯河政府委員 検査員ノ任用ノ點デアリマスガ、是ハ技術員トシテ任用スル考ヘデゴザイマス、唯其ノ任用ノ資格等ニ付キマシテハ、實行ノ上ニ色々技術ナリ經驗ナリヲ要件トシテ任用シテ參リタイト考ヘテ居リマスガ、資格ハ傭員ト云フコトデナク、雇員ト云フ形ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ其ノ一検査員ノ負擔スベキ検査ノ分量ノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、

實ハ検査員ノ全體ノ數ヲ現狀カラ見マスト  
少シ減ラシテ居ルノデアリマス、是ハハッ  
キリ申上テ置キマス、併シ其ノ趣旨ハ從  
來ノ検査ト申シマス、色々ノ検査ヲ引受  
ケテ一年中ヤツテ居ル検査員モゴザイマス  
シ、又忙シイ時ダケ手傳ヒニ來ル検査員、  
其ノ時ニダケ任用サレル検査員モアルノデ  
アリマス、之ヲ引括メマシタ人数ニ比ベマ  
スト今度ハ減リマシタガ、吾々ノ見ル所ニ  
依リマス、大體只今豫定シテ居リマス人  
數デ、米麥ノ検査ハ少クトモ完全ニヤレル  
ト云フ見込ヲ立テテ、人数ヲ決メテ居ルノデ  
アリマス、無論地方ノ事情ニ依リマシテ、  
米麥以外ノ検査ガ忙シカツタ時ニハ、國費  
ヲ以テ設置致シマシタ検査員ガ手傳ヒヲス  
ルト云フコトハ、宜イト思ツテ居リマスシ、  
尙ホ數日前カラ御話ノゴザイマシタ他ノ仕  
事ヲ、或ハ指導員デアルトカ、農會ノ技術  
員デアルトカ云フモノガ從來検査員ヲ相互  
ニ兼テ居タ、今後サウ云フコトハドウナ  
ルカト云フ御話デアリマスガ、國費設置  
サレマシタ員デアリマスカラ、之ヲ兼務  
サセルト云フコトハ、形式上多少如何カト  
存ジマスガ、實質的ニハ囑託等ノ形式ニ依  
ツテ、サウ云フ仕事ニモ從來ト變リノナイ  
ヤウニスル必要ガアルト思ツテ居リマス

○馬岡委員 大體分ツタノデアリマス、併  
シ米麥以外ハ皆テ措キマシテモ、米麥ハ季  
節的ノモノデアリマスケレドモ、現在ノモ  
ノカラ人ヲ減スナラバ、御承知ノ通り地方  
地方ニ於キマシテハ、季節的ノ検査員マデ  
作ツテ補助ヲシテ居ツタカノヤウニ思ハレ  
ルノデアリマス、併シソレハ主ニ一時的ノ  
モノデアツテ、又一時的ノ供出其ノ他ノ關  
係カラ是ハ事實必要デアツテ、季節的ノモ  
ノトシテ設置シタノデアルト思ヒマス、ソ  
レヲ今度減スコトニ於テ、非常ニ農民ガ迷  
惑ヲ感ズルヤウニナリハシナイデアラウ  
カ、検査ヲ受ケタクテモ日ガ掛カルトカ、  
色々ノ御承知ノ通りサウ澤山一緒ニ貯  
藏シテ置イテ、サウシテソコデ検査ヲ受ケ  
ルト云フコトモ中々困難デアリマス、サウ  
云フ爲ニ其ノ都度検査ヲ受ケル倉庫ニ依ッ  
テ検査ヲ受ケルト云フコトニ致シマシテモ、  
中々季節的ニ人ガ要ルノデアリマス、又モ  
ウ一ツ此ノ人間ハ大體技術的ニ考ヘマシテ、  
各地方ノ縣營検査員ガ御引繼ギニナルデア  
ラウト思ハレマスガ、員員ノ所デアリマス  
ナラバ、引繼ギノ方モ員員デ宜イノデアリ  
マス、然ルニ縣吏員其ノ他ノ恩給制度ニ據  
ツテ居ルモノガ、之ヲ國家ニ雇員トシテ引  
繼ガレマス、其ノ人間ノ爲ニ非常不幸不  
幸ガ起ツテ來ルコトガアリマス、又或ル意  
味ニ於テ全部處理スルトスレバ、地方ニ於  
テハ恩給年限ニ近イヤウナ者ガ國家ニ引繼  
ガレタ爲ニ、縣吏員ノ資格ガ消滅スルナラ  
バ、一時恩給トカ相當ノ金額モ要ルノデア  
リマス、是ハ地方經濟ノ上カラ相當ノ問題  
デアラウト思ヒマス、是等ニ對シテハ何か  
ノ御考ヘヲ御持チニオツテ居ラレマスカ、  
承リタイト思ヒマス

○湯河政府委員 先程申上ゲマシタコトガ  
不足シテ居ツタヤウデアリマス、ソレハ檢  
査員ノ問題申上ゲタモノデアリマスカラ  
人数ガ減ツタノデアリマスガ、私ハ今此處  
ニ豫算ノ方デ正確ナ數字ヲ持ツテ居リマセ  
スガ、大シテ減ツタノデハナイ、無論忙シ  
イ時ノ爲ニハ囑託検査員ト云フヤウナ制度  
ヲ以テソコハ補ツテ參ル考ヘヲ持ツテ居ル  
ノデアリマス、色々研究致シマシテ——大  
體豫算ハ總額一千二百數十萬圓トナツテ居  
リマス、是デ設置致シマス検査員デ米麥ノ  
検査ヲヤツテ參リマシテ、最盛期ニ於テモ  
支障ノナイト云フ見込ヲ立テテ居リマス、  
尙ホ囑託検査員制度等ヲ用ヒテ參リマス、  
ソレカラ現在ノ検査員ノ地位ニ在ル人ガ恩  
給ヲ持ツテ居ル、其ノ他縣吏員ノソレト  
ノ資格ヲ持ツテ居ル、之ヲ只今申上ゲマシ  
タ員タル検査員ニ引直スコトニ付テノ支  
障ノアル場合ニハドウスルカト云フ御尋ネ  
デアリマスガ、是ハ検査員ノ相當多數ノ人  
ニ重大ナ關係ノアル問題ダト思ツテ居リマ  
ス、私達ノ考ヘデハ色々細カク研究スル必  
要ガアラウト存ジマスルガ、差掛リマシテ  
ノ問題トナリマスル恩給ノ問題ニ付キマシ  
テハ、モウ近ク恩給年限ニ達スルヤウナ檢  
査員ノ人ハ、ヤハリ縣吏員ニ殘ツテ居ツテ  
貰ツタ方ガ宜イノデハナイカ、ドウセ検査  
ハ米麥以外ニ縣ノ検査ガゴザイマスカラ、  
其ノ人ガ縣ノ検査員トシテ殘ツテ、サウシ  
テ其ノ人ガヤハリ國ノ検査ノ仕事ヲ手傳ヒ  
ニ來タラドウカ、斯ウモ思フノデアリマス、  
國ノ検査員ニ引直シマス際ニ一時恩給ヲ出  
ストカナントカ云フヤウナコトガ考ヘ得レ  
バ結構デゴザイマスガ、サウデナイ時ニハ  
今申シマシタ手續ニデモ依リマシテ、ソレ  
等ノ人々ノ立場ト云フモノヲ十分ニ考ヘテ  
上ゲタイ、斯ウモ考ヘテ居リマス

○馬岡委員 前年國營検査ノ際ニハ斯カル  
場合ニハ其ノ人間ヲ縣吏員トシテ殘シテ置  
イテ、國ガ一人分ノ費用ヲ縣ニ助成シテ、  
サウシテ恩給ヲ取り得ルヤウニシ、國カラ  
縣吏員ニ囑託シテ之ヲ爲サシメルト云フヤ  
ウナ御答辯モアツタノデアリマスガ、斯様ニ  
今度モ御願ヒ出來得ルノデアリマセウカ

○湯河政府委員 此ノ前ノ國營検査ト今度  
ノ検査トガ少シ事情ガ違ツテ居リマスノ  
デ、實ハ此ノ前ノ法律ニ依リマスルト検査  
ハ全部國ノ検査ニナルノデアリマス、地方ノ  
検査ハ國ニ委託ヲシテ検査ヲスルト云フ建  
前ヲ執ツテ居ツタノデゴザイマスカラ、サ  
ウ云フヤリ繰リガ必要ニナツテ來ルカト思  
フノデアリマス、今度ノ検査ノ建前ハサウ  
デハゴザイマセズニ、米麥ノ検査ハ、是ハ  
サウ云フ検査ニ必要ナ設備ハ國費ヲ以テヤ  
ル、併シ其ノ他ノ検査ハ從來通り地方費ノ  
負擔ニ於テ之ヲヤラセルト云フ建前ヲ執ツ  
テ居リマスルノデ、前ノヤウニ検査ガ全部  
國ノモノニナツテシマフナラバ、只今御話  
ノゴザイマシタヤウナ處置ガ必要ダト云フ  
コトヲ此ノ前ノ機會ニ御答辯シタノダラウ  
ト存ジマスガ、今度ノ場合ハサウデハゴザ  
イマセズノデ、米麥以外ノ検査ハ地方費デ  
ヤルノデゴザイマスカラ、其ノ人ハ國費ニ  
アラズトモ、地方費トシテ支辨シテ貰ツテ  
置イテ恩給ノ期間ガ過ギテカラデモ、或ハ  
國ニ替ルナラ替ツテモ宜イノデハナイカト  
思ツテ居リマス、違ツテ居リマスカ

○馬岡委員 能ク分リマシタ、御尤モナ御  
答辯ダト思ハレマス、併シ是ハ私一人ノ杞  
憂カモ知レマセズ、人的資源ガ缺ケテ居ル  
際ニ、米麥ダケハ國デスルノダ、雜穀其ノ  
他ノモノハ縣デスルノダ、斯ウ云フヤウニ  
ナリマス、二手ニ分レテ、此ノ人手ノ足  
リナイ時ニヨリ以上ノ人ヲ使ハナケレバナ  
ライ、而モソレガ半端ノ仕事ガ殘サレテ  
非常ニ是等ノ人々ハ迷惑サレルコトダラウ  
ト思ハレマス、ソレハ實際ニ付テ御考ヘ願  
フト相當地方ノ人事ノヤリ繰リ其ノ他ニ付  
テモ迷惑スルダラウト思ハレマス、是等ノ



點ニ付キマシテハドウカ能ク御考ヘ下サイ  
マシテ、出來得ルダケ囑託其ノ他ノ方法ニ  
依ツテ人的ノ資源ノ差練リヲ御願ヒスルコ  
トヲ希望致シテ置キマス

其ノ次ニ是ハ極ク小サナ問題デアリマス  
ルガ、一ツ此ノ際ニ私今遭遇シタ例ヲ申上  
ゲマシテ、ナントカ御考ヘ願フ方ガ宜ク  
ハナイカ、所謂徹底サシテ戴ク方ガ宜クハ  
ナイカト思ハレマスモ、ガ茲ニアルノデア  
リマス、ソレハ外デモアリマセヌ、私東京  
ヘ參リマシテ宿ニ泊ツテ居リマス、然ル所  
業務用米ノ割當ガ非常ニ減額サレタト云フ  
譯デ、宿ハ飯ヲ食ハサナイト云フコトガ起  
ツテ參ツタノデアリマス、ソレハ已ムヲ得  
ナイ實狀ダト思ヒマス、併シ私共斯ウ言フ  
トヲカシイデスガ、私共ナラバナントカヤ  
リ繰リ付ケテ外デ食ベテ行キマセウ、併シ  
僅カノ旅費ヲ頂戴シテ色々ナ問題デ出掛ケ  
テ來タ方ナンカハ、斯ウ云フ制度ニ置カレ  
マスルト非常ニ迷惑ラシハシナイカ、斯様  
ニ思ハレルノデアリマス、又私ノ泊ツテ居  
リマスル宿ニハ、オ隣リニ或ル官署デアリ  
マジテ、其ノ方面ノ判任官ノ方ガ御出張ニ  
ナリマシテ、相當滞在サレテ居ラレル方ヲ  
見受ケマス、是等ニ對シテモ業務用ノ割當  
ハ相當減額シナケレバナリマセヌガ、旅館  
ト料理屋ノ區別ヲ付ケテ何トカシテヤツテ  
戴カナイト、充ガヒ扶持ノ旅費ヲ貰ツテ來  
ル官吏ノ方ナドハ非常ニ迷惑デヤナイカ  
ト思ハレルノデアリマス、是等ニ付テモ何  
トカ御考ヘヲ煩ハシテ、區別ヲ付ケテ徹底  
サセテ戴イタ方ガ宜クハナイカト考ヘマス、  
是ハ御希望ヲ申上ゲテ置キマス  
次ニ今食糧ノ増産ノ爲ニ有畜農業ガヤカ  
マシク問題ニサレテ居ル場合ニ、牛馬商ノ

統合問題ガ主務省ノ方針ダト云フノデ地方  
デ非常ニヤカマシイ問題ニナツテ居ル、又  
試験制度ガヤカマシイ問題ニナツテ居ル、  
地方々々デ色々其ノ實情ヲ異ニ致シテ居リ  
マスルガ、例ヘバ千葉縣デハ五分ノ一ダ、  
其ノ他ノ縣デハ五分ノ一デモナイト云フ風  
ニ統合率ガ幾分カ地方ニ依ツテ變ツテ居ル  
カノヤウニモ思ハレマス、又試験制度ノ問  
題ニ對シマシテモ、是ハ御尤モナ御意見ダ  
ト思ハレマスガ、今此ノ過渡期ニ於テ牛馬  
商ノ試験ヲシテ、牛ノ衛生ヲドウダト云フ  
テ見タ所デ、是ハ出來得ル問題デアラウカ、  
之ニ合格スル人デアラナラバ、若イ新進氣  
鋭ノ人デアリマセウ、併シ此ノ問題ハ動モ  
スルト若イ方デハ出來ナイ問題デアツテ、  
實際ハ相當熟練シタ年寄ノ馬喰ヲ存續シタ  
方ガ圓滑ニ行クノデナカラウカ、實際上左  
様ニ私共ハ考ヘルノデアリマス、是ハ一例  
デアリマスガ、現在私ノ縣ニ是デ困ツテ居  
ル問題ガアルノデアリマス、ソレハ相當牛  
ヲ入レタイ、然ル所色々ノ統制デ人ガ限定  
サレテ居ル、畜産組合ハ是等ノ人ヲ囑託シ  
テ或ル地方ハ牛ヲ買ヒニヤツタ、所ガ最高  
價格デナケレバ手ニ入ラナイカラ、最高價  
格デ買ツテ來タ、之ニ運賃ヲ加ヘタ、ソレ  
ガ統制經濟違反ダト云フノデ、是等ノ人ガ  
皆今引張ラレテ居ル、引張ラレタ爲ニ牛ノ  
肉ノ賣買ガ出來ナクナツタト云フヤウナコ  
トモ起ツテ今困ツテ居ルノデアリマス、サ  
ウ云フ關係カラ見マシテ、兎角牛ノ統制ガ  
利キ過ギマシク結果、是ハ前ノ特別議會ニ  
樋口代議士カラ當局ニ申上ゲタ實例ガアリ  
マスカラ私申上ゲマセヌガ、農村ノ者ガ  
牛ヲ賣ルコトヲ止メテシマフヤウナ傾向ガ  
アル、是ガ肉牛ノ缺陷デアルト云フヤウナ

問題モアルノデアリマス、牛馬商ヲ統合ス  
ルト云フコトモ結構デアリマスガ、餘リ一  
時ニ五分ノ一ナンカニシテシマツテ、事實  
出來ナイヤウナ關係モアリマス、此ノ點ニ  
付テ當局ハ如何ニ御考ヘニナツテ居ルカ承  
リタイ

其ノ次ニ是ハ極ク小サナ問題デアリマス  
ルガ、一ツ此ノ際ニ私今遭遇シタ例ヲ申上  
ゲマシテ、ナントカ御考ヘ願フ方ガ宜ク  
ハナイカ、所謂徹底サシテ戴ク方ガ宜クハ  
ナイカト思ハレマスモ、ガ茲ニアルノデア  
リマス、ソレハ外デモアリマセヌ、私東京  
ヘ參リマシテ宿ニ泊ツテ居リマス、然ル所  
業務用米ノ割當ガ非常ニ減額サレタト云フ  
譯デ、宿ハ飯ヲ食ハサナイト云フコトガ起  
ツテ參ツタノデアリマス、ソレハ已ムヲ得  
ナイ實狀ダト思ヒマス、併シ私共斯ウ言フ  
トヲカシイデスガ、私共ナラバナントカヤ  
リ繰リ付ケテ外デ食ベテ行キマセウ、併シ  
僅カノ旅費ヲ頂戴シテ色々ナ問題デ出掛ケ  
テ來タ方ナンカハ、斯ウ云フ制度ニ置カレ  
マスルト非常ニ迷惑ラシハシナイカ、斯様  
ニ思ハレルノデアリマス、又私ノ泊ツテ居  
リマスル宿ニハ、オ隣リニ或ル官署デアリ  
マジテ、其ノ方面ノ判任官ノ方ガ御出張ニ  
ナリマシテ、相當滞在サレテ居ラレル方ヲ  
見受ケマス、是等ニ對シテモ業務用ノ割當  
ハ相當減額シナケレバナリマセヌガ、旅館  
ト料理屋ノ區別ヲ付ケテ何トカシテヤツテ  
戴カナイト、充ガヒ扶持ノ旅費ヲ貰ツテ來  
ル官吏ノ方ナドハ非常ニ迷惑デヤナイカ  
ト思ハレルノデアリマス、是等ニ付テモ何  
トカ御考ヘヲ煩ハシテ、區別ヲ付ケテ徹底  
サセテ戴イタ方ガ宜クハナイカト考ヘマス、  
是ハ御希望ヲ申上ゲテ置キマス  
次ニ今食糧ノ増産ノ爲ニ有畜農業ガヤカ  
マシク問題ニサレテ居ル場合ニ、牛馬商ノ

問題モアルノデアリマス、牛馬商ヲ統合ス  
ルト云フコトモ結構デアリマスガ、餘リ一  
時ニ五分ノ一ナンカニシテシマツテ、事實  
出來ナイヤウナ關係モアリマス、此ノ點ニ  
付テ當局ハ如何ニ御考ヘニナツテ居ルカ承  
リタイ

其ノ次ニ是ハ極ク小サナ問題デアリマス  
ルガ、一ツ此ノ際ニ私今遭遇シタ例ヲ申上  
ゲマシテ、ナントカ御考ヘ願フ方ガ宜ク  
ハナイカ、所謂徹底サシテ戴ク方ガ宜クハ  
ナイカト思ハレマスモ、ガ茲ニアルノデア  
リマス、ソレハ外デモアリマセヌ、私東京  
ヘ參リマシテ宿ニ泊ツテ居リマス、然ル所  
業務用米ノ割當ガ非常ニ減額サレタト云フ  
譯デ、宿ハ飯ヲ食ハサナイト云フコトガ起  
ツテ參ツタノデアリマス、ソレハ已ムヲ得  
ナイ實狀ダト思ヒマス、併シ私共斯ウ言フ  
トヲカシイデスガ、私共ナラバナントカヤ  
リ繰リ付ケテ外デ食ベテ行キマセウ、併シ  
僅カノ旅費ヲ頂戴シテ色々ナ問題デ出掛ケ  
テ來タ方ナンカハ、斯ウ云フ制度ニ置カレ  
マスルト非常ニ迷惑ラシハシナイカ、斯様  
ニ思ハレルノデアリマス、又私ノ泊ツテ居  
リマスル宿ニハ、オ隣リニ或ル官署デアリ  
マジテ、其ノ方面ノ判任官ノ方ガ御出張ニ  
ナリマシテ、相當滞在サレテ居ラレル方ヲ  
見受ケマス、是等ニ對シテモ業務用ノ割當  
ハ相當減額シナケレバナリマセヌガ、旅館  
ト料理屋ノ區別ヲ付ケテ何トカシテヤツテ  
戴カナイト、充ガヒ扶持ノ旅費ヲ貰ツテ來  
ル官吏ノ方ナドハ非常ニ迷惑デヤナイカ  
ト思ハレルノデアリマス、是等ニ付テモ何  
トカ御考ヘヲ煩ハシテ、區別ヲ付ケテ徹底  
サセテ戴イタ方ガ宜クハナイカト考ヘマス、  
是ハ御希望ヲ申上ゲテ置キマス  
次ニ今食糧ノ増産ノ爲ニ有畜農業ガヤカ  
マシク問題ニサレテ居ル場合ニ、牛馬商ノ

問題モアルノデアリマス、牛馬商ヲ統合ス  
ルト云フコトモ結構デアリマスガ、餘リ一  
時ニ五分ノ一ナンカニシテシマツテ、事實  
出來ナイヤウナ關係モアリマス、此ノ點ニ  
付テ當局ハ如何ニ御考ヘニナツテ居ルカ承  
リタイ

ノ我が國ノ水産中沿岸漁業ノ占ムル重大ナル事情ニ鑑ミテ、其ノ時局ノ推移ニ伴ツテ適當ナ統制ヲ加ヘテ

〔森委員長代理退席、委員長着席〕

水産ノ振興ニ寄與スルヤウニ考ヘテ居ルト共ニ、又其ノ根本方針ナリ或ハ方策等ニ付テノ意見ハドウカト云フ御尋ネデアリマシ

タガ、其ノ御趣旨ハ政府トシテモ既ニ痛感シテ居リマスノデ、段々ノ準備ヲ整ヘテ參

ツタノデアリマス、御説明ニアリマス通リ沿岸漁業ハ其ノ地域別ニ見マシテモ、非常

ニ複雑多岐ナ事情モアリマス、殊ニ又企業形態ハ大小トリノ問題ガアリ、是等ニ

付キマシテハ周到ナル用意ヲシナケレバナラスト思フノデアリマス、隨ヒマシテ沿岸

漁業ニ對スル適切ナル統制ヲ加ヘルト云フ方針ハ既ニ決定シテ居リマス、隨ツテ此ノ

統制方策ヲドウスルカト云フ問題ニ付キマシテハ、只今地方ノ事情等モ十分勘案シテ

居リマシテ、マダ其ノ具體的ナル方針ヲ御示シスル時期ニ到達シテ居リマセヌ、ト云

フノハ、急角度ニ變ツテ參リマシタ物資事情等ハ、現代ノ漁業自體ノ再編成ニ先ヅ重

點ヲ置イテ、其ノ問題ヲ解決スルト云フ點ト、ソレカラ御承知ノ通り遠洋海洋漁業等

ノ體制ヲ整ヘルト云フコトニ、具體的ニ着手シテ居ツタ關係上、多少此ノ方面ノ關係

ガ、難カシイ問題ガ伏存シテ居ルヤウナ事情上遲レテ居リマスケレドモ、是ハ速カナ

機會ニ具體的施策ニ進ミタイト考ヘテ居リマス

○田代委員 沿岸ノ漁業ノ統制ニ付テハ、大體「プラン」ガ出來テ居ル併シソレヲ運

要綱ハ、御承知ノ通り沿岸漁業ハ漁村ガ主體トナツテ居ル、漁村ノ主體ハ漁業組合デア

ル、斯ウ云フ風ニナリマスレバ、其ノ漁業組合ヲ沿岸漁業ノ主體トシテ、運營ノ主體トシテ御取扱ニナルト云フ御方針デアリマ

スカ ○三浦(一)政府委員 漁業組合ヲ中心ニシテト云フ風ヲ具體的ニハマダサウハ考ヘテ

居リマセヌ、漁業組合モ勿論整備シテ參ラナケレバナリマセヌ、又漁業組合ニ依ラザ

ル各種ノ漁業モアリマスカラ、是等ハ沿岸漁業ノ特性ニ鑑ミテ適當ナル方法ヲ執リ

タイト斯ウ考ヘテ居リマス ○田代委員 其ノ點モウ少シ、大體デモ宜

シイカラ御聽カセ願ヒタイ、例ヘバ沿岸漁業ニハ定置漁業ガアリ、或ハ小形船家庭

的ニ漁ヲヤルトカ洵ニ複雑多岐ヲ極メテ居リマスカラ、マダシツカリシタ「プラン」ガ立

タナイト云フコトモ御無理デハアリマセヌガ、大體其ノ主體トナルモノハ何デアルカ

ト云フヤウナ、大體「宜シイカラソレヲ御洩ラシニナルコト」ハ出來マセヌカ

○三浦(二)政府委員 マダ具體的ニ御示シスル時期ニハ到達致シテ居リマセヌ、追ッ

テ其ノ案ガ出來次第御示シスル次第デアリマス

○田代委員 其ノ次ニ御伺ヒシタイノハ生鮮魚介類ノ出荷配給問題デアリマス、此ノ

生鮮魚介類ノ需給調節ノ困難ナルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、政府トシテハ此

ノ需給調節ヲ圖ル方針トシテ、一ハ配給統制規則、一ハ價格ノ公定ト云フ二ツノ方法

ニ依ツテ魚ノ需給調節ヲ圖ツテ居ラレタノデアリマス、配給統制規則ハ昨年四月一日

サレタ、價格ノ公定ハ一昨十五年九月ニ七十品目デアツタカニ對シテ致シマシタガ、

其ノ後ニ至リマシテ此ノ價格ノ公定ガ當ラ得テ居ナイト云フノデ、昨十六年九月十日

日ニ百七十幾ツデアツタカ、此ノ品目ヲ増加シテ公定サレタノデアリマス、併シナガ

ラ此ノ配給統制規則ト價格公定ト此ノ二本建デヤルト云フコトハ當リ前ノ話デアリマ

スカ、此ノヤリ方ガ惡カツタ爲ニ、魚ガ依然トシテ不足デアリ、闇取引ガ行ハレテ、

其ノ上ニ吾々ハ元ハ生キノイイ魚ガ喰ベラレタガ、今ハ生キノ惡イモノヲ喰ベルト云

フコトニナツタノデアリマス、是ハドコニ缺陷ガアルカト申シマス、前申シマシタ

生産ノ不足ト云フコトガ最大ノ原因デアリマスガ、配給統制規則ト價格統制ノ技術的

ナ點ニ於テ拙カツタト思ヒマス、ソコデ其ノ缺陷ヲ是カラ申上ゲマスガ、第一ニ配給

統制規則ノ缺陷トスル所ヲ申上ゲ、次ニ價格ノ公定ノ缺陷トスル所ヲ申上ゲタイト思

ヒマス 此ノ配給規則ニ依リマシテ魚ガドウ云フ

風ニ流レルカト申シマス、農林大臣ノ指定スル地方ノ陸揚地ニ先ヅ以テ魚ガ揚ガ

ル、又農林大臣ノ指定以外ノ詰リ地方長官ノ指定スル所ノ陸揚地ニモ魚ガ揚ガル、其

ノ揚ガツタ魚ガ出荷統制組合ニ依ツテ私ハ中央ニ流レル順序ヲ申上ゲテ居ルノデ

アリマスルガ、中央ノ配給統制協會ノ指圖ニ依リマシテ、ソコヘ出荷ノ手續ヲナス、

其ノ手續ヲ受ケマシタ配給統制協會ハ農林大臣ノ許可ヲ受ケマシタ所ノ配分率ニ依リ

マシテ、其ノ所屬ノ市場ニ流ス、此ノ手續ヲ受取リマシタ各市場ハ、茲ニ初メテ末端

配給ニ其ノ魚ヲ流スト云フコトニ相成ルノデアリマス、末端配給ト申シマスノハ、所

謂小賣商トカ色々アリマスルガ、各市場ノ中ニハ業務用ノ組合ト、ソレカラ家庭用ノ

組合トアリマシテ、魚ハ市場カラ此ノ二ツニ流レル、家庭用ノ組合ト申シマスノハ、

詰リ小賣商業組合デアリマシテ、吾々ノ口ニ入ルノハ、此ノ小賣商業組合ノ手ヲ經テ

吾々ノ口ニ入ルノデアリマス、業務用ノ組合ノ中ニハ、特殊業務用ト、ソレカラ加工

用ト、ソレカラ業務用ト、斯ウ云フ三ツニナツテ居リマシテ、特殊業務ノ方ハ病院、

學校ノ寄宿舎、加工用ハ蒲鉾トカ竹輪ヲ造ル爲メ、業務用ハ所謂料理屋デア、ソコ

ニ業務用ノ組合ガ何處カラ魚ヲ取ルカト云ヒマス、市場デア、其ノ市場ノ中ニ

特設賣場ト云フノガアリマシテ、其ノ特設賣場カラ取ルノデアリマス、市場ハ特設賣

場ニ配給シマシタモノカラハ五分ノ手取料ヲ取り得ル、併シ家庭用ノ組合ニ配給シタ

モノカラハ五分ノ手取料ヲ取ルコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマス、取り得ル

ト云フ理由ハ、料理屋ハ兎ニ角刺身一皿七十錢トカ付ケテ儲ケテ居ルカラ、手取料位

取ツテモ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ理由ニ基クノデアリマス、巷間傳フル所ニ依リマ

スレバ、市場ハサウ云フ理由カラ特設賣場カラ流ス品物ヲサウ云フ料理屋ノ方ニ餘計

廻シテヤリタガ、斯ウ云フ話デア、併シ私ハ其ノコトニ付テハサウハ思ヒマセヌ、市場ノ運營ヲ掌ツテ居ル人達ハ、公益

性ヲ十分ニ感得ラシテ居ルノデアリマスカラ、私ハサウ云フコトハナカラウト思フ、

然ラバドウ云フ譯デ魚ガ吾々ノ方ニ入ルノガ不足カト申シマス、配給規則ノ中ニ

十貫目マデノモノハ何等ノ手取料要セズ、

其ノ御決メニナツタ配給「ルート」ヲ經ズニ之ヲ何處ヘデモ持ツテ行ケル、搬入スルコトガ出來ル、サウシテ又五貫目マデハ之ヲ家庭ニ持ツテ行カウガ、料理屋ニ持ツテ行カウガ、何處ヘデモ持ツテ行ケル、此ノ規則ガ因ラ成シマシテ、此處デ閣ガ行ハレ、コツチノ方ニドシ、魚ガ流レテ行クノダラウト思フノデアリマス、是ハドシナニ私ガ調ベマシテモ、皆サウデアアル、何處デモサウ言ツテ居リマス、所ガ此ノ事ニ付キマシテ、地方ノ方デハ黙ツテ居ル、何故黙ツテ居ルカト申シマス、ソレヲ餘リ喧シク言フト、治安維持上困ル、ソレ位ハ見逃シテ置カスト云フト、中央ニ魚ガ流レズニ、其ノ縣内ニ止マツテ居ル、サウスルト魚ノ不足ノ所ニ、ソレダケノ餘裕ガアリマスカラ、不平ハ餘リ出ナイ、ソコデ農林省デハ喧シク言フケレドモ黙ツテ居ヨウト云フ譯デ、地方官廳ハ見逃ス、斯ウ云フ話デアリマス、此ノ十貫目ノ搬入、五貫目ノ搬出ト云フ問題ガ、私ハ閣取引ガ行ハレ、魚ガ偏在スル根幹ヲ成シテ居ルト思ヒマス、ソレカラ先程申上ガマシタ地方ノ出荷統制組合カラ流レテ來ルト云フコト、是ハ農林大臣ノ指定スル陸揚地ト、地方長官ノ指定スル陸揚地トニツアル、此ノ二ツノ間ニ横ノ連絡ガアリマセヌ、ソレダカラ農林大臣ノ指定スル陸揚地ニ於ケル所ノ出荷統制組合ガ、命令ニ依リマシテ出荷ノ計畫ヲ立テネバナラスノデアリマスガ、ドレ程魚ガ來ルカト云フコトガ分リマセヌカラ、ソコデ計畫ノ立テ様ガナイ、斯ウ云フコトニナル、此ノ横ノ連絡ガナイト云フコトガ、是亦魚ノ不足ノ原因ヲ成シテ居ルノデアリマス、サウシテ又此ノ陸揚地デスガ、是ハ五

ツ以上ノモノハ申告シナケレバナラス、又必ズ指定ノ陸揚地ニ持ツテ來ナケレバナラス、斯ウナツテ居リマスケレドモ、氣ニ食ハナイ陸揚地デアルト、自分ハ其處ニ揚ゲルコトハ厭ダト云フノデ、別ノ所ニ持ツテ行ク、ソレガ申告ニ依ツテナシ得ル、是ニ配給規則ノ弱體ガアルト思ヒマス、ドウモ此處ニ持ツテ來ルト旨クナイカラト云フノデ、他ニ船ヲ廻シテ行ク、其ノ揚ゲル目的ハ閣デス、閣値デ高ク賣リタイカラ持ツテ行クノデアリマシテ、閣價賣ラナイト云フコトデアレバ、指定サレタ陸揚地ニ持ツテ行クニ決ツテ居ル、閣ガ持ツテ來ル、此ノ事ガ一ツノ缺陷ヲ成シテ居ル、又モウ一ツハ、京濱ト、ソレカラ中京ト京阪ト、ソレカラ關門、此ノ四ツニ大キナ配給「プロック」ガ形成サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ四ツノ一ツノニ配給統制協會ト云フモノガアル、是ガ何ニモナラナイ、此ノ配給統制協會ガ農林大臣ノ指圖ヲ受ケマシテ配給ノ計畫ヲ立テ、サウシテ各市場ニ對シテ配給ノ指圖ヲスルト云フコトニナツテ、仕事ハ重大ナ仕事デアリマスケレドモ、何ニモナラナイ、ナゼ何ニモナラナイカト云フト、其ノ首腦部ガ無能デアルトカ、或ハ我儘デアルトカ、横暴ヲ極メテ居ルトカ、斯ウ云フ話ヲ承ツテ居リマス、サウシテ相變ラズ其ノ人達ハ素人ノ爲ニ、唯何カノ情實ヲ天降リニナリマシタカ、サウ云フ風ヲ關係ガアル爲ニ、仕事ハチツトモ知ラナイ素人ノ癡ニ面倒ナ仕事ヲヤツテ居ル、是ガ配給ノ圓滑ヲ缺イテ居ル原因デアリマス、私ハソレヲ斷定スルコトガ出來マス、斯ウ云フ風ヲ缺陷ガアルノデアリマスガ、是等ニ付テ政府ノ御考ヘハドウデアアルカト云フコ

トヲ御聽キシタイ  
先程申上ガマシタ十貫目ノ搬入、五貫目ノ搬出、此ノ除外例ヲアノ配給規則ノ中ニ御設ケニナツタ趣意ハ、是ハ小サイ漁師ニ對スル非常ニ同情的ナ心持カラ生レテ來タ御處置ダト思ヒマス、ソレハ小サイ漁師ハ、亭主ハ船ニ乗ツテ沖ニ出テ行ク、持ツテ來タ物ハ今度家内ガソレヲ籠カ何カニ入レテ賣出ス、其ノヤウナコトガズツト行ハレテ居リマシタ、サウ云フコトニ同情サレテアノ除外例ヲ御設ケニナツタコトデアラウト思ヒマスケレドモ、ソレナコトヲ考ヘテ居ツタラ、配給ノ統制、ソレカラ消費ノ規正ト云フコトハ絕對ニ行ハレマセヌ、消費ノ規正、配給統制ト云フコトガ主ナル使命デアツタナラバ、サウ云フ拔道ヲ捨ヘル必要ハチツトモナイ、ソレヲ涙ヲ吞ンデ廢止シナケレバ、此ノ消費規正、配給統制ト云フノハ行ハレマセヌ、此ノ事ヲ一言申上ガテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ今度ハ、此ノ配給統制ノ缺陷ハ今申上ガタノデアリマセガ、然ラバ今度價格ノ公定ニ付テハ何ガ缺陷デアアルカト申シマス、十五年ニオ作りニナツタ價格ノ公定ハ、是ハ卸賣、小賣ト云フ一本建ノ復制ニナツテ居ル、所ガ今度昨年ノ九月ニ御決メニナツタ公定價格ノ取決メ方ハ陸揚地價格、是ガ一、二ハ指定消費地價格、三ハ指定外消費地價格、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、一番安いノ陸揚地價格、一番高いノ指定消費地價格、其ノ中間ガ指定外ノ消費地價格、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、然ル所此ノ指定消費地價格ト云フノハ、コナラノ方デ言ヘバ東京デ、ココガ一番魚ガ高い、ソコデ生産者ハ最高デアアル指定消費價格地ノ東

京ノ方ニ持ツテ來ルト云フ傾向ガダンノ顯著ニナツテ來タ、ソコデ是デハ堪ラヌト云フノデ、第三ノ指定外消費地ノ人達ガ今度運賃ヲ見、小賣代ヲ見、箱代ヲ見ルト云フヤウナコトヲ致シマシテ、指定消費地價格ヨリモウソト高イ閣價買ツテ來マス、ソレガ爲ニ東京ノヤウナ所ヘ廻ツテ來ナイ、是ガ價格ニ依ル所ノ魚ノ廻リ方ノ不圓滑ナ一ツノ原因デアリマス、是ガ公定價格ニ對スル一ツノ缺陷トシテ申上ガタイ  
モウ一ツ是ハ配給ノ不圓滑ノ原因ニナルカナラナイカ分リマセヌガ、魚ノ鮮度ト云フコトニ付テ重大ナ問題ガ生ジテ來ル點デス、ソレハ目方賣デス、始終目方ニ掛ケテ居リマス爲ニ、段々生キガ惡クナル、モウ一ツハ目方賣ノ爲ニ品質ヲ度外視シテ居ル、惡イ品物デ目方サヘモアレバ賣レルト云フヤウナコトノ爲ニ極メテ非衛生的ニナツテ來テ居ル、是ハ國民保健上重大ナ問題デアラウト思フ、何度位目方ヲ掛ケルカト云ヒマス、漁師カラ産地ニ入ル時ニ一回、産地カラ市場ヘ入ル時ニ一回、市場ノ内ノ商業組合カラ商業組合ノ支部ニ入ル時ニ一回、支部カラ小賣ノ方ニ入ル時ニ一回、小賣カラ愈々吾々ノ口ニ入ル時ニ又モウ一回目方ヲ掛ケル、都合六回掛ケルノデ、生キノ良イ魚デモ六回モ目方ヲ掛ケラレテハ、大抵目ガ赤クナツテ來ルニ決マツテ居ル、左様ナコトニハ國民ノ保健上實ニ重大ナルコトデアアル、此ノ目方賣ノ缺陷、之ヲ私ハ始終考ヘテ居ル、是等ノコトニ付テ政府ハドウ云フヤウニ考ヘラレテ居ラレルカト云フコトヲ御聽キシタイト思ヒマス  
○辻政府委員 鮮魚ノ配給ノコトニ關シマシテ、詳細御意見、御質問ガアリマシタノ

デ、昨年來政府が實行シテ居リマス鮮魚類ノ配給統制ノ内容ハ、只今詳細御話ニナリマシタ所デ盡キテ居ルト思ヒマスガ、其ノ中ニ付キマシテ第一ニハ配給統制ノコトニ關シマス缺陷ヲ御指摘ナサイマシタ、第一ノ問題トシテ配給統制規則ニ於テ、搬入ニ付テハ大都市等ノ指定消費地ニ對スル鮮魚ノ搬入ノ場合ニ於テ、十貫目、又小賣業者等ノ業務關係者ガ直接産地ニ買取ニ行クヤウナ場合ニ於テハ五貫目、此ノ範圍ノ數量ノモノヲ配給統制カラ除外例トシテ、認めテ居ル、ソコニ大キナ統制上ノ缺陷ガアルノデハナイカト云フ點ニ付キマシテハ、吾々モ配給統制ノ實行上一ツノ大キナ問題トシテ考慮致シテ居ルノデアリマス、十貫目、五貫目ニ付キマシテ一ツノ除外例ヲ設ケマシタ趣旨ハ、先程御指摘ニナリマシタヤウナ趣旨ニ基クノデアリマス、此ノ程度ノ數量ナラバ、配給統制モ回滑ニ運營サレ、多ク弊害モナイデアラウト考ヘタノデアリマスケレドモ、最近ニ於ケル各地ノ狀況ヲ見マスト、當初吾々ガ豫想シテ居リマシタヨリ以上ノ、場所ニ依リマシテハ情弊モ起ツテ來テ居ルヤウニ感ゼラレルノデアリマス、其ノ結果、サナキガニ全體ノ數量ガ減ツテ居リマス鮮魚類ガ、家庭用ノ方ニ向キマセズデ、主トシテ多ク業務用ノ方ニ流レルト云フ傾向モ、アルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、唯之ヲ一時ニ徹底的ニ水モ洩ラサスヤウニ全部網ノ目ニ入レテシマフコトガ適當デアラカドウカト云フ點ニ付キマシテモ、慎重考究スル必要ガアリマスノデ、目下ノ所、此ノ五貫目、十貫目ト云フ除外例ノ適否ニ付キマシテハ、各地ノ情報モ參照致シマシテ慎重考究致シテ居ル次第デアリマス

第二ノ點ハ指定陸揚地ニ於ケル問題デアリマス、全國百二十數箇所ヲ配給統制ノ指定陸揚地トシテ居リマスガ、色々ナ關係カラ致シマシテ、漁獲物ガ指定陸揚地以外ニ流レル、隨テ出荷統制ヲ紊ルト云フ御話デアリマスガ、多少サウ云フ點モナキニシモアラズト考ヘマス、唯陸揚地トシテ指定シテ居リマス場所ガ、船溜ノ關係、漁港ノ關係、其ノ他カラ致シマシテ、其ノ場所ヲ避ケテ他ヘ陸揚ガシヨウト致シマシテモ、色々ナ關係ニ於テ支障ガアルノデハナイカ、一應大丈夫デアラウト云フ考ヘヲ以テ指定シテ居ルノデアリマスケレドモ、段々ト指定ノ陸揚地ヲ逃ゲマシテ他ノ方ヘ陸揚ガサレルト云フ傾向ガ助長セラレマスニ於テハ、更ニ此ノ陸揚地ノ指定ヲ增加スルトカ何トカ致シマス措置ヲ講ズル必要ガアラウト考ヘルノデアリマス、又農林大臣ノ指定ノ陸揚地ニ於ケル出荷統制組合ト各地方ノ地方長官ガ指定致シマシタ陸揚地ニ於ケル出荷統制組合トノ間ノ連絡ガ十分デナイト云フ點ニ付キマシテハ、私共モ多少サウ云フ點ニ付キマシテ遺憾ナ點ガアルコトヲ感ジテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテハ適當ニ連絡調整ヲ致サセマシテ、出荷統制組合ニ於ケル出荷計畫ノ樹立、其ノ實行等ニ付テ遺憾ノナイヤウニ運營サセタイト考ヘテ居リマス

第三ニ消費地ニ於ケル荷受人、詰リ配給統制協會ト云フ名前ヲ以テ呼ンデ居リマスガ、是等ノ運營ナリ活動ガ十分デナイト云フ點ノ御注意デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ色々配給統制協會ノ内部ノ構成員、協會其ノモノトノ關係等ニ付キマシテ、實際ノ協會ノ運營上色々ノ問題モアルヤウデアリマスガ、是亦其ノ間十分ノ連絡ヲ圖ラセマシテ、都會ニ於ケル魚類ノ荷受人ノ統制、又各區ニ對スル配分ノ統制ニ付キマシテ遺憾ノナイヤウニ實行致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

次ニ價格ノ問題デアリスガ、昨年ノ九月從來ノ價格ヲ改訂致シマシテ、相當詳細ニ互リ各魚種ニ應ジ、各地方ニ依リマシテ詳細ナ規定ヲ致シマシタ、ソレハ其ノ以前ニ於キマスル公定價格ノ決メ方ガ比較的簡單デアリマシタ爲ニ、中央ニ於テ決メマシタ價格ノ外ニ、各地方ハ地方ニ依リ、地方長官ガ之ヲ決メルト云フ定メニナツテ居リマシテ、地方長官ノ定メマス價格ノ標準ガ必ズシモ中央ノ要求シタ所ノ標準ト合致シナイト云フ點モアリマシテ、却テ全國的ノ魚ノ流れヲ不圓滑ナラシメルト云フ實情モゴザイマシタノデ、寧ろ煩ヲ厭ハズ詳細ナ決メ方ヲ致シタノデアリマス、一方配給統制ノ實行ト相俟ツテ價格ノ方カラモ計畫通りノ出荷、計畫通りノ配給ヲ促進スルト云フ建前ヲ以テ定メラレタモノナノデアリマス、唯具體的ノ内容ニ付キマシテハ魚種ニ依ツテ多少實行上實情ニ副ハナイヤウナ點モアツタカト思ヒマスガ、サウ云フ點ニ付キマシテハ必要ニ應ジテ改訂ヲ見ル點モ少クナイト考ヘルノデアリマス、尙ホ目方賣ノ點ニ付テノ御意見デアリマスガ、鮮魚ニ對シテ公定價格ヲ決メル以上ハ、多數ノ鮮魚ニ付テハ特ニ鮮度ヲ重點トシナケレバナリマセスケレドモ、公定價格ノ制度ヲ執リマス以上ハ、ヤハリ目方ヲ基礎ニシテヤリマス外ニ是ハ技術的ニ手ハナイノデアリマシテ、只今御指摘ニナリマシタヤウニ、凡ユル團

體ニ於テ度々目方ヲ掛ケナケレバナラナイ、其ノ爲ニ鮮度ヲ著シク阻碍スルト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、實行上ノ取扱ノ問題トシテ十分考慮シナケレバナラヌ點デアラウト思ヒマス、要スルニ現在ヤツテ居リマス配給統制ト申シ又價格統制ト申シ、何レモ元來技術的ニ無理ナ事柄ヲ實行シテ居ル次第デアリマシテ、段々情勢モ變化シテ參リマスシ、實情ニ應ジテ適宜惡イ點ハ直シテ行クト云フ方針デ進ミタイト考ヘテ居リマス

○田代委員 今ノ御答辯ノ中デ最モ私ノ重大ノ關心ヲ持ツテ居ルノハ十貫目搬入五貫目搬出デアリマス、是ハ近イ所ノ漁村カラ來ルト云フヤウナ目標ヲ以テ御立テニナツタ問題デアラウト思ヒマスガ、實際ハ遠イ所カラ持ツテ來テ居リマス、京都アツリカラ東京ニ持ツテ來テ居ルト云フ話モ聞イテ居リマス、ソレカラ十貫目ト云フ規定デアリマスケレドモ、實ハ三十貫四十貫ニモナツテ居ルノデアリマス、是ハ十貫目ト云ツテ規則デ「テーブル」ノ上デ御作リニナツタノカモ知レマセマスガ、實際ハソレナモノデアリマセマス、是ハモウ三十貫、四十貫ニモナツテ居リマス、是ハ是非禁止シテ貫ヒタイ、ソコデハ水産局長ニ御尋ネ致シマスガ、今ノ食品局長ノ御答辯ヲズツト付度ヲ致シマス、消費地ニ於テ之ヲ禁止シタイト云フ御意見デアラウト思ヒマスガ、無論是ハ配給ノ統制ヲオヤリニナル立場カラ申シマスレバ、食品局長ハ其ノ方デナケレバイケナイ、然ルニ水産局長ノ方ハ是ハ一般ノ生産者ニ裨益シナケレバイケナイ、ソコデ何トナク其ノ間ノ御意見ニツグハナイ點ガ兩者ノ間ニアルヤウニ、私一人ノ考デスガ、サ

ウ思ヘル、ソレニ付テハ水産局長ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○三浦(一)政府委員 兩局ニ互ル問題ハ次官ガ御答ヘル方適當カト思ヒマス、是ハ各自ノ立場ト云フモノガ各、アル譯デアリマスケレドモ、兩局ニ能ク相談シタ上ニ決定シタコトデアリマスカラ、左様ナ對立の考ヘノナイコトヲハツキリ申上ゲテ置キマス、要スルニ五貫目、十貫目ト云フナニガ適當デアアルカドウカノ問題ハ、各方面ノ意向モ聽キシマテ、地方ノ實情ニ即シテサウ云フヤウナ事情モ緩和シテヤウタコトデゴザイマスガ、先程食品局長カラ申上ゲタ通り、實ハ世界各國デコシナ難カシイ統制ヲシテ居ル國ハナイノデアリマス、併シナガラ我が國ノ食生活カラ見テ放任ハ出來ナイ、ソレハ如何様ナル困難ガアツテモ、ヤハリ適切ナル統制ヲシテ國民生活ヲ安固ニシタイト云フ所カラヤウテ居ルノデアリマス、困難デハアリマスケレドモ其ノ困難ヲ排シ、同時ニ又其ノ間隙滑ニ行カヌ點ニ付キマシテハ、固イ決心ヲ以テ之ヲ片ツ端カラ片付ケテ行クヤウニスル、ト云フヤウニシテ參リタイト考ヘテ居リマス

テ統制經濟ニ觸レテ居ル法律ダト思ヒマス、ソレト今ノ生鮮魚介類配給規則、鹽干魚ニ關スル水産物配給規則、此ノ二ツノ法律ハ總動員法ニ依ルト云フコトニナツテ居リマスガ、此ノ三ツガ相錯シテ居リマシテ取締ヲ受ケル人ガ甚ダ迷惑デアアル、中央市場法ニ依リマシテ取締ル方ハ農林省アリ、警視廳アリ、東京府アリ洵ニ煩雜ヲ極メテ居ル、サウ云フ風ニナツテ居リマスガ、此ノ中デ私之ヲ讀ンデ見ルト、水産物配給規則ガ何トナク進歩シテ居ルヤウニ感ジマス、今ノ十貫目、五貫目ハアリマセヌ、併シ是ニモ今ノ食品局長ノ御意思ガ私ハ分ルヤウナ氣ガシマス、ソレデ閣取引ノ根源ヲナス所ノ拔ケ道ガナイ、ダカラソレダケ進歩シテ居リマス、此ノ三ツノ法律ノ各長所ヲ採ツテ之ヲ一本建ニスル御意思ガアルカドウカト云フコトヲ承ツテ置キタイ

○三浦(二)政府委員 各種ノ經濟統制ガ段段進ムニ從ヒマシテ、從來カラアリマシタ法律制度等ニ付テ、適當ナル調整ヲ加ヘテ參ルト云フコトハ、是ハ農林省ノ他ノ部門ニ付キマシテモ從來實施シ來ツタノデアリマスガ、今回ノ食糧管理法ヲ出シマシタノモ、其ノ問題解決ノ有力ナルモノデアルト云フコトハ御諒承ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ中央市場法トカ、其ノ他水産物配給規則、生鮮魚介類配給規則等ノ運用ノ實情ニ即シマシテ考慮ヲ廻ラサナケレバナラスト思ヒマスガ、今ノ所差當ツテ三者ヲ合同シタ案ヲ直チニ出スト云フ考ヘハ今ノ所持ツテ居リマセヌ

○田代委員 キット近キ將來ニハ三者ヲ合併シテ一ツ考ヘ直サナケレバナラス時ガ來ルダラウト思ヒマス、併シソレハソレト致シマシテ、第二ニ斯ウ云フモノヲ御作リニナツタラ如何デスカ、先程モ申シマシタヤウニ各府縣ニ横ノ連絡ガナイ、其ノ缺陷ヲ是正スル爲ニ各府縣ニ一ツ出荷統制組合ヲ作ル、統制團體ヲ作ル、ソレカラ各府縣ニ一今ノ四大「ブロック」デモ宜シイノデスガ、其ノ中ノ各市場ノ企業合同ヲサセマシテ、サウシテ各府縣ノ出荷統制團體ト主要都市ノ市場ノ合同ト、ソレヲ統轄スル所ノ全國的ノ統制團體ヲ作ルト云フ御意思ハナイノデアリマスルカ、私ハ不思議ニ思フノハ此ノ四大「ブロック」デス、政府ハ四ツノ大キナ京濱、中京、京阪、關門、是ハ人口ハ稠密デアリマシテ、政治的ニ見ルト如何ニモ重大ナ所デアアルカラ、治安ノ上カラ考ヘテ重要視シナケレバナラス、其ノ結果此處ニ統制協會ヲ御作リニナルト云フコトデアリマスルケレドモ、併シ食糧問題ハ國民全體ノ重大ナル問題デアリマス、其ノ觀點カラ致シマスルト、全國的ノ統制機關ガナクチャナラナイト思ヒマスガ、此ノ點ハ如何デスカ

○辻政府委員 鮮魚ノ配給統制ニ付キマシテハ、之ヲ制定實施致シマシタ當時ト、ソレカラ現在ノ情勢ト、更ニ又今後ノ見透シトヲ考ヘ合セマスルト、既ニ規則制定當時ノ實情カラハ現在ハ相當情勢ノ變化シテ居ル點モアルヤウニ存ズルノデアリマシテ、只今ノヤウニ出荷方面ハ出荷ノ方面デ全國的ニ纏マレバ宜カラウ、又消費ノ方面ハ消費ノ方面トシテ全國的ノ團體ヲ作ツタラ宜カラウト云フ點ニ付キマシテハ、今後ノ配給統制ノ進ミ方ニ付テノ貴重ナ御意見トシテ十分私共考ヘテ見タイト思ヒマス、現在ノ所デハ各產地ニ於キマスル出荷統制組合ノ横ノ連絡ノ問題、ソレカラ又消費地ニ於キマスル配給統制協會、現在四大消費地ニゴザイマスガ、是ノ全體ノ聯合會ノ問題、是ハ現在既ニゴザイマス、更ニ進ンデ出荷統制組合ト配給統制協會トノ間ノ相互ノ連絡ノ問題、其ノ程度ノ問題ニ付キマシテハ、現在ト雖モ具體的ニ考ヘマシテ、又配給統制協會ノ聯合會ヲ開催致シマスルト云フ程度ノ事柄ハ致シテ居リマスガ、更ニ今後問題ト致シマシテ、御意見ノヤウナ所モ十分斟酌致シマシテ、慎重ニ施策致シタイト考ヘテ居リマス

○田代委員 是非トモサウ云フコトハ實現スルヤウニ御取計ヲ願ヒマス、ソレデハ手近ナ所カラ申上ゲマスガ、東京ニハ五ツノ魚ノ市場ガアリマスガ、之ヲ其ノ儘ニ放ツテ置イテ、合同スルト云フ御考ヘハナイデスカ

○辻政府委員 東京ニ於キマシテハ魚ノ市場ガ多數ゴザイマシテ、是ハ現在有ルガ儘ノ形ニ於テ其ノ儘京濱地區ノ配給統制協會ノ組成員トナツテ居リマシテ、各市場聯合シテ一ツノ配給統制協會ノ下ニ共同荷受ヲ致シ、各地區別ニ入荷ノ數量ヲ配分致シテ居ルト云フコトヲ致シテ居ルノデアリマスガ、更ニ百尺竿頭一步ヲ進メマシテ各市場ノ合同ヲ圖ルト云フ點ニ付キマシテモ十分考究ヲ致シテ居リマスノミナラズ、業者ノ方面ニ於キマシテモ各種市場ノ合同問題ハ多年ノ懸案ト致シマシテ只今具體的ニ業者ノ方面ニ於キマシテ相談ヲ進メテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、御參考ニ申上ゲマスガ京阪神ノ方面ニ於キマシテハ、大阪、神戸、京都ニ於テ從來中央卸賣市場ガゴザイマシテ、各市場ニソレノ別個ノ卸賣會社

ガゴザイマシタガ、是ガ先般一ツニ相成リマシテ三者ガ合同スルト云フコトニナツタノデアリマス、恐ラク京濱ノ方モ今後ノ方向ト致シマシテハ同ジヤウナ方向ヲ迎ルモノト考ヘマス

○田代委員 最後ニ伺ヒタイコトハ、本年ノ一月六日ニ鹽干魚介類藻類ノ配給統制ニ付テ農林省カラ要綱ヲ御示シニナツテ居ラレル、此ノ中ニ於テ中央ノ指令トシテ統制スベキ海産物ノ種類ハ鹽鮭、鹽鱒、竹輪、天草、海苔、鰻、鳧布、鰯、節類トナツテ居ツテ、是ガ中央ノ統制ニ服スベキモノダト云フコトニナツテ居ルノデ、私ハ此ノ通りニ行クモノト思ツテ居リマシタ、然ル所一月二十三日附デ以テ御出シニナリマシタ食品局長ヨリ各地方長官宛ノ通牒ニ依リマスレバ、是ハ荷受機關ヲ結成セヨト云フ通牒デアリマスガ、其ノ荷受機關ノ取扱

フ品目ハ大體鳧布、鰻、節類、海苔トナツテ居リマス、此ノ荷受機關ハ中央ノ統制ニ服スル爲メノ荷受機關デアアル、サウスルト前ノ一月六日ノ統制要綱ニハ鱈モ製製品モ入ツテ居ツタノニ、今度ノ二十三日ノ地方長官宛ノ通牒ニハ是等ガ入ツテ居ナイ、是ハドウ云フ譯デアリマスカ

○辻政府委員 一月ノ初メニ出テ居ルト仰ツシヤイマス配給統制要綱、是ハ色々各地ノ水産物ニ付キマシテ配給ノ統制ヲ致シテ參リタイ、其ノ方針ト致シマシテハ出來ルダケ國民生活ニ直接關係ノアリマスル品目カラ順次實行シテ參リタイ、重要ナ品目別ニ實行シテ參リタイト云フ心組ヲ以テマシテ各産地ノ業者ノ方々、又消費地ニ於ケル取扱業者ノ方々ノ御參集ヲ求メマシテ相談ヲ致シマシテ其ノ席上ニ於テ大體ノ私案ト

シテ、御相談ノ基礎トシテ申上ゲタモノカト思フノデアリマス、水産物ト申シマシテモ數ガ多ウゴザイマスル範圍ガ廣ウゴザイマスルノデ、差當リ實行シ得ベキモノカラ順次實行シテ貫ヒタイ、其ノ當面ノ種類ト致シマシテハ先日通牒ヲ以テ各地方廳宛ニ申上ゲマシタモノニ付テ施行シテ參リタイト云フ趣旨デアアルノデアリマス、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○田代委員 今ノ御話ハ私ハ諒解致シ兼ネマスケレドモ、時世ガ時世ナラバ黙ツテ居リマセヌケレドモ、斯ウ云フ時世デスカラ致シ方アリマセヌガ、ドウモ前ノコト後ノコトト丸キリ違ツタ命令ガ出ルト云フコトハ、私ハ困ツタ問題ダラウト思フノデス、何レ今度御會ヒテ願ヒマシテ能ク御願ヒスルカモ知レマセヌ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○三善委員長 北原阿智之助君  
○北原委員 私モ少シ御質問致シタイト思ヒマス、是ハ簡單ナコトデアリマス、食糧管理法ノ第二條ニ本法ニ於テ主要食糧トハ米穀、大麥、稗麥、小麥其ノ他勅令ヲ以テ定ムル食糧ヲ謂フト云フコトガ出テ居リマシテ、第三條ニ小作料トシテ受ケタル米麥ハ政府ニ賣渡スコト等ノ方法ガ出テ居リマス、昔カラ吾々ガ五穀ト云フコトヲ教ハツタノハ米ト麥ト稗麥ト小麥ト大豆トガ加ハツテ居ルト思ヒマス、此ノ食糧管理法ト云フ重要ナル法律ヲ御制定ニナルニ於テハ、大豆ヲ缺クト云フコトハ、少シ其ノ意ヲ得ザルモノデアアルマイカト私ハ信ズルノデアリマス、ナゼサウ云フ風ニ申スカト云フト、國民保健ノ上カラサウ云フ考ヘテ起シタノデアリマス、大豆ガ國民保健ニドウ云

フ關係ガアルカト云フト、少シク不思議ニ思召スデアリマセウガ、曾テ明治四十年頃デアリマシタカ、米國ノ人ガ日本ノ觀光ニ來テ、其ノ觀光記ヲ或ル新聞ニ書イタ中ニ、斯ウ云フコトガ出テ居ツタノヲ覺エテ居リマス、日本人ハ吾々ト違ツテ、平生ノ食物等ハ甚ダ粗食デアアル、ケレドモ見タ所ニ依ルト、顔色モ良イシ中々壯健デアアル、是ハドウ云フ譯デアアルカト思ツテ之ヲ研究シテ見ルト、ソレハ大豆ヲ以テ作ツタ味噌汁ト云フ「スープレ」ヲ拵ヘテ毎日之ヲ常食トスル爲ニ、日本人ハ吾々ト同ジヤウニ健康デアアルノデアアル、斯ウ云フ記事ヲ何カノ新聞で見タコトガアリマス、ソレカラ私ガ考ヘタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ例ヲ申シマス、私共ノ村カラ北支、南支ノ戰爭ニ行ツテ居ル兵士ノ還ツテ來タ色々陣中ノ話ヲ聽キマス、陣中ニ居ツテハ毎日アアコンナ時ニ國ニ居ツテ味噌汁ヲ吸ヒタイナアト思フコトガ度々アル、ケレドモ陣中デアアルカラ、容易ニ味噌汁ヲ吸フト云フヤウナコトハ出來ナカツタガ、兵舎ノ都合ニ依ツテ幸ヒニ味噌汁ガ出來テ其ノ配給ヲ受ケタ時ニハ、實ニ驚クベキ甘味ト思ツテ此ノ味噌汁ヲ吸ツタト云フ話ヲ村ノ兵隊共ガ還ツタ時ニ聞クノデアリマス、是ハドウ云フ譯デアサウ云フ風ニ日本人ハ味噌汁ヲ好ムカト言ヘバ、是ハ祖先カラ味噌汁ト云フモノヲ常食ニスル習慣カラ來テ居ルト共ニ、此ノ味噌汁ニハ西洋人ノ言フヤウナ特異ノ保健ニ效目ガアルカラダト思ヒマス、日本人ニハ味噌汁ハ缺クベカラザルモノデアルト思フ、之ヲ若シ此ノ統制法ノ中ニ入レズニ置キマシテ、味噌汁ト云フモノガ除外サレシマヘバ、味噌汁ハ從來ノ如ク味噌醬油ノ加工ヲ商ヒト

スル人ガ造ルコトニナツテ、其ノ外ニ自家用ノ爲ニ大豆ノ配給ヲ受ケテ味噌汁ヲ造ラナケレバナラスコトニナルノデアリマス、サウナツテ來ルト斯ウ云フ場合ガアルト思ヒマス、私ノ郡ナドハ山ノ中ノ小村バカリ揃ツテ居ル所デ、其ノ耕地ハ田ハ少シバカリデ、山畑ガ澤山ニアルノデアリマスガ、ソコデ皆小作人ニハ豆ヲ蒔カシテソレヲ小作料ニ取ルノデアリマスカラ、大キナ村ノ大地主ニナリマス、豆ヲ十俵トカ、百俵トカラ小作ニ上ゲル人ガ澤山居ルノデアリマス、ソレナ譯デアアルノガ、若シ此ノ統制ガナツタ場合ヲ考ヘテ見マス、或ル商人ガ皆其ノ大豆ヲ買集メテシマフヤウナコトニナリマス、味噌汁ト云フモノハ畢竟農村ノ人、山村ノ人達ニ之ヲヤルコトガ出來ナクナツテシマフト、國民保健ノ上ニ大變ナ關係ヲ及ボスコトデアルト思フノデアリマス、東亞共榮團ノ戰爭ハ、陛下ノ御稜威ト陸海軍ノ勇武ニ依リマシテ、只今マデ大變ナ戰果ヲ擧ゲテ居ルノハ、吾々ノ御同慶ニ堪ヘヌ所デアリマス、之ヲ能ク考ヘテ見ルト、米國ト言ヒ英國ト言ヒ、長期戰ノ企テヲシテ長イ間ニ日本ヲシテ屈服セシムルト云フ方法ヲ執ルコトニナルデアラウト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、其ノ時ニ於テ國民ノ保健ガ以前ト違ツテ、常食ノ洵ニ世話ノナキ味噌汁ヲ食ベナイデ居ルト、保健ニ關係ヲ及ボシテ、國民ノ體力保健等ガ從來ノ如クデナイト云フト、是ハ重大事件デアルト思フノデアリマス、是ハ農林ニ關セザルコトデアリマスルガ、サウ云フ意味カラ昔五穀ト稱シタモノデアリマスカラ、米、麥、小麥、稗麥、大豆、斯ウ五種ニシテ此ノ食糧管理法ノ中ニ加ヘテ御置キニナ

味噌汁ト云フモノガ除外サレシマヘバ、味噌汁ハ從來ノ如ク味噌醬油ノ加工ヲ商ヒトスル人ガ造ルコトニナツテ、其ノ外ニ自家用ノ爲ニ大豆ノ配給ヲ受ケテ味噌汁ヲ造ラナケレバナラスコトニナルノデアリマス、サウナツテ來ルト斯ウ云フ場合ガアルト思ヒマス、私ノ郡ナドハ山ノ中ノ小村バカリ揃ツテ居ル所デ、其ノ耕地ハ田ハ少シバカリデ、山畑ガ澤山ニアルノデアリマスガ、ソコデ皆小作人ニハ豆ヲ蒔カシテソレヲ小作料ニ取ルノデアリマスカラ、大キナ村ノ大地主ニナリマス、豆ヲ十俵トカ、百俵トカラ小作ニ上ゲル人ガ澤山居ルノデアリマス、ソレナ譯デアアルノガ、若シ此ノ統制ガナツタ場合ヲ考ヘテ見マス、或ル商人ガ皆其ノ大豆ヲ買集メテシマフヤウナコトニナリマス、味噌汁ト云フモノハ畢竟農村ノ人、山村ノ人達ニ之ヲヤルコトガ出來ナクナツテシマフト、國民保健ノ上ニ大變ナ關係ヲ及ボスコトデアルト思フノデアリマス、東亞共榮團ノ戰爭ハ、陛下ノ御稜威ト陸海軍ノ勇武ニ依リマシテ、只今マデ大變ナ戰果ヲ擧ゲテ居ルノハ、吾々ノ御同慶ニ堪ヘヌ所デアリマス、之ヲ能ク考ヘテ見ルト、米國ト言ヒ英國ト言ヒ、長期戰ノ企テヲシテ長イ間ニ日本ヲシテ屈服セシムルト云フ方法ヲ執ルコトニナルデアラウト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、其ノ時ニ於テ國民ノ保健ガ以前ト違ツテ、常食ノ洵ニ世話ノナキ味噌汁ヲ食ベナイデ居ルト、保健ニ關係ヲ及ボシテ、國民ノ體力保健等ガ從來ノ如クデナイト云フト、是ハ重大事件デアルト思フノデアリマス、是ハ農林ニ關セザルコトデアリマスルガ、サウ云フ意味カラ昔五穀ト稱シタモノデアリマスカラ、米、麥、小麥、稗麥、大豆、斯ウ五種ニシテ此ノ食糧管理法ノ中ニ加ヘテ御置キニナ

ル方ガ適切デハナカラウカト私ハ思フノデ  
アリマス、私病氣デ缺席シテ居リマシテ、  
今日初メテ出テ來マシテ此ノ案ヲ拜見スル  
ト、ソレガ入ツテ居ナイノデアリマス、居  
ナケレバ何カ別ニ其ノ點ニ付テノ政府ノ御  
見解ガアリマシテ、之ヲ御入レニナラナカ  
ツタノデアルカドウカト云フコトヲ一ツ承  
リタイト思ツテ、此ノ味噌汁ノ效能ヲ會テ  
讀ンダ米人ノ觀光記ノ中、ソレカラ歸還軍  
人ノ味噌汁ヲ欲スル所ノ心持ト色々ノ事カ  
ラ、豆ト云フモノハ此ノ食糧管理ノ中ニ入  
レテ置イテモ差支ヘナイコトデアリマシテ、  
カト、誰シモ考ヘルコトデアルト思フノデ  
アリマス、此ノ點ヲ御質問致シマス

○三浦政府委員 只今北原サンカラ大豆ノ  
重要性ニ付テ候、御意見ノ次第モアツタノデ  
アリマスガ、大豆ニ付キマシテハ實ハ非常  
ニ之ヲ重大ニ考ヘテ居リマシテ、國內ノ生  
産ハ御承知ノ通り少イノデ其ノ大部分ハ滿  
洲カラ輸入ヲ仰イデ居ル狀況デアリマス、  
而モ事變當時ニ比ベマスルト段々經濟ノ事  
情モ變リマシテ、滿洲カラ入りマシテモ  
豫想通りニハ入ツテ參リマセヌ、是ハ物資  
動員計畫デヤツテ居ルノデアリマスガ、其  
ノ需要量モ相當多クナツテ居ルモノデアリ  
マスカラ、ソレヲ要望シテ熱心ニ關係廳ト  
モ連絡致シマスルシ、一昨年ニハ現農林大  
臣モオイデナリ、昨年ノ秋ハ私モ實ハ滿  
洲等ニ此ノ問題ヲ中心ニ色々御懇談ヲ申上  
ゲル爲ニ參ツタヤウナ狀況デアリマス、併  
シナガラ日本デ希望スルヤウナ大量ノモノ  
ヲ中々取得出來ナイト云フコトハ遺憾デゴ  
ザイマスルガ、併シ政府トシマシテハ、滿  
洲カラ大量ノ大豆ヲ取ルコトニ付テハ十二  
分ニ今盡力シテ居ル次第デアリマス、デア

リマスルカラ、國內ノ大豆ト滿洲カラ輸入  
シマスル大豆ヲ合ハセマシテ味噌醬油ノ原  
料ニ充テ、更ニ油脂ノ原料ニモ充テ、更  
ニ又豆腐デアルトカ、其ノ他加工食糧ニ事  
缺カヌヤウニ致シタイト考ヘテ居ル譯デア  
リマス、此ノ大豆ヲ食糧管理法ノ主要食糧  
ニ入レルカドウカト云フ問題デアリマスル  
ガ、差當リ是ハ入レテ居リマセヌノデアリ  
マス、ト申シマスルノハ、大豆ニ付キマシテ  
ハ別ニ總動員法ノ規定ニ依リマシテ、大豆  
統制規則等モアリマスルシ、ソレカラ之ヲ  
管理統制致シマスル機構モ備ハツテ居リマ  
スノデ、ソレデ輸入スル大豆ヲ統制スルト  
同時ニ、又國內ノ大豆ニ付キマシテモ、其  
ノ統制機構ガ出來テ居リマスノデ、ソツチ  
ノ方面デ併セテ運營ノ十全ヲ期スルト云フ  
コトニ進ンデ居リマス、差當リコツチノ方  
ニハ入レテ居リマセヌ、併シナガラ大豆ニ  
付キマシテハ、決シテ輕視シテ居リマセヌ、  
大切ナ物資トシテ考ヘ且ツ此ノ方面ニ對ス  
ル施策ヲ十分致シテ居リマスコトハ、只今  
申上ゲタ通りデゴザイマスカラ、事情御諒  
承願ヒタイト思ヒマス

○北原委員 統制法ニ依ルト云フノデナ  
ク、總動員法デ既ニ出來テ居ルカラト云フ  
御話ハ御尤モデゴザイマスガ、併シ是ハ入  
レテ置イタ方ガ宜クハナイカト云フ御考ヘ  
ハアリマセヌカ

○三浦(一)政府委員 大豆ハ直接食糧ニ供  
スルヨリモ先ヅ加工原料、即チ油脂原料デ  
アルトカ、ソレカラ味噌、醬油、豆腐ト云  
フヤウナ加工原料ニナツテ居ルモノデアリ  
マス、現在ノ用途カラ見テモソシナ狀況デ  
アルシ、將又今申上ゲタ通り別途ニモ統制  
シテ居リマスカラ 暫ク現狀ノ統制ノ儘デ

進ミタイト考ヘマス、但シ必要ガアレバイ  
ツ何時デモ擴大シ得ル法制ニハナツテ居リ  
マシテ、北原委員ノ御指摘ニナルヤウニ緊  
切ナ必要ガアレバ又考ヘ得ル餘地モアル譯  
デアリマス、只今ノ所運用方針トシテハ、  
私今説明シマシタヤウナコトデヤツテ參リ  
タイト考ヘテ居リマス

○北原委員 御尤モ伺ヒマス、是ハアナ  
タノ方ノ御領分デナク、厚生省アタリデ考  
ヘルベキコトト思ヒマスガ、將來長期戰ニ  
互ツテ國民ガ一人デモ不健康ナモノノナイ  
ヤウニスルニハ、平常ノ食物ニアルト思ヒ  
マスカラ、斯ウ云フコトガ善イト思召シタ  
ヲ御考ヘガアツテ然ルベキダト思フノデア  
リマス、要スルニ長期戰ニ互ル國家ノ大國  
難デアリマシテ、萬事萬端總テノ上ニ萬全  
ヲ盡サネバナラヌ時代デアルト思ツテ申上  
ゲタ譯デアリマスカラ、是ハ委員長ニ於テ  
モ能ク御考ヘ置キテ願ヒタイト思ヒマス、  
私ハ是デ止メマス

○三浦(二)政府委員 大豆ヲ非常ニ重大ニ  
考ヘテ居リマスコトハ御説ノ通りデアリマ  
ス、而シテ之ヲ確保スルニ付キマシテモ、  
一生懸命ニナツテ居リマシテ、決シテ農林  
省デハ之ヲ輕視シテハ居リマセヌ、國民ノ  
保健衛生上カラ見マシテモ、又其ノ他ノ加  
工原料トシテモ重大デアリマスカラ、其ノ  
點ハ決シテ異存ハナイノデアリマス、唯大  
豆ノ統制ニ付キマシテハ從前ノ施設モアル  
ノデ、ソレヲ強化シテ參リタイト云フ譯デ  
アリマスカラ、誤解ノナイヤウニ一ツ御諒  
承願ヒタイト思ヒマス

ガ國民衛生上トシテ影響ヲ及ボスカト云フ  
コトハ私ニハ分リマセヌガ、兎モ角北原君  
ガ説明サレタ通り、味噌、醬油ガ國民保健  
ノ上ニ極メテ必要デアルト云フコトハ分リ  
マス、私ガ要求シテ戴イタモノニ依リマス  
ト、東京カラ愛知ヲ一地域ト見、大阪、京  
都、兵庫ヲ一地域ト見テアツテ、大體二  
割程度減ラスト言フノデスガ、二割程度減  
ラシテソレガ爲ニ大豆ノ供給量ハドレダケ  
減ツタカト伺ツタラ、ソレハ答ヘガナイ、  
私共ナゼサウ云フコトヲ伺ツタカト云フ  
ト、斯ウ云フ國民保健上必要ナ大豆ガ少ナ  
クテ味噌、醬油ノ分量ヲ減ラサナケレバナ  
ラスト云フナラバ、何トカ内地デ大豆ヲ増  
ス方法ヲ考ヘタラドウカト私ハ考ヘルノデ  
ス、是ハ絶對出來ナイ問題デアリナイノデス、  
ソレデ一體ニ割減ラサナイデ味噌、醬油ヲ  
從來通り國民ノ必要ナダケ與ヘルニハ、現  
在大豆ガ何万石位アレバ宜イノカト伺ツタ  
ラ、是モ何ノコトガカ曖昧デ分ラス、私モ  
ヤハリ北原サント同ジ考ヘ方ヲ持ツテ居ル  
ノデスガ、何モ味噌、醬油マデ減ラサヌデ  
モ宜イデハナイカト言フト、イヤ滿洲デモ  
思フ程買ヘナイト仰シヤル、然ラバ内地デ  
作ツタラ宜イ、ヨク規正々々ト言フケレド  
モ、規正ト云フコトハ一方ニ品物が偏在ス  
ルカラ、之ヲ萬遍ナク行渡ルヤウニスルノ  
ガ宜イト私ハ思フ、併シナガラ全般ヲ通ジ  
テ味噌醬油ヲ減ラシテ、國民ガ思フヤウニ  
味噌汁モ吸フコトガ出來ナイト云フノハ何  
トシテモ堪ヘ難イコトダト思フノニ、主要  
都市ハ二割減ラストコトヲオヤリニナツタ、  
此ノコトハ國民保健上差支ヘナイノデス  
カ、是ハ又明日厚生省ノ人ニ出テ貰ツテ、  
味噌、醬油ヲ此ノ程度減ラシテ國民保健上

差支ヘナイト思ツテ居ラレカドウカ伺ヒ  
タイノデス、ソレトモ農林省ハ厚生省ニ對  
シテ國民生活上必要ナ味噌、醬油ヲ減ラス  
コトニ付テ同意ヲ得ラレタノデアルカ、同  
意ヲ得ラレタノナラ厚生省ノ方ノ出席ハ求  
メマセヌガ、若シ同意ヲ得ナイト云フコト  
ナラバ、私ハ明日此處ヘ厚生省ノ人ニ出席  
シテ貰ツテ、二割程度ニ味噌醬油ノ分量ヲ  
減ラシテモ國民保健衛生上差支ヘナイト云  
フ理由ヲ伺ヒタイ

○三浦(一)政府委員 今ノ高田サンノ御質  
問ハ、豫算總會大臣ニ御質問ガアリマシ  
テ、ソレニ對シテ大臣カラ御答ヘガアリマ  
シタ、同時ニ其ノ際、此ノ程度ノ規正デハ  
國民保健衛生上下ウカト云フコトニ付テ、  
厚生大臣モ農林大臣ノ答辯ノヤウニ、其ノ  
程度ナラバ差支ヘナイト思フト云フコトヲ  
御答ヘニナツテ居リマス、同時ニ又吾々ト  
シテモ、是ハ前年程度ノ供給量デゴザイマ  
スカラ、國民保健衛生上サシタル影響ハナ  
イト考ヘテ居リマス、問題ハ大豆デアリマ  
スガ、吾々ハ之ヲ二ツニ考ヘテ居リマス、  
第一點ハ何ト云ヒマシテモ滿洲カラ仰グ、  
第二點ハ國內ノ生産ヲ確保シテ參ル、斯ウ  
云フコトデ行ツテ居ル譯デアリマス、唯事  
變前ニハ七十萬トシテガ輸入量トシテ一番  
大キカツタノデアリマス、所ガ吾々ハソレ  
ダケデハ満足出來ナイト云フノデ、滿洲ニ  
色々話合ヲ進メテ、モツト輸入量ヲ確保シ  
タイト云フノデ努力シタノガ過去ノ經緯デ  
アリマス、所ガ中々コツチノ方ノ要望通り  
ハ入ツテ來ナイ、寧ロ一昨年アタリカラハ、  
事變前ニ内地ニ輸入シタ程度ヲ切ルコトサ  
ヘアルモノデスカラ、非常ニ心配シテ、一  
層輸入ノ確保ニ努力シテ居ル譯デアリマス、

ソコデナゼ今度ノ規正ヲ致シタカト云ヒマ  
スト、一昨年來ノサウ云フ風ナ滿洲大豆ノ  
輸入ノ減退ガ生産ニ響イテ參ツタノデアリ  
マス、其ノ儘デ推移シマスト加工用、詰リ  
工業用トシテヤツテ居リマス方面ノ味噌醬  
油ノ事情カラ考ヘマシテ、物資ノ偏在ガア  
ツテハイカス、各方面ノ事情ヲ見マシテ、  
各、供給量ノ基準ヲ決メタノデアリマスガ、  
ソレサハ確保シ得ナイヤウデハ尙ホイケン  
イト云フコトデ、其ノ事態ノ生ジナイ前ニ  
配給統制ヲシテ參リタイ、斯ウ考ヘテ參ツ  
タノデアリマス、吾々ハ決シテ國民ニ食ベ  
ルモノヲ食ベサセズ、飲ムモノヲ飲マセナ  
イト云フ風ナ心構ハナイ譯デアリマス、唯  
支那事變以來日本ノ産業經濟ニ及ボシタ影  
響ガ相當深刻ナモノデアリマスカラ、此ノ  
際經濟ノ統制ヲシテ凌イデ行クト云フコト  
ニセザルヲ得ナイ、デアリマスカラ御指摘  
ノ點洵ニ吾々トシテハ傾聴モ致シテ施策ニ  
ハ十全ヲ期シマスケレドモ、事情已ムヲ  
得ナイ點ハ御諒承ヲ願ハナケレバナラナイ  
ト思フノデアリマス

○高田委員 只今ノ御話デハ、豫算總會カ  
何處カデ厚生大臣ガ差支ヘナイト云フコト  
ヲ言ツタサウデアリマスガ、ドウ云フ理由  
デ差支ヘナイノデアリマスカ、唯差支ヘナ  
イデハ私ハ安心出來ナイ、日本人ノ衛生ヲ  
保持スル上ニハ何ガ幾ラ、何ガ幾ラ要ルノ  
ダ、ガカラ二割減ラシテモ差支ヘナイト云  
フ根據ガナケレバナラス、唯厚生大臣ガ差  
支ヘナイト云フダケデハイケンナイ、厚生大  
臣ダツテ神様デヤナイカラ知ルモノデヤナ  
イ、相當ノ學者、専門家ガ研究シテ、日本  
人ノ生活ヲ維持スル上ニハ何ガ幾ラ、何ガ  
幾ラナケレバナラス、味噌醬油ハ餘計食ツ

テ居ツタカラ減ラシテモ構ハヌト云フノナ  
ラ宜イガ、唯厚生大臣ガ差支ヘナイト云ウ  
タカラト云フノデヤイケンナイ、所デ私ハ生  
産ノ方面カラ考ヘル、統制ガ惡イトハ私ハ  
申シマセヌ、統制ハ宜イ、國民全般ニ對シ  
テ一率ニ味噌醬油ノ規正ヲヤルヤウニスル  
ノハ結構デアリマス、統制ハ宜イガ、配給  
量ヲ減ラサヌデモ宜イデヤナイカ、從來味  
噌醬油ヲ食ツタダケハ食ハシタラ宜イデヤ  
ナイカ、アナタハ大豆ガナイト云フガ、大  
豆ヲ作ラセタラ宜イデヤナイカ、私ノ考ヘ  
デハ、成程ソレハ米麥モ必要デアルガ、見  
様ニ依ツテハ寧ロ大豆、味噌醬油ノ方ガ必  
要ダト云フコトニナリハセヌカ、サウシタ  
ラ陸稻ヲ減ストカ、或ハ又甘藷ヲ減ラシテ  
モ宜イデハナイカ、東北ナラ馬鈴薯ヲ減ラ  
シテモ宜イ、サウシテ大豆ヲ作ラシタ方ガ、  
國民ノ保健衛生上宜イデハナイカ、理窟ハ  
簡單デス、申セバサウ云フコトニナル、私  
ハサウ思フ、之ヲ全般ニ及ボスナラバ別ダ  
ガ、六大都市ダケニ割減ラシタ、減スニ付  
テハ、内地デ大豆ヲドノ位増産スレバ、今  
日國民ニ必要ナル味噌醬油ガ確保出來ルト  
云フ調ベガナケレバナラス、ソレハ二十萬  
石カ、三十萬石カ、五十萬石カ、假リニ二  
十萬石足りナイトスレバ、ドウスレバ宜イ  
カト云フコトニナルト、私ノ見様ニ依ツテ  
ハ、馬鈴薯、甘藷モ減ラシテ宜イ、陸稻モ  
減ラシテ宜イ、サウシテ大豆ノ必要量ダケ  
ハ確保シテ、味噌醬油ダケハ必要ナダケ食  
ハセル方ガ宜イデハナイカ、此ノ調ベニ依  
ルト、味噌醬油ヲ無駄ニスルト云フヤウナ  
コトモアツタガ、ソレハ多少棄テル人モア  
ルカモ知レヌガ、味噌醬油ハ餘リ無駄ニシ  
マセヌネ、兎ニ角ココマデ行ツテハ、厚生

大臣ハ差支ヘナイト云フタト云フケレド  
モ、私ニハ信ジラレナイ、私ハ六六九ダハト  
テモ足りマセヌ、私ハ六六九ノ倍モ要ル、東  
京、大阪ノ都會人ハ味噌ナンカ食フノガ少  
イガ、田舎カラ出テ東京ニ居ル人ニハ是デ  
ハ足りマセヌ、私ハ斯ウ言フノデスヨ、大  
豆ガ何十萬石アレバ宜イカ、ドウシテモ滿  
洲カラ來ナイナラ、仕方ガナイカラ他ノ作  
物ヲ犧牲ニシテモ今年ノ夏作ノ大豆ヲ殖ヤ  
シタラ宜イデハナイカ、サウスレバ出來ル  
デハナイカト思フ、寒イ方デハ馬鈴薯、暑  
イ所デハ甘藷、尙ホ陸稻ナドモ減ラシテ、  
此ノ必要ナ大豆ヲ供給シテ、味噌醬油ダケ  
ハ國民ノ食ヒタイダケ供給スルト云フコト  
ガ出來ナイモノデセウカ、ソレハ勿論御研  
究ニナツタノデセウガ、御研究ニナラヌデ、  
唯内地デ大豆ハ増産出來ナイト云フノデハ  
困ルノデス、内地デハモウドウシテモ大豆  
ノ増産ハ出來ナイノデスカ、之ヲ伺ヒマス

○三浦(一)政府委員 大豆ノ問題ハ從前ハ  
結局内地デ生産スルモノト朝鮮、滿洲カラ  
入ツタモノトデ大體ノ需要ヲ立テテ居ツタ  
ノデアリマスカラ滿洲ニ對スル方策モ勿論  
考ヘナケレバナラス、國內ノ方ヲ研究シナ  
イデ抛ツタラカシテ居ルノデハナイカト云  
フコトデアリマスガ、私達ハサウデハゴザ  
イマセヌ、昨年ノ増産對策ニ引續イテ、滿  
洲ニモサウ澤山ノ期待ハ出來ヌ、事變前ニ  
供給出來タモノ以上ニ欲シイト云ツテモ中  
出來ナイ、サスレバ國內ニ於テ増産シナ  
ケレバナラスカラ、今年度ノ豫算ニ於テモ  
大豆ノ増産計畫ハ立テテ居リマス、隨テ大  
豆ヲ原料トスル味噌醬油ヲ減ラシテ食ハセ  
ヨウト云フ考ヘハアリマセヌ、隨テ滿洲カ  
ラノ輸入期待額ガ増加シ、國內生産ガ高マ

ラノ輸入期待額ガ増加シ、國內生産ガ高マ



ツテ來レバ、御説ノ通り從前ニ増シタ程食ハセタイト云フ念願ヲ持ツテ居リマス、隨テ此ノ原料關係、生産關係ハ相當ニ研究シテ對策ハ立テテ居リマスグレドモ、鬼ニ角今年配味味噌油ハ、前年ノ生産減退カラ來テ居ルノデアリマスカラ、其ノ方面モヤハリ考ヘナケレバナラヌト云フノデアリマシテ、唯單ニ消費規正バカリシテ、國民ニ食ハセナイト云フ方策バカリデハナク、一面ニ於テ増産對策ヲ立テテ居ルコトハ此ノ際ハツキリ申上ゲテ置キマス

○高田委員 増産對策ハ宜シイガ、二割程度規正シタト云フコトデアルガ、東京ガ六

如ト云フノハドウ云フ所カラ來テ居ルカ、ソコデ之ヲ元通りニ供給ヲ完ウセントスルナラバ何石増産ヲスレバ宜シイカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイ、何十万石大豆ガアレバコンナコトヲセズデ済ムノデス、是等ガナケレバ十分ナ増産ハ出來ナイ、増産計畫ト云ツツテ何程ノ増産計畫ヲスル考ヘデア

何ヨリモ味噌醬油デアル、幾ラ大豆ノ内地生産スレバ宜イカ、何カ他ノ作物ヲ犧牲ニシテ大豆ノ増産ヲ圖ル必要ガアルト思フカラ質問ヲシテ居ルノデス、幾ラ程大豆ガ内地生産出來レバ消費ノ規正ヲシナイデ済ムノデアリマスカ

○三浦(一)政府委員 此ノ點ハ實ハ資料ノ御提出モアツタノデスガ、此ノ資料ノ性質上出セヌモノデスカラ、明日適當ニ機會ニ

說明申上ゲルコトダツタノデス、隨テ今日ハ全貌ニハ觸レテ申上ゲ兼ネマス、但シ現在ノ計畫ソレデハ何ボ位豆ガ是レ以上アツタラ、從前ノ自由經濟時代ノヤウニ、農家ノ方デモ自家用ヲツツリ造リ、又業界ノ方デモツツリ造ツタ程度ニナルカ、即チ其ノ推定量ニ付テハ色々意見ガアリマスカ、大體從前ノ最大ノ生産量ト云ヒマスカ、供給量ヲ見タノデアリマスカ、其ノ程度マデ達スルニハドレ程豆ガアレバ宜イノカ、斯ウ云フコトデアリマス、今ノ所推定デハ大體十七万「トン」百二十万石程度デアリマス、隨テ十七万「トン」程度デ只今ノ所滿洲等ニ話シテ居ル物資動員計畫ノ外ニ、其ノ程度ノ輸入ガ確保出來レバ、是ハ從前通り何モ規正セズニ謂所腹「パイ」食ベラレルト云フコトニナリマスカレドモ、併シ先程來申上

マスガ、是ハ不確カダト云フト不確カデアリマス、ト云フノハ是ハ十全ノ調査デハアリマセヌ、全く推定デアリマス、唯推定デアリマスカラ業界方面ノ意見、ソレカラ又自家用ノ製造ノ計算ハ是亦或ル推定ノ條件ヲ置イテ居リマスカラ、是ハ正シイト云フコトヲ言ヘト云フト實ハ是ハ正シイカドウカ甚ダ自信ハ持テマセヌ、隨テ多過ギテ居ルカモ知レマセヌ、併シ計畫スル上ニハ少ク見ルヨリハタツツリ見テ居ル方ガ宜イト云フ關係カラ、其ノ程度ヲ抑ヘタノデアリマス、左様ナ事情デアリマス

○高田委員 成程是ハ實際言フト面倒ナコトニハ違ヒナイガ、サウスルト十七万「ト

ン」ダケ滿洲カラ輸入スルカ、或ハ内地デ生産スレバ味噌醬油ノ消費ヲ壓縮シナイデモ宜イ、斯ウ云フ意味デアリマスカ

○三浦(一)政府委員 マア左様デアリマス

○高田委員 私モ數量ニ付テハ何處カラ割

出シテ宜イカ分ラヌカラ、非常ニムヅカシイケレドモ、去年アタリデシタカ味噌屋ノ連中ガ豆ガ足ラナイ足ラナイト云フテ要求シタノデス、所ガアトデ聞クト皆掛値ヲシタト云フコトデアル、ソレデ餘計出來テ居ルト云フコトサヘルカラ、アナタ方商人ヲ相手ニヤツテ居ラレルカラ、其ノ點ハ御察シシマスカ、何カ併シ當テガナケレバ困ル、要スルニ私ノ言フノハ何デモカンデモ味噌醬油ノ消費規正ハ惡イト言フノデハナイ、併シ六匁デハ足リマセヌヨ、アナタ方ハ澤山デスカ、私共麥飯ニ味噌汁ガケノ者ニハ足ラナイ、私ハ十五匁要リマス、所デ六匁デ間合ハセロト云フカラ中々安心出來ナイ、厚生大臣ハ豫算總會カ何處カデ六匁デ宜イト言ツタノデスカ、言ツタトスレバ

ドウシテ宜イカ、理窟ヲ聽キマス、ソナコトヲ輕々シク言ツテハイカヌト思ヒマス、ソナコトヲ言ツタノデスカ、速記録ニアリマスカ

○三浦(一)政府委員 厚生大臣ノ御答ヘラ

私カラ代ツテ申上ゲル譯ニハ行キマセヌケレドモ、是ハ速記録デ御覽下サレバ宜イノデスガ、此ノ程度ノ消費規正ハ已ムヲ得マイト云フヤウナ御話デゴザイマシタ、隨テ其ノ六匁トカ九匁トカ云フモノハ一ツノ標準デアリマス、勿論標準ガ多イニ越シタコトハナイノデアリマスカラ、ソレニ御意見ガアルト思ヒマス、ト同時ニ六匁九匁ト云フノハ地方別ノ一應ノ標準デアリマシテ、今後ノ大豆ノ輸入ノ狀況ニ依ツテハ是ハ緩和シ得ルト思ヒマス、ダカラ決シテ六匁、九匁ニ膠着シテ味噌モ祇マサセヌト云フコトハナイ、是ハ先刻カラ繰返シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ又國民ノ保健衛生モ、何時デモ吾々ガ非難ヲ蒙ツテ居ルノデスガ、水産物デアルトカ、鶏卵デアルトカ、或ハ肉デアルトカ、更ニ油ト云フモノヲ綜合シテ國民ノ榮養ト云フモノハ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、ケレドモ思フ通りニナリマセヌモノデスカラ、皆様カラ御指摘ニナツテ、吾々改善ニ努力シテ居ル譯デスガ、這般ノ事情モ考慮シタ上デ國民ノ榮養問題ハ解決シナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居リマス、決シテ厚生省ニ責任ヲ轉嫁スル譯デハアリマセヌ、ノミナラズ吾々ガ之ヲ確保シテコソ國民ニ對スル責任ヲ果スモノト思ツテ居リマスコトハ信念上變リゴザイマセヌカラ、其ノ點ハ一ツ誤解ナカラシヤウニ願ヒマス

○三善委員長 只今大分大豆ノ點デ質疑應

答ガアリマシタガ、味噌醬油ノ原料トナル大豆ガ國民大衆ノ保健衛生ノ上ニ重大ナル影響ヲ持チマスコトハ申スマデモナイコトデアリマシテ、此ノ點ニ對シテ高田君ハ特ニ憂慮サレタ結果御質疑ガアツタト思ヒマス、只今農林次官ノ御説明ニ依リマスレバ、十七万トシノ程度滿洲カラ多ク入ツテ來レバ、前年同様ノ味噌醬油ヲ確保スルコトガ出來ルト云フ御意見デアリマシタガ、高田君ノ先程ノ御質問ハ、從來通りニ味噌醬油ヲ確保スル爲ニハ大豆ガドレダケアツタラ宜シイカ、其ノ大豆ヲ或ハ生産或ハ輸入ト云フ方面カラ確保セナケレバナラスノデア

ナク、全國的ダト思ヒマスガ、朝モ晝モ晩モ味噌汁ヲ命ヲ繫イデ居ル、外ニ副食物ガナイ、若シモ晝間辭當ヲ持ツテ稼ギニ行ク時ニハ辨當ノ上ニ味噌ニオ新香ヲ添ヘテ持ツテ行ク、デスカラ六匁バカリノ味噌ハ一嘗メデス、コンナコトデハ百姓ハドウスルコトモ出來ナイト思ヒマス、月百八十匁デスカラ一日六匁デスガ、若シ三度々味噌汁ヲ食ツタラ一回タツタ二匁デ、本當ニ藥ノヤウナモノデ、コンナコトデハ百姓ハ生

ニ責任ヲ負ハシテ自作農ヲ作ル、元ハサウデナカツタノデアリマスガ、近來サウ云フ制度ヲ執リマシテ、各町村ニ金ヲ貸シテ、町村ガ土地ヲ擔保ニ取ルト云フ形式ノ下ニ金ヲ貸スモンデスカラ、其ノ町村ガ厭ヤガ

考慮ヲ願ヒタイト思ヒマスルガ、此ノ點ニ付テ御聽キ致シタイト思ヒマス  
ソレカラ今一ツハ、此ノ間カラ麥ノ價格ニ付テハ近キ將來ニ於テ考慮シテ見ルト云フコトヲ大臣ガ明言サレテ居ル、所ガ此ノ價格問題デスガ、一月ニ入りマシテカラ大藏省ノ專賣局ノ方カラ、煙草ノ耕作地ニ出掛ケテ參リマシテ、本年ハ三割乃至三割五分煙草ノ値段ヲ上ガル積リダカラ、皆精ヲ出シテ煙草ヲ作ル準備ヲシテ貰ヒタイト觸レテ來タ、マダ種モ播カナイ前ニ前觸レシテ來マシタガ、中々大藏省ハ早イ、ケレドモ今麥ヲ皆播イテ居ルカラ、成ベク急イデ之ヲ發表サレタイト云フコトガ一ツ、今一ツハ、大藏省ハ三割乃至四割ノ價格ヲ引上

ルガ、其ノ數量ニ對シテドレダケガ必要デア

モウ一ツハ此ノ間聽キ洩シタノデアリマスガ、米ノ生産擴充ト云フ問題ニ付テ最モ必要ナモノハ農業保險ト自作農問題デアルト云フコトハ、此ノ間中カラ屢、問答セラレマシタガ、是ハ其ノ通りデアルト思ヒマス、農業保險ニ付テハ是ハ十分御研究下サイマシテ、最モ近キ將來ニ於テ日本ヲ統一シタ

テサウ云フ町村ガアルノデアリマス、責任ヲ負フノガ厭ヤダト云フコトデ、自作農問題ヲ取扱ハナイ、此ノ障礙ヲ一ツ排除スルコト、ソレカラ或ル地主ノ中ニハドウシテモ値段段折合ハナイトカ、色々ノ事由デ

方ノ釣合ヲ取ツテ戴キタイ、大藏省ハドソナ標準ニ依ツテ三割、四割上ガルカ分ラヌガ、一月中ニサウ云フ話ガアツタト云フコトハ確實デアリマス、此ノ價格ドウ云フ標準デ決メラレルカ分ラヌガ、サウ云フ價格ノ決メ方ト麥ノ價格ノ決メ方ト成ベク釣合ヲ取ツテ、或ル役所ノ決メ方ト或ル役所ノ決メ方ト餘リ違フコトハ面白クナイト思ヒマスカラ、サウ云フコトノナイヤウニ、

左様御承知ヲ願ヒマス——次ハ山田六郎君、アナタノ御質疑ハ多少留保セラレテアツタノガアリマスカラ、其ノ御積リデ願ヒマス

思ヒマス、コンナ物價ノ高イ時代ニコンナ制限サレタ價格デハ地主ハ自作農ノ爲ニ土地ヲ賣リタイケレドモ、ドウシテモ賣レナイ、是ガ最近ニ於ケル自作農ノ申請ガ少ク

ルコトガ出來ナイ爲ニ話ガ纏マラスト云フ例ガ澤山アリマスカラ、之ニ對シテ強制力ヲ持タセル方法ガナイカト云フコトデアリマス、何等カノ方法ニ依ツテ強制力ヲ持タセルルコトガ出來ナイカ、例ヘバ農地委員會等

農家ヲ或ル程度引上ゲテ行ク、此ノ問題ヲ昨年中私共力ヲ入レマシテヤリマシタガ、ドウモ是ハ頭ガ低位ダカラ收穫モ低位ダト云フコトニナツテ來ル、色々世話シテ見テモ中々成績ガ擧ガラス、或ルモノハ擧ガ

○山田(六)委員 今味噌醬油ノ話ガ出マシ

故ニ此ノ點ニ付テ何等カノ御配慮ヲ御願ヒシタイト云フコトガ一ツ、ソレカラ各町村

コニ實行ニ移サレル方法ガナイカト云フ問題デアリマス、サウ云フ方法ニ付テ何カ御

何等カノ方法ニ依ツテ一方ノ精農者ニ耕作

指揮權ヲ與ヘルト云フヤウナコトヲ今年ヤ  
ツテ見ヨウト云フ計畫ガ私共ノ方ニアル、  
之ニ對シテ半強制的ニヤリタイト云フノデ  
アリマシガ、現在ノ法規ノ下デサウ云フコ  
トヲ行フ方法ガアルカドウカ、何方決議ニ  
依ルトカ、或ハ農會法ニデモ依ツテ農作物  
ノ種類ヲ命令スルヤウナコトガ出來ナイカ、  
耕作者其ノモノニ任シテ居ツクノハ相  
變ラズ低位デ成績ガ學ガラスカラ、此ノ耕  
作權ヲコツチヘ任セロ、來テ働クノハオ前  
達ダ、此ノ畑、此ノ田、ソレハコトヲ  
指揮命令通り悉ク、植エルコトモ除草ノ  
コトモ、整理ノコトモ、一切命令通りニ  
ヤレト云フコトニシテ、精農者ノ間ニ支  
配サシテソレヲ作ルト云フコトニシタナ  
ラバ、此ノ低位ノ連中ガ相當ノ成績ヲ見ル  
ノデハナイカト思フノデスガ、今ノ所、農會  
ノ方カラ種類ヲ命令スルコトガ出來ル、  
反別ニ付テモ命令スルコトガ出來ル、是  
ハ農會ノ決議デ出來マセウ、作付ノ統制  
モ出來ルト思フノデスガ、サウ云フコトガ  
出來ルカドウカト云フ問題デス、今一ツ御  
聽キシタイノハ米ノ價格ノ問題デスガ、今  
度ノハ買入ノ價格ト賣渡ノ價格ト違フ、買  
入ノ價格ハ生産費、物價指數、經濟情勢ニ  
依ツテ決メルト云フコトデアリマシタシ、  
賣渡ノ方ハソレニ家計費ガ入ツテ居ルト云  
フ違ヒガアルノデス、此ノ間ノ御説明デド  
ナタノ中ニデシカ、ソコニ利潤モ加ヘルノ  
ダ、斯ウ云フ御話モアリマシタガ、是ハ法  
規ニサウ云フコトガナクテモ此ノ利潤ナル  
モノガ加ヘラレルカト云フコトガ一ツ、ソ  
レカラ今一ツハ、勅令事項ノ、當分ハ從前  
ノ例ニ依ル、斯ウ云フコトデアリマシタガ、  
此ノ當分ト云フコトハ一體ドウ云フコトデ

アリマセウカ、是ハ昭和十七年アタリハヤ  
ハリ是マデト同ジヤウナ現在ノ價格ヲ以テ  
ヤルト云フ意味ナノデセウカ、或ハマア五  
年ヤ三年ハ此ノ儘デ行クト云フ御意見デア  
リマセウカ、此ノ當分ト云フコト今度ノモ  
ノトノ違ヒデアリマス、サウシテ從前ノモ  
ノニ依ルト金利保管料等ヲ加ヘルト云フコ  
トニナツテ居リマスガ、今度ハ直接ニ政府  
ガ買入レテシマヒマスカラ保管料ハ要ラヌ  
コトハ當然デアリマスガ、今ノ米價政策デ  
ハ、買入レタ價格、ソレニ補助金ヲ與ヘル、  
是等ヲ計算スルト消費者ノ方ノ價格ヨリモ  
政府ガ多ク出シテ居ル、コンナコトハ今年  
ハヤルケレドモ後ハヤラナイト云フヤウナ  
コトガ、此ノ當分ハ從前ノ例ニ依ルト云フ  
中ニ入ツテ居ルカドウカト云フコト、サウ  
ナツテ來ルト、今年ハ此ノ儘ニシテ行ツテ  
モ來年カラハ農會カラノ買入價格ト消費者  
ニ賣ル價格ト云フモノニ對シテハ現行法ヲ  
執ツテ、例ハバ四十五圓デ買ツタモノハ四  
十六圓トカ四十八圓ニ賣ルト云ツタ工合ニ  
ヤツテ行クカ、斯ウ云フ點ヲ政府ニ御尋ネ  
致シタイノデアリマス

○三浦(一)政府委員 山田サンノ御尋ネノ  
第一點ノ農村ニ於ケル自家用ノ味噌醬油、  
是ハ別ニ規正スル對象ニハナリマセヌ、先  
程何処ト云ヒマシタノハ、消費規正ヲ實施  
スル方面ニ對スル基準量デゴザイマスカラ  
左様御承知ヲ願ヒマス、第二番目ハ農業保  
險制度ヲ改善スルヤウニト云フ御意見デア  
ラウト思ヒマス、具體的ニハゴザイマセヌ  
デシタガ各方面カラモ色々ノ御意見ガ出テ  
居リマス、隨ヒマシテ慎重ニ研究シテ善處  
シタイト思ヒマス、ソレカラ第三番目ノ自  
作農創設ニ付キマシテハ、營團等モ活用シ

テ開墾シテ居リマスルガ、是等モ自作農ヲ  
創定スルト云フコトニ寄與シタイト思ヒマ  
ス、ソレカラ自作農ヲ創定サセルニ付テ農  
地價格ガ低過ギルカラ是ガ障礙ニナツテ居  
ル、斯ウ云フ御話デアリマスルガ、是亦農  
地ヲ無暗ト高クスルノデハ健全ナル自作農  
ノ創定ニハ適合シナイ譯デアリマスルシ、  
唯單ニ農地ヲ上ゲルト云フダケノ考ヘデハ  
イカスノデハナイカト考ヘマス、ソレカラ  
地主ニ對シテ農地ヲ賣レト云フヤウナコトハ、  
何方農地委員會ガ權限ヲ持ツヤウナコトハ  
ドウカト云フコトデゴザイマスカ、是ハ權  
力デ以テ委員會ニ強制力ヲ持タセルト云フ  
ヤウナコトハ考究ノ餘地ガ多クアラウト思  
ヒマス、ソレカラ大麥等ノ價格改訂ニ際シ  
テハ、煙草ノ値段ナドノ振合等ヲ能ク見テ  
ヤルヤウニト云フコトデゴザイマスカ、大  
麥等ニ付テハ大臣カラモ御話ガアリマシタ  
ヤウナ線ニ沿ヒマシテ研究致シマシタ譯デ  
アリマス、ソレカラ煙草ノ値段ヲドノ程度  
ニ上ゲルト云フコトヲ農民ニ示シテ居ルカ  
マダ具體的ニ聽イテ居リマセヌ、ソレ等モ  
十分ニ勘案シタイト考ヘマス

其ノ次ニ低位收穫農家ト云ヒマスカ、之  
ヲ向上サセル爲ニ、耕作ヲ全部委任サシテ  
指導者ノ指揮權デヤツタラドウカト云フコ  
トゴザイマスカ、是モ所謂權利義務ト云フ  
風ナ方法デハ中々イカスノデハナイカト思  
フノデアリマス、ト云フノハ、耕作者ヲ全  
部權力ヲ以テアアセイ、斯ウセイト云フ具  
體的ナコトニ付テ指導スルト云フノハドウ  
カト考ヘマスカ、地方ノ篤農家ナリ地方ノ  
指導者方ヲシテ能ク指導サセテ下スツタナ  
ラバ、今ノ山田サンノ仰シヤルヤウナ農家  
ノ向上ト云フコトハ期待出來ルノデハナイ  
カト考ヘマス

第六類第二號 米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會會議錄 第六回 昭和十七年一月二十九日

○湯河政府委員 米價ノ問題デ、今度ノ食  
糧管理法ニ於キマシテ、買入價格ト賣出價  
格トガ違フト云フ御質問デ、第一利潤ヲ加  
ヘルト云フコトヲ法律ニ書イテナクトモ出  
來ルノデアルカト云フヤウナ御質問デゴザ  
イマシタガ、是ハ生産費ノ計算ノ方式ノ問  
題デアリマス、此ノ間ノナタカノ御質疑  
ニ對シマシテ其ノコトヲ御答ヘ申上ガタノ  
ハ、過般ノ五十圓ノ米價ハ、米穀生産費ヲ  
勘案致シマシテ五十圓ノ價格ガ大體適當  
ト云フコトデ、米價是正ヲ致シマシタ時ニ、  
利潤ヲ加ヘタト云フコトヲ御説明シタノデ  
アリマシテ、今後ノ行キ方トシテモサウ云  
フ點ヲ考ヘテ行キタイト云フコトヲ申上ゲ  
タ次第デアリマス、是ハ別ニ法律ニ其ノコ  
トヲ書ク必要ハナイト思ツテ居リマス、尙  
ホ御手許ニ差上ゲマシタ勅令案要綱ノ中ニ、  
當分ハ從來ノ例ニ依ルト云フコトヲ書キ  
マシタ所以ハ、今朝程モ申上ゲマシタヤウ  
ニ、生産費ノ調査ハ、只今ノ生産費ハ實ハ  
將來豫想致シマシモノヨリモ辛イモノデ、  
之ヲ生産費トシテ取りマシテ經濟事情ヲ勘  
案スル等ノ處置ニ依リマシテヤツテ參ルト  
云フコトニナルノデアリマシテ、將來生産  
費調査等ヲ完成致シマシタ場合ニ正式ニ計  
算スルト云フ積リデゴザイマス、ソレカ  
ラ尙ホ御話ノ中ニ出テ居リマシタ一石五圓  
ノ獎勵金ヲ出シテヤル今ノ二重價格制度ト  
云フモノ、之ヲ近クヤメルヤウナ積リデ斯  
ウ云フコトガ書イテ居ルノカト云フ風ナ御  
指摘モゴザイマシタガ、此ノ點ハ農林大臣  
モ色々ノ機會ニ御話ノゴザイマシタヤウニ、  
只今ヤツテ居リマスル二重價格ハ、一方ニ  
生産費ノ關係ガゴザイマシ、他ノ一方ニ

カト考ヘマス

○湯河政府委員 米價ノ問題デ、今度ノ食  
糧管理法ニ於キマシテ、買入價格ト賣出價  
格トガ違フト云フ御質問デ、第一利潤ヲ加  
ヘルト云フコトヲ法律ニ書イテナクトモ出  
來ルノデアルカト云フヤウナ御質問デゴザ  
イマシタガ、是ハ生産費ノ計算ノ方式ノ問  
題デアリマス、此ノ間ノナタカノ御質疑  
ニ對シマシテ其ノコトヲ御答ヘ申上ガタノ  
ハ、過般ノ五十圓ノ米價ハ、米穀生産費ヲ  
勘案致シマシテ五十圓ノ價格ガ大體適當  
ト云フコトデ、米價是正ヲ致シマシタ時ニ、  
利潤ヲ加ヘタト云フコトヲ御説明シタノデ  
アリマシテ、今後ノ行キ方トシテモサウ云  
フ點ヲ考ヘテ行キタイト云フコトヲ申上ゲ  
タ次第デアリマス、是ハ別ニ法律ニ其ノコ  
トヲ書ク必要ハナイト思ツテ居リマス、尙  
ホ御手許ニ差上ゲマシタ勅令案要綱ノ中ニ、  
當分ハ從來ノ例ニ依ルト云フコトヲ書キ  
マシタ所以ハ、今朝程モ申上ゲマシタヤウ  
ニ、生産費ノ調査ハ、只今ノ生産費ハ實ハ  
將來豫想致シマシモノヨリモ辛イモノデ、  
之ヲ生産費トシテ取りマシテ經濟事情ヲ勘  
案スル等ノ處置ニ依リマシテヤツテ參ルト  
云フコトニナルノデアリマシテ、將來生産  
費調査等ヲ完成致シマシタ場合ニ正式ニ計  
算スルト云フ積リデゴザイマス、ソレカ  
ラ尙ホ御話ノ中ニ出テ居リマシタ一石五圓  
ノ獎勵金ヲ出シテヤル今ノ二重價格制度ト  
云フモノ、之ヲ近クヤメルヤウナ積リデ斯  
ウ云フコトガ書イテ居ルノカト云フ風ナ御  
指摘モゴザイマシタガ、此ノ點ハ農林大臣  
モ色々ノ機會ニ御話ノゴザイマシタヤウニ、  
只今ヤツテ居リマスル二重價格ハ、一方ニ  
生産費ノ關係ガゴザイマシ、他ノ一方ニ

只今ヤツテ居リマスル二重價格ハ、一方ニ  
生産費ノ關係ガゴザイマシ、他ノ一方ニ

低物價政策ノ關係モゴザイマス、斯ウ云フ  
經濟事情ガ續キマス限リ輕々ニ動カスコト  
ノ出來ナイコトダト思ツテ居リマス、問題  
ハ將來經濟事情ノ變リマス時ニ、變ツテ來  
ルコトト思ヒマス、從前ノ例ニ依リマス、  
色々價格決定ノ方式ガ備ハリマセヌ、是ハ  
鬼ニ角今マデノ方法デヤツテ行クダト云  
フ趣旨デアリマシテ、價格ヲ變ヘルカ變ヘ  
ナイカト云フト、是ハ變ヘナイノダト云フ  
趣旨デアリマセヌ

○山田(六)委員 只今御聽キシマシタヤウ  
ニ、自作農問題ニ付テ町村ハ責任ヲ負ハナ  
イト云フコトニ付テ根本ノ御答辯ガナカツ  
タガ、是ハ町村ニ責任ヲ負ハセナイデ貸ス  
方法ガゴザイマスレバ、大層自作農モ多ク  
ナリマス、斯様ニ思ツテ居リマス、ソレカ  
ラ味噌ノ問題ハ、農村ノ自家用味噌ニ付テ  
ハヤラ又積リデアルト云フ御話デアリマス  
ガ、是ハ鹽ヲ制限セラレテシマウテハヤツ  
タト同ジ結果ニナル、味噌ヲ造ル鹽ハ十分  
供給スルト云フコトニナツテ居リマスカ、  
ソコノ所ヲ御伺ヒ致シマス

○三浦(一)政府委員 先ニ自作農ノコトヲ  
御答ヘシマスガ、現在ハ町村ヲ介シナイト  
イケナイ仕組ニナツテ居リマス、デスカラ  
此ノ仕組ヲ變ヘマスト、會テ農林省ガ提案  
シタ自作農創設金庫ト云フモノヲ考ヘザル  
ヲ得ナクナリマス、是ハ直チニハ改正モシ  
兼ネルト思ヒマス、ソレカラ第二ノ鹽ノ問  
題デアリマスガ、何モ物資ハ、農村ト云ハ  
ズ、都會ト云ハズ、國民全般ニ所謂必要ナ  
ル限度ハ供給シテケレバナリマセヌ、ソレ  
ニ努力シテ居リマスガ、御承知ノ通り鹽ハ内國  
ノ生産ダケデハ足りマセヌノデ、關東州、北  
支、昔ハソレデモ足りナクテ、ソマリラン

下トカ云フヤウナ所カラ持ツテ來テ居ツ  
タ、最近デハ佛印等カラモ輸入シテ居ツタ、  
所ガサウ云フヤウナ事情デアリマスケレ  
ドモ、一面鹽ト云フモノハ非常ニ用途ガ廣  
イ譯デアリマス、ソノナモノデスカラ片方  
デ入用ガ多イ、併シ戰爭ガ進ンデ來ルト、  
外國カラモ中々取り難イト云フヤウナコト  
ニナツテ來、最近デハ北支方面カラ取りマ  
スモノモ、現地ニハ鹽ハアルケレドモ、直  
チニ船舶等ノ都合ガ付カナイト云フヤウナ  
コトガヤハリ一ツノ原因ダラウト思ヒマス、  
併シ大藏省カラ吾々ノ御聽キスル所デハ、  
決シテ食用鹽ニハ心配ヲ掛ケヌト云フヤウ  
ナ譯デ、吾々モ是ハ納得シテ居リマス、併  
シ斯ウ云フ時代デスカラ、總テノ物資ニ付  
テヤハリオ互ヒハ或ル程度マデ消費節約ヲ  
シ、我慢ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、  
是ハモウ是非トモ吾々ハ納得シテ行カナケ  
レバナラヌダラウト思ヒマス、隨ヒマシテ、  
山田サンナドハ能ク農村ノ實情ヲ御覽ニナ  
リ、且又多數ノ人達ヲ指導サレテ譯デアリ  
マスガ、サウ云フヤウナ事情ヲ篤ト御考ヘ  
下サイマシテ、ヤハリ斯ウ云フ時ニハ總テ  
ノ物資ニ付テ節約シナケレバナラヌ、ソコ  
デ一層物ヲ大事ニスルト云フコトデ御理解  
ヲ願ヒ、又御指導ヲ願ヒタイト思フノデア  
リマス、吾々トシテハ、所謂米鹽ト云フノ  
デスガ、是ハ一番ノ基本的ナモノデアリマ  
シテ、決シテ事缺クヤウナコトハシタクナ  
イノデ、折衝ヲシテ居リマスノミナラズ、  
鹽ノ供給ニ付キマシテモ、農村ノ方面ガ多  
イコトハ大藏省ノ發表ニ依リマシテモ、ハ  
ツキリシテ居ルコトデゴザイマスカラ、其  
ノ邊ハ能ク御諒承願ヒタイト思ヒマス

○山田(六)委員 鹽ノコトニ付テ今一ツ御  
願ヒシテ置キタイノデスガ、御話ノ通りド  
シナニ困ツテモ寄越セト云フヤウナ、駄々  
ツ子ノヤウナ要求ヲシナイコトハ當然デア  
リマスガ、併シ家庭鹽ト云フモノト工業鹽  
ト云フモノトデハ、比較ニナラヌ程家庭鹽  
ノ消費ハ少イノデアリマスカラ、其ノ工業  
鹽ノ方ヲ減ラサウトモ、何ヲ措イテモ家庭  
鹽ノ方ニハ是ダケハ配給シテ戴カナケレバ  
ナラヌ、之ヲモ鹽ガ不足デアルカラト云ツ  
テ、此ノ家庭鹽ニ事缺カスト云フコトハ、  
日本人ノ生命ニ切込ンデ來ルヤウナ結果ヲ  
起スノデハナイカト云フコトガ非常ニ心配  
サレルノデアリマスカラ、其ノ點ハ是非ト  
モ御配慮ヲ願ツテ、工業鹽ヲ減ラシテモ家  
庭鹽ハ減ラサヌト云フヤウナ御方針ノ下ニ  
御願ヒシタイト思ヒマス

○三浦(一)政府委員 ソレハ止メタル譯ニ行  
カヌト云フ譯デス

○山田(六)委員 ソレナラバ仕方デアリマ  
セヌ、仕方ガナイカラ、イヤダト云フ町村ハ  
自作農ハ其ノ町村内ニハ出來ナイ、ソレハ  
仕方ガナイ、斯ウ云フコトニナリマスカ  
○三浦(一)政府委員 是ハサウ云フヤウナ  
意味デ申上ゲタノデアリマセヌ、今ノ建  
前上急ニハ改メラレナイ、隨テソレハ町村  
ガ起債等ヲシテ呉レナイト云フコトデハ困ル  
譯デス、ソコデ町村トシマシテハ、健全ナ  
ル農村ヲ建設スルニハ、ヤハリ健全ナル自  
作農ガ必要デスカラ、ソレ等ハ一層全體ノ

繁榮ヲ見ルヤウニ、ヤハリ相互ニ理解ヲ以  
テ進マナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居リマ  
ス、ソレハ起債ハ町村デナケレバ出來ヌカ  
ラ、吾々ハソレデヤラヌト云フコトデハ  
健全ナル農村ヲ生カス所以デナイ、農林省  
トシテハサウ考ヘテ居リマスカラ其ノ點ヲ  
御承知願ヒマス

○山田(六)委員 ソレハ已ムヲ得マセヌ、  
ソレナラバ仕方ガナイノデスガ、現ニ三百  
町歩、二百町歩ト云フヤウナ集團耕地ガア  
リマシテ、ソレヲ自作農トシテ地主ニサセ  
タイ、又小作者モ自作者ニテリタイト云フ  
ノデスガ、其ノ町村ニ如何ニ交渉シテモ、  
面倒ダ、斯ウ云フ世ノ中デ土地ナンカハド  
ウナツテシマフカ分ラナイ、此ノ町村ガ責  
任ヲ負ツタ借金、バカリ殘ツテ、土地ハ値打  
ガナクナルカラトシダコトニナツテシマ  
フ、俺ノ村デハイケナイト云フ村ガ二ケ村  
アリマスカラ、サウ云フヤウナコトハ洵ニ  
困ツタコトデアルシ、是等ヲ自作農ニルコ  
トニ依ツテ生産ノ上ニモ非常ニ影響ヲ及ボ  
スコトト思ツテ居リマスカラ、此ノ邊ヲ一  
ツ事實ニ付テ御配慮願ツテ、何トカ流通ノ途  
ヲ付ケテ戴キタイト云フノガ一ツデアリマス  
極ク簡單デアリマスカラ木炭ノコトニ  
付テ御聽キヲ致シタイノデアリマス、木  
炭ノ案ガ茲ニ出テ居リマスガ、此ノ木炭ハ  
今ノ所デ生産ト消費ト云フモノガ大體釣合  
ヒガ執レテ居ルト云フコトデアリマスカラ、  
ソレハ洵ニ宜シイコトダト思フノデアリ  
マスガ、此ノ儘ニ行ツテモ生産ト消費トノ  
釣合ヒガ執レルカドウカト云フコトハ、私  
共ハ非常ニ心配デス、是ハ生産ガ或ル程度  
減ルノデハナイカト云フコトヲ心配スルノ  
ガ一ツト、今一ツハ木炭ノ價格ヲ公定サレ

テ居ツテ、原木ノ價格ヲ放任シテ置ク時ハ、此ノ生産ト云フモノガドウ云フ工合ニナルカト云フコトガ彼レ此レ心配サレルノデアリマス、此ノ木炭資材ノ協定委員會ト云ツタヤウナモノガ出来テ居ルヤウデアリマスガ、是等ハ名義バカリノ協定委員會デ、今日マデ何等ノ働キヲシタコトガナイト云フノデアリマスガ、此ノ際木炭ノ原木ノ基準價格ヲ決メテ、此ノ協定委員會ノヤウナモノヲ働カシテ、資材ノ圓滑ニ供給サレルヤウナ方法ヲ講ズル御考ヘガナイカ、今一ツハ木炭ノ生産ト供給ニ對スル方法デアリマスガ、是ガ其ダ多岐多様デアアル、之ヲ一元化スルコトガ出来ナイカ、例ヘバ集荷モ二元のニヤツテ居ル、配給モ二元のニヤツテ居リマスガ、是等ヲ統制サレル意思ガナイカ、ソレヲ統制シナイコトカラ生ズル不利益ト云フモノハ、木材ノ投資家ガ非常ニ之ヲ危険ガルト云フコトデアリマス、若シ集荷配給ガ統制サレテ居リマスレバ、資金ヲ投ジマシテモ回收ニ付テ心配ガナイ、併シ集荷ガ二元のニヤツテ居ル、配給モ二元ニヤツテ居ルト云フコトヲ各府縣デヤツテ居リマシテハ、投資ハ危険ニヤツテ來ル、デアリマスカラ之ヲ一元的ニ統制スル必要ガナイカト云フコトガ一ツデアリマス、

ソレカラモウ一ツハ瓦斯炭ト家庭炭ノ價格ガ非常ニ違ツテ居ル、瓦斯炭ヲ製造スル方ガ主ニヤツテ居リマスガ、斯ウ云フヤウニ價格ニ餘リ差ヲ付ケテ、瓦斯炭ハ一々深山デ燒ク、ダカラ運搬シテ來ル經費モ掛リマスカラ、此ノ方ニ行カナイコトハ當リ前デアアル、事實ニ於キマシテハ、深山デ拵ヘルコトハ困難デス、努力モ困難、運搬モ困難デアアル、事實ハ不可能デアアルケレドモ、

サウ云フ制度ヲ今執ツテ居ルガ、寧ロ之ヲ二重價格ヲ付ケル、例ヘバ里デ燒イタ瓦斯炭ハ幾ラ、深山デ作ツタラ幾ラト云フヤウニ、何トカ方法ガナイカ、今ノ儘デハ瓦斯炭ハ思フヤウニ出テ來ナイ、若シ之ヲ里デ燒クト云フコトヲ許スト家庭炭ハ皆ナクナル、深山デ燒クコトニナレバ引合ハナクナルト思ヒマス、時間ガアリマセスカラ此ノ位ニシテ置キマス

○三浦(一)政府委員 薪炭材ノ價格ヲ適正ナラシムル爲ニ委員會ノ如キモノデモ設ケテ、強制的ニ價格ヲ統制シタナラバドウカト云フコトデアリマスガ、現在薪炭材需給調整規則ト云フモノガアリマシテ、是ハ總動員法ニ基ク規定デアリマスガ、ソレニ基キマシテ各地方廳ニハ之ニ關スル委員會ヲ設ケラレテ、ソコデ價格ナドヲ段々調整スル機能ヲ發揮シテ居リマス、必要ニ依リマシテハ價格ヲ強制的ニ講ゼラレルコトニヤツテ居リマス、是等ノ運用ニ依リマシテ、御説ノヤウニ段々改善シテ参リタイト考ヘル譯デアリマス

ソレカラ生産ト供給ノ一元的統制ノ問題デアリマスガ、是ハ各地各様ノ事情モアリマスノデ、マダ畫一的ニ決メラレル譯ニハイカストモ考ヘラレマス

ソレカラ瓦斯用炭ノ生産ノコトデアリマスガ、現在デハ御承知ノ通り許可制度ヲ執ツテ居リマシテ、一定ノ地區ニ今限定シテ居リマス、成ベク里山ニハ家庭用ノ木炭ヲ作ラセ、與地ノ方面ニ瓦斯用炭ヲ生産サセルト云フ方針ヲ進シテ居リマシテ、大體調整シテ居ルノデアリマスガ、同時ニ又瓦斯用炭ガ與地デアリマスカラ、各種ノ條件ノ惡イ點モアリマスガ、生産ニ對スル助成等

モ致シテ居リマスカラ、段々調整ガ巧ク行クト考ヘテ居リマス

○三善委員長 淺沼稻次郎君

○淺沼委員 三十人近クノ人ガ廣汎ニ互リ、尙且ツ微細ノ點マデ質問サレタノデアリマシテ、私多ク聽カウトハ考ヘテ居ラナイノデアリマスガ、四、五ノ點ニ付テ大臣竝ニ關係當局カラ御伺ヒシタイト思フノデアリマス

第一點ハ大東亞共榮圈ノ食糧及ビ纖維資源ノ中心トスル農業政策ヲ如何ニ進メテ行クカト云フ、謂ハバ大東亞農業政策ノ基調ヲ何處ニ置クカト云フ點ニ付テ、大臣ノ所信ヲ承リタイト思フノデアリマス、豫算委員會其ノ他ソレレノ委員會ニ於キマシテ大臣ノ御答辯等ヲ伺ヒマシテ、大體國內農業ニ關シマシテハ或ルモノヲ私共ハ掴ミ得テ居ルノデアリマス、政府ニ於キマシテハ冀ニ國土計畫ヲ、日滿支ヲ通ズル國土計畫要綱ヲ設定セラレマシテ、日滿支ノ間ニ於ケル農業ニ付テモ一ツノ方針ヲ樹テラレテ居ルヤウデアリマス、更ニ國土計畫ニ基ク農業ノ立場ヲ、大臣ノソレレノ委員會等ニ於ケル答辯ヲ通ジテ窺ヒ知リマスナラバ、大體ニ於テ内外地ヲ通ズル人口ノ四割ハ農村ニ於テ之ヲ確保スル、農村ハ食糧ノ源泉デアリ、民族ノ血ノ源泉デアルカラ、農村ハ飽クマデモ之ヲ確保シテ參ラナケレバナライ、此ノ點ハ能ク諒承出來ルノデアリマス、併シナガラ國土計畫ト云フモノハ日滿支ヲ通ジテ作ラレタモノデアリマスガ、南方ガ共榮圈ニ入ツタ以上ハ、更ニ日滿支、南洋ヲ含メタ國土計畫マデ擴大サレテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、其ノ場合ニ於テ大東亞ニ於ケル農業資源ニ付

テ極ク簡略ニ考ヘテ見マスナラバ、米ハ大體自給出來ル、大麥、高粱、粟等雜穀類ハ大體自給出來マス、砂糖ハ過剩デアアル、ゴムハ過剩デアアル、小麥、棉花ハ幾分不足デアアル、斯ウ云フヤウナコトニナリマスナラバ、大體食糧ノ點ニ付キマシテハ、一言ニシテ申上ゲマスナラバ地域の、プロック」的ト申シマスカ、地域の自給主義ガ採用サレテ居ルト思フノデアリマス、併シハ食糧ニ於テハ當然スクアツテ然ルベキダト思フノデアリマスガ、ヤハリ國土計畫ニ基キマシテ、他ノ農業資源ニ付キマシテハ適地適業ト云ツタヤウナコトガ適用サレテ然ルベキダト考ヘルノデアリマスガ、ソレ等南洋ヲ含メタ今日ニ於テ、大東亞ノ農業政策ノ基調ヲ何處ニ置クカ、農林省ニ於キマシテハ南洋資源調査室、或ハ農林計畫委員會ニ諮問シテ具體案ヲ練ツテ居ルヤウデアリマス、併シナガラ大臣トシテハ如何ナル御抱負ヲ持ツテ居ルカ、窺ヒ知ルコトガ出來マスレバ非常ニ仕合セダト思フノデアリマシテ、此ノ際御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 大東亞共榮圈内ニ於キマスル食糧ノ根本對策ニ付キマシテハ、過般來度々申上ゲテ居ル通り、二ツノ方面カラ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマシテ、一ツハ食糧ノ交流ト云フ問題デアリ、一ツハ食糧ト生産ト云フ問題デアルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、國土計畫上之ヲ如何ニスルカト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ單ニ食糧ダケノ問題デナシニ、工業等ノ問題モ合セテ考慮シテ參ラナケレバナリマセス、先程御話ノ中ニ日滿支ニ互ル國土計畫ハ出來テ居ルト云フ御話ガアリマシタ

ガ、マダ政府デハ出來テ居リマセヌ、企畫院ヲ中心ニ致シマシテ計畫ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、マダ確固タル國土計畫ト云フモノハ出來上ツテ居リマセヌ、隨テ今後大東亞共榮圈ガ斯クナリマシタ以上ハ、之ヲヤハリ目標トシテ國土計畫ヲ進メテ參ラナケレバナラヌト思ヒマセヌ、現在ニ於キマシテハマダソコマデハ手が着イテ居リマセヌ、農林省トシテハ差當リ食糧其ノ他農林關係ノ物資ニ付キマシテ、大體ノ目安ヲ立テテ種々ノ計畫ヲ立テテ居ルノデアリマス、而モ其ノ目標ニ付キマシテハ先般來申上ゲテ居ル通り、主要食糧ニ付テハ内外地ヲ通ジテ自給自足ヲシテ行ク、其ノ他ノ作物ニ付テハ成ベク適地適作ノ方策ヲ執ツテ行ク、斯ウ云フ大體ノ根本理念ヲ持ツテ居リマス、併シ其ノ具體的ノ物資ニ付テハ一如何ニスルカト云フコトニ付テハ、目下折角農林省ニ於テハ農林計畫委員會ニ於テ、拓務省ニ於テハ農林調查委員會ニ於テ、研究ヲシテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○淺沼委員 國土計畫ノ要綱ガ設定ヲサレマシテマダ具體化サレテ居ラナイト云フ御答辯デアリマスガ、或ハサウカモ知レヌト思フノデアリマスガ、設定サレタ以上ハヤハリ具體化サレナケレバナラヌト思フノデアリマシテ、其ノ具體化ヲスルニ當リマシテ、日滿支ヲ貫クモノガ大東亞共榮圈ニ擴大サレタ譯デアリマスカラ、更ニ南洋ヲ含メタ國土計畫ヲ樹テラレコトヲ切望シテ已ミマセヌ、更ニ具體的ノ物資ニ付テハドウスルカト云フ體制ヲ決メテ居ラナイト云フ御話デアリマスガ、小麦、棉花ガ足ラヌト云フコトニナリマスナラバ、北支ニ於キマ

シテハ現在小麦ハ大イニ之ヲ作ラナケレバナラヌ立場ニ置カレテ居ルト思フノデアリマスガ、此ノ地方ハ棉花ニ適シテ居ルノデアリマシテ、北支ノ小麦ヲドウスルカ、棉花ヲドウスルカ、更ニ砂糖ノ點ニ付テ考ヘテ見マスナラバ、砂糖ハ臺灣「フィリッピン」、更ニ「ジャバ」ト考ヘテ、ソレノ生産「コスト」ヲ考ヘマシタナラバ、南行クニ從ツテ安クナツテ居ルト云フ傾向ニナツテ居ルト思フノデアリマス、加ヘテ臺灣ニ於キマシテハ現在米ト砂糖ノ關係ヲドウスルカト云フコトニナリマスレバ、自ラ何等カノ考ヘガ出テ然ルベキダト思フノデアリマスガ、立案スルニ當リマシテハサウ云フ點ニ付テ篤ト御考慮アランコトヲ切望シテ置キマス

次ニ昨日ノ日日新聞ノ夕刊ヲ見マス、非常ニ愉快ナ記事ガ出テ居ルノデアリマシテ、國民ハ朗カニナツテ居ルノデアリマス、「豚ハ豊富ニ出マス、魚ノ不足モ暫クノ辛抱、味噌、豆腐ニモ滿洲カラ援兵」、更ニ農林大臣ハ、其ノ中ニ砂糖ノ特配ノ用意アリト、嬉シイ答辯ヲシタト云フコトヲ書イテ居ルノデアリマシテ、是ハ私ハ非常ニ國民ヲ朗カニサセテ居ルト思フノデアリマス、私ノ考ヘヲ申上ゲマスナラバ、戰爭ト云フモノハ國家ト民族ノ躍進スル姿デアリマシテ、國家ト民族ガ躍進スル時ニハ苦痛ハナイ筈ダト思ヒマス、全部ガ朗カニナツテ、本當ニ國民總進軍ト云フ形ヲ整ヘテ參ルコトガ、一番戰時下ニ於ケル相應シイ姿ダト思フノデアリマス、今日ノ苦シミハアツテモ、明日ノ樂シミガアレバ國民ハ我慢スルノデアリマス、サウ云フ意味合カラ致シマシテ、農林省ノ資料ヲ中心トシテ豚モ出ル、魚ノ

不足モ暫クノ辛抱デアアル、更ニ砂糖ノ特配モアルト云フコトヲ伺ヒマス、國民ハ非常ナ此ノ戰果ニ依ツテ吾々ノ生活ガ一層良クナルト云フコトヲ考ヘテ、朗カニナツテ來テ居ルト思フノデアリマス、隨テ私ハ資料ニ出サレテ居ルヤウナコトヲ、本當ニ實踐ニ移シテ戴キタイト思フノデアリマス、唯是ガ机上ノ議論デアリマシタ場合ニ於テハ何ニモナラナイノデアリマシテ、ヤハリ農林省デ計畫ヲ立テマシタ以上ハ、本當ニ豚モ出ルヤウニ、更ニ魚其ノ他ノモノニ付キマシテモ、サウ窮屈ニナラヌヤウニ——私ハ是等ノモノガ足リナイトハ考ヘテ居リマセヌ、窮屈ニナツテ居ルコトハ事實デアリマスケレドモ、全體ヲ通ジテ運用宜シキヲ得マスナラバ、最低生活ニ於ケル國民ガ必要ナル「カローリ」ヲ得ルダケノモノハ、マダ日本ニハ十分アリ得ルト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、窮屈ニハナツテ居リマスケレドモ、サウ足リナイト云フ考ヘハ持ツテ居ラナイノデアリマス、隨テ農林省ノ施策宜シキヲ得マスナラバ、マダマダ私ハ物ガ出テ來ル筈デアリ、増産モ出來ル筈デアルト考ヘルノデアリマス、此ノ觀點ニ立チマシテ少シク御尋ネシタイノデアリマスガ、第一點ハ水産業ニ對スル統制ニ付テデアリマス、政府ニ於キマシテハ曩ニ總動員審議會ノ議ヲ經マシテ、遠洋漁業ニ關スル統制ノ勅令要綱ヲ決定致シマシタ、即チ「農林大臣ハ命令ヲ以テ定ムル水産業ニ關スル事業ヲ營ム者ニ對シ水産業ノ綜合的統制運營及其ノ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル日本水産統制株式會社」設立ヲ命ズルコトヲ得ルコト「斯ウ云フ要綱ヲ決定致シマシテ、之ニ依ツテ勅令ガ發布サレルコ

トデアラウト私ハ思フノデアリマス、隨テ政府ニ於キマシテハ、遠洋漁業ニ對スル統制ノ方針ト云フモノハ、此ノ日本水産統制株式會社ヲ通ジテヤラレルト云フコトガ明確ニナツタノデアリマス、併シナガラ此ノ鮮魚介類ノコトヲ考ヘテ見マスナラバ、遠洋漁業ニ負フ所モ多イケレドモ、又半面ニ於キマシテハ沿岸漁業ガ此ノ鮮魚漁獲ニ努メテ居リマスコトモ可ナリ大キイモノガアラウト思フノデアリマス、併シナガラソレ等ノモノニ付キマシテハ如何様ニ生産ヲ統制シ、更ニ配給ヲ統制スルカト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、何等具體的ナコトガ示サレテ居ラナイノデアリマス、隨テ此ノ際伺ツテ置キタイコトハ、中小漁業ニ對シテハ如何ナル統制ヲ政府ハ行ハントスルカ、之ヲ伺ツテ置ケバ幸ヒダト思フノデアリマス、日本水産統制株式會社ノ中ニハ鮪、或ハ經業者ト云フヤウナモノハ除外サレテ居ルヤウデアリマス、加ヘテ小サナ船ヲ中心トシテ沿岸デヤツテ居ル者モ除外サレテ居ルガ、之ヲ如何様ニ統制サレルノカ、御伺ヒ出來レバ幸ヒダト思ヒマス

○井野國務大臣 水産統制ニ關シマシテハ、勿論遠洋漁業ノミナラズ、沿岸漁業ニ付キマシテモ其ノ統制ノ必要ヲ認メテ居リマス、併シ現在ノ状態ニ於キマシテハ、先ヅ限ラレタル資材デ能率的ニ漁獲ヲ多ク致シマセヌニハ、遠洋漁業ノ方面ニ期待スル所ガ多イノデアリマス、隨テ其ノ方面ノ統制ニ先ヅ第一段ニ手ヲ着ケテ譯デアリマシテ、第二段トシテ沿岸漁業統制ノ問題モ十分ニ考慮シテ行キタイト考ヘ、目下農林當局ニ於キマシテ色々案ヲ研究致シテ居リマス、何レ其ノ内ニ具體案ヲ得マシタナラバ、又御

協賛ヲ得ル機會ガアラウト思ヒマス、尙ホ今御述ベノ中ニ、鯉、鮪ノ業者ハ其ノ中カラ除カレテ居ルト云フ御話デアリマシタガ、統制ノ對象ニハナツテ居リマス、唯鯉、鮪ノ業者ヲ上ノ統制會社デナクテ、下ノ實際ノ漁業ヲヤル會社ニ統合スルカト云フト、ソレハ統合シナイ、斯ウ云フ意味デアリマスカラ誤解ノナイヤウニ願ヒマス

○淺沼委員 限ラレタル資材ヲ以テ多クノ魚獲ヲ擧ゲル爲ニ、遠洋漁業カラ手ヲ着ケル、斯ウ云フコトヲ言ハレルノデアリマスガ、今ハ作戦進行中デアリマス、作戦進行中ト遠洋漁業ノ關係ヲ考ヘテ見マスナラバ、多クヲ申上ゲナクテモ御了解ガ行クト思フノデアリマス、隨テ斯カル際ニ於キマシテハ、ヤハリ少キ資材ヲ以テ間ニ合ハセルト致シマシテモ、沿岸漁業ノ助成ヲヤラナケレバ魚ハ手ニ入ラヌト云フ結果ニナリハシナイカト思フノデアリマス、自然沿岸漁業ノ點ニ付キマシテ之ヲヤハリ統制助成シテ行クコトガ現下直ニ問題デハナカラウカト思フノデアリマス、繰返シテ申上ゲマスガ遠洋漁業ニ依リマシテ少キ資材ヲ以テ多クノ魚獲ヲ得ル、併シナガラ遠洋漁業ト云フモノハ、現在作戦進行中ニ於キマシテドノ程度ニヤレルカト云フコトニ付キマシテハ、自ラ議論ノ餘地ガアラウト思フノデアリマス、隨テ近海カラノ魚獲物ヲ増加セシムルヤウニシテヤルコトガ必要ト思ヒマス、今魚ノ問題ガ窮屈ニナツテ來テ居リマスケレドモ、是ハ農林省ガ遠洋漁業ニ中心ヲ置イテ、近海漁業ヲ割合ニ輕視シタコトガ一つ今ニナツテ現ハレテ來テ居リハセヌカト考ヘルノデアリマス、隨テモウ一度近海漁業ノコトニ付テ大臣ノ答辯ヲ承リタイ

ト思ヒマス

○井野國務大臣 農林省ト致シマシテハ、從來カラモ遠洋漁業ノ獎勵ヨリハ寧ロ近海漁業ノ獎勵ノ點ニ種々ノ考慮ヲ致シテ居リマス、隨テ現在モ沿岸漁業ニ付キマシテハ其ノ重要性ヲ十分認メ、現在存在シテ居リマス漁業組合其ノ他ノ制度ノ活用ヲ圖ツテ居リマス、之ヲ如何ニ統制スルカト云フコトニナリマス、沿岸漁業ノ方ハ現在色々ノ沿革ガアリマシテ、商人ノ介在シテ居ル所モアリ、又其ノ他色々ノ施設ガアリマシテ、急激ナル變革ヲ與ヘマスコトハ却テ漁業、集荷ノ上ニ於テ弊害ガアリマスノデ、ソレ等ヲ勘案シテ適當ニ善處致シテ居ルノデアリマス

○淺沼委員 ソコデ其ノ次ニハ魚ノ配給統制ノコトニ付テ少シク伺ツテ見タイト思フノデアリマス、政府ハ曩ニ魚ノ配給統制ニ關シマシテ、國家總動員法ニ基ク生活必需物資統制令ガ發布セラレマシテカラ、ソレニ基イテ鮮魚介ニ對シマシテ鮮魚介配給統制規則ナルモノヲ制定シテ之ヲ發布サレマシテ、ソレニ依ツテ計畫の出荷ト計畫の配給ヲヤツテ居ラレルノデアリマス、此ノ點ハ今マデ一ツモ計畫性ノナカツタ此ノモノニ對シテ計畫ヲ與ヘタト云フコトハ非常ニ結構ダト思フノデアリマスガ、是ニハ少シ拔ケ道ガアラウト思フノデアリマス、政府ニ於キマシテハ陸揚地ヲ指定シテ居リマス、併シナガラ全部ノ漁港ガ指定サレテ居ル譯デハアリマセヌ、更ニ消費地域ヲ指定シテ居リマス、併シ全部ガ消費地域トシテ指定サレテ居ル譯デハナイノデアリマス、更ニ加ヘマシテ五貫目マデハ直接買ヒニ行ツテモ宜イト云フ拔ケ穴ヲ拵ヘテ居ルノデアリ

マス、是ガ魚ヲ餘所ニ生産的方面ニ逃ガシテ行ク、闇ニ逃シヤウナ傾向ニナツテ居リハシナイカト思フノデアリマスガ、少クトモ五貫目マデノ現地買付ト云ツタヤウナコト、更ニ指定漁港以前ニ魚ガ逃ゲテ行クヤウニナツテ居ルコト、又生産地ニ於キマシテモ、生産者ガ十貫目マデハ自由販賣ガ出來ルト云フコトニナツテ、居ルコトガ、魚ガ統制外ニ逃ゲテ行クノデアリマシテ、大體此ノヤウナ逃道ヲ辿ツテ參リマス、魚ノ必要ナ部分ニ集ツテ來ナイデ、闇カラ闇ヲ縫ツテ、生産擴充ノ部分ニ働イテ居ル人達ノ方ニ流レテ來ナイデ、非生産的ナ方面ニ魚ガ逃ゲテ行クト云フヤウナコトニナリハシナイカト思フノデアリマス、隨テ政府ニ於カレマシテハ此ノ際配給統制規約ヲ改正致シマシテ、モツト出荷及ビ配給ニ關シテ統制ヲ強化スル御考ヘヲ持ツテ居ラナイカ、少クトモ陸揚地ヲ更ニ指定スルカ、或ハ五貫目マデノ直接買付ハ之ヲ許サナイ、十貫目マデノ現地生産者ノ販賣モ之ヲ許サナイ、全部出荷統制組合ヲ通ジテヤルト云フ御考ヘヲ持タナイノデアリマセウカ、此ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 水産物ノ配給統制ニ關シマシテハ、今御述ベノ通り、總動員法ニ基ク規則ニ依リマシテ統制ヲ致シタノデアリマス、陸揚地ノ問題等モ十分其ノ際檢討致シマシテ、大體百數十箇所ノ現在指定シテ居リマス陸揚地ヲ以テシマスレバ大體宜イト云フ見透シヲ持ツテ居リマスシ、又例外的ノ規定ニ付キマシテモ、今御述ベノ通りノモノハ適當デアラウト考ヘテ規定ヲ致シタノデアリマス、大體物ノ配給ノ統制ニ於キマシテハ、固ヨリ統制ヲキツチリ作り上

ゲルト云フコトハ必要デアリマスケレドモ、併シ餘リニ嚴ニ過ギマス、却ツテ物ノ動力ヌ場合モアルノデアリマス、ソコハ多少緩急宜シキヲ得マセヌト、物ト云フモノハ却テ流レヌト云フ點ガアルノデアリマスカラ、五貫目ノ例外モ認メタノデアリマスケレドモ、併シソレガ根本ヲ覆ヘスヤウナ弊害ガアルト云フコトデアリマスレバ、是ハ又考ヘナケレバナリマセヌ、其ノ點ハ十分ニ能ク調ベマシテ、必要ガアレバ、規則ノ改正ハ少シモ躊躇シテ居ルノデハナイデアリマシテ、惡イ所ハ直シテ參リマスケレドモ、今マデハ別段ソレニ付テノ多クノ弊害ヲ考ヘテ居ラナカツタノデアリマス

○淺沼委員 弊害ヲ考ヘテ居ラヌヤウデアリマスレガ、過日新聞ニ現ハレマシタ東京ニ於ケル大料理店ガ、統制價格違反デ可ナリ罰金ヲ取ラレタ事實ヲ御存ジダラウト思フノデアリマス、其ノ魚ガドウ云フ工合ニ集ツテ來ルカト云フコトハ、魚ヲ扱ツテ居リマス農林當局ニ於テハ當然知ツテ居ル筈ダト私ハ思フノデアリマス、又東京市ヲ中心ト致シマシテ、現地買付ノ人ガドウ云フ具合ニヤツテ居ルカト云フコトハ、私ハ此ノ席上ニ於テ申上ゲル考ヘハゴザイマセヌケレドモ、要スルニ闇カラ闇ヲ縫ツテ公定違反ノ爲ニ業者ガ捕マツテ居ルト云フ事實ハ、弊害ガアル證據ダト思フノデアリマス、大臣ハ今弊害ガナイト斯ウ言ハレマシタケレドモ、現ニ弊害ガアツテ一萬圓、二萬圓ニ相當スル罰金ヲ取ラレテ居ルト云フ事實ガアルノデアリマス、ソレハ魚ガドウ云フ風ニ集ツタカト申シマスナラバ、中央市場ヲ通シタ魚デアリマセヌ、現地買付ノ點ニ原因ガアツタト考ヘラレルノデアリマス、

隨テサウ云フ點ニ於テ弊害ガアルノデアリマシテ、是ハ食品局長ハ能ク御存ジデアルト思フノデアリマス、隨テ大體五貫目ノ問題ニ付テハ弊害ガナイノデハナク、弊害ハ現ニアルノデアリマスカラ、ヤラナイト云フ言明ヲ得ラレマスナラバ幸ヒデアルト思ヒマス、最近神奈川縣ノ三崎ヲ中心トシテ現地買出シノ人が買出シニ參ツタ時ニ、三崎警察署ノ執ツタ態度ヲ御調査ニナレバ分ル筈デアリマス、隨テ弊害ハアルノデアリマスカラ、之ヲ廢スルト云フ御言明ガ得ラレマスナラバ幸ヒデアリマス

○井野國務大臣 規則ガ出來テ居リマシテ、ソレヲ潜ツテ違反スルト云フコトハ、ソレハ規則ノ上ノ弊害デアルト云フ譯ニハ行カスト思ヒマス、結局五貫目ト云フコトヲ許シテアル場合ニ、五貫目ノモノヲ買ヒニ行クナラバ犯罪ハ起ラナイ譯デアリマス、ソコニ尙ホ違ツタ行キ方ヲスルカラ犯罪ガ起ルノデアリマス、犯罪ヲ以テ弊害ナリト申上ゲタナラバ凡ユルモノニ弊害ガアル譯デアリマスケレドモ、サウ云フ點ハ五貫目ノ例外ガアルカラ色々ナ犯罪ガ誘發シ易イト云フコトデアリマスカラ、ソレハ又吾等トシテモ考ヘナケレバナラヌト云フコトヲ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス

出來マスナラバ早く之ニ付テハ手ヲ着ケテ御改正ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、同時ニ生産者ガ十貫目マデ自由販賣ガ出來ルト云フ制度ニ付テモ、相當考ヘル餘地ガアルト思フノデアリマス、現ニ出荷統制組合ナドノ話ヲ伺ヒマス、サウ云フ方面ノコトハ成ベク早く止メルヤウニシテ貰ヒタイト云フ居ル、ソレカラモウ一ツハ五「ト以下ノ船モ統制外ニナツテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテモヤハリ私ハ統制ヲ強化シテ行ク必要ガアルト思フノデアリマシテ、今申上ゲタヤウナ弊害ノ點ニ付キマシテハ篤ト御考慮ニナツテ、一日モ早く弊害ヲ除クヤウニシテ戴キタイノデアリマス

○淺沼委員 規則ガ出來テ居リマシテ、居ルコトガ弊害ヲ生ムノデアツテ、犯罪ヲ以テ弊害ト申上ゲタ譯デアリナイノデアリマス、大臣ガ申サレタ通り誘發スル憂ヒガアル、而モ五貫目ヲ限度トシテハ闇相場ガ非常ニ横行シテ居ル形ニナツテ居リ、現ニ犯罪ヲ構成スルマデニ至ツテ居ルカラ弊害ガアルデハナイカト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點御諒承ヲ願ツテ、

知レマセウガ、貯藏ノ上ニ必要デアルト思ハレマス所ノ鹽干魚デアルトカ、玉葱デアルトカ、鯉節デアルトカ、斯ウ云フモノモ其ノ對象トシテ考ヘラレルヤウナ氣ガアルノデアリマスカ、是ハ全然除外サレルノデアリマセウカ

○湯河政府委員 只今ノ點ハ度々繰返シテ申上ゲテ居ル所デアリマスカ、本案ノ第二條ニゴザイマス主要食糧ハ是ハ勅令案ノ要綱ニ御示シシタ範圍ニナツテ居リマス、ソカラ法律ノ第七條ノ政府ノ扱ヒマス加工、製造、貯藏等ノ主要食糧、是ハ第二條ノ主要食糧ヲ言フノデアリマシテ、只今御指摘ノヤウナ甘藷馬鈴薯以外ノ青果物ハ此ノ中ニ入ツテ居リマセウ

ナツテ居ル形ニナラウト思フノデアリマス、隨テ中央市場ヲ含ム配給關係全體ニ付テハ、一ツノ何等カノ新タナル考慮ガアツテ然ルベシト私ハ思フノデアリマスカ、ソレニ對シテ政府ハドウ云フヤウナ御考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマセウカ、現ニ新聞ノ報ズル所ニ依リマス、食品局長ガ中心トナリマシテ、警視廳、東京府、神奈川縣、或ハ千葉縣、更ニ東京市ノ代表學者等ヲ加ヘテ、配給機構ニ關スル特別ナル研究ヲ進メテ居ルヤウナコトガ新聞ニ載ツテ居リマシタガ、如何ナル方途ニ依ツテ配給ノ點ニ付テハ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ御聽キガ出來レバ幸ヒデアリマス

○淺沼委員 ソコデ伺ヒタイノデアリマスカ、中央市場ト云フモノハ自由主義經濟ニ基キマシテ、生産ト消費ノ中間ニ立ツテ糶ニ依ツテ價格ヲ決定シテ參ツタノデアリマス、然ルニ是ガ統制經濟ニ入ツタ後ニ於キマシテ、而モ出荷ノ統制、配給ノ統制、價格ノ統制ガ行ハレタ場合ニ於キマシテ、中央市場ノ一ツノ機能ト云フモノハ現在ニ於キマシテハ、成立シタ當初ト現在ニ於キマスル機能關係ニ於キマシテハ、自然ナク

○井野國務大臣 中央卸賣市場ニ對シマスル政府ノ方針ト致シマシテハ、現在生鮮食料品ニ付キマシテハヤハリ此ノ機構ヲ利用シテ參リタイト考ヘテ居リマス、即チ中央卸賣市場ハ從來價格形成ノ作用ヲ持ツテ居リマシタガ、又分荷ノ作用ヲ持ツテ居ルノデアリマス、今日集荷シテ參リマシタモノヲ各消費者ニ配給スルト云フ中間ニ立チマシテ、ヤハリ中央卸賣市場トシテハ相當大ナル色々ノ機能ヲ發揮シテ居リマスカラ、是ハ支持シテ行ク積リデアリマス、唯其ノ機構等ニ付キマシテハ、現在ノ狀態ニ更ニ改善ヲ加ヘテ參リタイト考ヘテ居リマス

○淺沼委員 中央市場ニ付キマシテハ過日來中央市場ノ機構ノ改革ガ行ハレマシテ、仲買人が廢サレマシタ、其ノ代リ特設市場ナルモノガ設ケラレタノデアリマス、特設市場ハ大體ニ於テ業務用ニ必要ナル魚ヲ扱ツテ居ルノデアリマスカ、此ノ構成ヲ考ヘテ見マスルト、仲買人ヲ廢シナガラ仲買人ヲ存置シタ形ニナツテ、新タニ卸賣會社



ノ中ニ、中間組織が出来タト云フ形ニナツテ居ラウト思フデアリマス、形カラ申上ダマスルナラバ、特設市場ヲ設ケルヤウナコトデアリマスレバ、仲買人ヲ廢サナクテモ宜カツタノデハナカラウカト云フ逆説モ成立ツデアリマシテ、私ハ必ズシモ仲買人ヲ廢止スルコトガ惡イト云フ考ヘハ毛頭持ツテ居ラナイデアリマシテ、要スルニ凡ユル産業ノ部面ニ於テ遊休勞務ヲ動員シテ軍需産業ノ方ニ持ツテ行クト云フヤウナ考ヘカラ致シマシテ、商取引ノ部面ニ於テ成ベク簡略ナル機構シテ行クト云フコトニ付キマシテハ是ハ能ク分ルデアリマス、併シナガラ出來上ツタ特設市場ヲ考ヘテ見マスト、會社ニ於テ——今ハ配給統制協會デアリマスルカ、ソコデ手數料ヲ取ル、更ニソレト同様ニ特設市場ニ於テモ手數料ヲ五分以内ニ於テ取ル、サウスルト結果カラ申上ダマスルナラバ、仲買人ガ存置サレタト同ジヤウナ形デアリマス、而モ之ニ使ハレテ居ル人達ト云フモノノ多クハ、廢業セントスル仲買人ガ之ニ吸收サレテ居ルト云フ形ニナツテ居リマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ機構ノ改革ハ行ハレマシタケレドモ、私共ニハ特設市場ヲ設ケラレタ點ノ納得ガ行カナイデアリマス、特設市場ニ於キマシテハ業務用ト致シマシテ軍關係、或ハ工場關係、更ニ一般料理屋ト申シマスルカ、業務用ノ中ニハ料理屋用ノモノガ入ツテ居ルト思フデアリマスルガ、而モ家庭用ト業務用トニ配分サレル率ト云フモノガ、私ハ必ズシモ公平デアラウトハ思ハナイデアアリマス、少クトモ魚ノ如キ榮養物ヲ配給スル場合ニ於キマシテハ、重點主義ガ採用サレテ然ルベキ筈ダト思フデアリ

マシテ、其ノ點ニ付キマシテハ、米ノ點ニ於テハ重點主義ガ採用サレテ、配給ノ面ニ於キマシテハ色々窮屈ニナツテ居リマスケレドモ、配給ヲ致シマス場合ニ於テ、受ケル方カラ申シマスナラバ、必ズ品物ガ來ルノデアリマスシ、更ニ生産力擴充方面ニ働イテ居ル人達ニハ餘計來ルノデアリマスカラ、此ノ點ニ於テハ安心ヲシテ居ラレル譯デアリマス、併シナガラ魚ノ關係ニ於キマシテハ、之ヲ家庭用ト業務用トニ分ケテ結果ト云フモノハ、業務用ニ餘計流レテ家庭用ニ少クナリ、業務用モ殊ニ不生産的の部面ニ流レテ居ルト云フ傾向ガアリハシナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、此ノ特設市場ニ對スル考ヘ方ニ付テ農林省トシテハ如何様ナル考ヘヲ持ツテ設定サレタノカ、此ノ際承リタイト思フデアリマス

**○井野國務大臣** 仲買人ノ制度ヲ廢シマシタ問題ハ色々ノ理由カラ生ジタノデアリマシテ、單ナル今御述べノ特設市場設置ノ問題トハ別デアリマス、特設設備ヲ設ケマシタノハ、業務用ノ配給ノ爲ニ一般家庭トハ違ツテ特殊ノ色々ノ技能ヲ要スルノデアリマス、隨テ其ノ配給ノ分荷ニ當リマシテ、市場自ラガ之ニ當ルヨリハ從來ノ仲買人ノ中ノ經驗者ヲ以テ特設ノモノヲ組織シテ、サウシテ、業務用ノ配給ノ適正ヲ期スルト云フ爲ニ設ケタノデアリマスカラ、全く仲買人制度ノ廢止トハ別デアリマス、又業務用ト家庭用トノ割合ニ付キマシテハ、現在ニ於キマシテモ家庭用ノ方ヲ重點的ニ考ヘテ居リマス、業務用ノ中ニモ勿論病院ヤ或ハ軍需用色々アリマスカラ、サウ云フ方面ニハ相當ニ割當テテ居リマスケレドモ、一般ノ奢侈用、業務用ノモノハ相當ノ規正ヲ致

シテ居リマス

**○淺沼委員** 仲買人ノ廢止ト特設市場トハ是ハ關係ガアルトハ私モ考ヘテ居マセス、仲買人制度ガ廢止セラレテ特設市場ガ設ケラレタト云フコトヲ私ハ申上ダゲタノデアリマスガ、結果カラ見レバ仲買人ヲ廢サナクテモ宜カツタヤウナコトニナツテ居リハシナイカト思フデアリマス、特設市場ノ存在ト云フモノハ、會社仲買人ガヤツテ居ツタコトヲ會社ガ代理ヲシテ特設市場ニ於テヤツテ居ルト云フ結果トナツトモ變ラナイケレドモ、大體ニ於テ仲買人、更ニ加ヘテ會社側ニ於キマシテ、統制協會ニ於テ手數料ヲ取ツタ上ニ、特設市場デ又手數料ヲ取ル、サウスルトヤハリ同ジ品物ニ付テ市場内ニ於テ二ツノ手數料ガ取ラレルト云フ形ニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハチツトモ變リガナイト思フデアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテハ、私ノ考ヘヲ以テ致シマスルナラバ、特設市場ニ付キマシテハ相當考慮ノ餘地ガアラウト思フデアリマシテ、特ニ特設市場ノ中心トシテ魚ノ配給ヲナサル場合ニ於テ、軍需ハ固ヨリ、工場關係ト云ツタヤウナ生産力擴充ノ爲ニ働イテ居リマス勞務者中心ニ行ハレル場合ニ於テハ是ハ結構デアリマスケレドモ、魚ニモ種類ガアツテツツチノ方ニ向カナイ、或ハ高過ギテ困ルト云フ魚モアルカモ知レマセスガ、併シナガラヤハリ重點ト云フモノハ魚ノ配給デモサウ云フ方面ニ置カナケレバナラスト思フデアリマシテ、率ハ是非トモ公平ニサレルヤウニ、更ニ特設市場ノ存在ニ付キマシテハ一層ノ考慮ヲ煩シタイト思

フデアリマス

其ノ次ニ農林省ニ於キマシテハ、大體此ノ配給機構ノ企業整備ニ付キマシテ、中央市場ノ機構ヲ改革スルト共ニ、小賣業者ニ關シマシテハ、單一商業組合ヲ結成セシメマシテ、魚商業組合ガ警察ヲ中心トシテ、支部ヲ作ツテ、ソレデ配給ヲシテ居ルノデアリマス、併シナガラ今マデノ魚直配會社或ハ小賣商業組合ト云フモノガ、單一商業組合ニ代ツタノデアリマシテ、其ノ間ノ企業合同、其ノ他ニ付キマシテハ何等指示スル所ガナイヤウデアリマス、業者ニ於テハ町内會其ノ他隣組トノ關係ヨリ致シマシテ、自主的ニ二ツアツタ店ハ一ツノ所ニ統合致シマシテ商賣ヤツテ居ル人モアルヤニ承ツテ居リマスケレドモ、マダ企業合同ニ關スル一ツノ方針ガ示サレテ居ラナイヤウデアリマス、隨テ小賣業者ニ對スル企業合同ノ方針、企業整備ノ方針ト云ヒマスカ、是等ニ付テ御考ヘガアレバ伺ヒタイト思フデアリマス

**○辻政府委員** 鮮魚ノ小賣商人ノ企業合同ニ關スル御尋ネデアリマスガ、御話ノ通り先般中央卸賣市場ノ機構ノ整備ト相前後致シマシテ、從來ノ小賣業者ガ全部打ツテ一丸トナリマシテ、東京市全市ヲ區域ト致シマス小賣商業組合ヲ結成致シマシテ、各警察管區毎ニ支部ヲ設ケ、中央卸賣市場ノ再編サレタル機構ト相並行致シマシテ、鮮魚ノ配給統制ノ完璧ヲ期スル目的ヲ以テ活動致シテ居ルノデアリマス、唯其ノ後ノ實情ニ鑑ミマスルト、色々入荷ノ減少ト云フ事態、ソレカラ各小賣店ト消費者トノ結付キト云フ關係等カラ致シマシテ、色々末端ノ鮮魚ノ配給ニ付テモ遺憾ノ點ガアルヤウニ

考ヘラレノデアリマス、此ノ點ハ單ニ鮮魚ニ限リマセズ、青果ノ方面ニ付テモ、或ハ其ノ他ノ生活必需品ノ配給ニ付テモ同様ナ問題ナノデゴザイマシテ、末端ノ配給ノ機構ヲドウ致スカト云フ點ニ付キマシテハ、非常ニ複雑ナ困難ナ問題ガアルト考ヘルノデアリマス、ソレハ東京市、大阪市、神戸市、京都市等ノ大都市ニ於キマシテハ、何レモ各府縣當局、市當局ガ中心トナリマシテ、色々具體案ヲ練ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレハ各都市トモ多少事情ガ異リマスノデ、必ズシモ一概ニ固定ノ標準ヲ示ス譯ニモ參ラナイカト思フノデアリマスルガ、政府ト致シマシテモ各都市ノ具體的ノ實情ニ即應致シマシテ、必要ガアレバ出來ルダケ早イ機會ニ末端配給機構ノ整備ニ付テノ具體的ノ方針ヲ示スコトヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○淺沼委員 マダ具體案ガ出來テ居ラナイサウデアリマスカラ、是以上申上ゲテモ議論ニナルダケノ話デアリマシテ、或ハ意義ガナイカト思フノデアリマスルガ、私ハ少シ通過ギル憾ミナキニシモアラズト云フ感シヲ持ツノデアリマス、實際カラ申シマシテ、物ヲ配給サレル場合ニ於テ、餘リ好マシカラザル状態ガ演ゼラレテ居ルノハ、農林省關係ノ物ガ多イト云フコトハ、是ハ事實ダト思フノデアリマス、菓子ニ致シマシテモ、魚ニ致シマシテモ、更ニ其ノ他ノ生活必需品ノモノニ致シマシテモ、乾物屋等ニ於ケル状態ニ致シマシテモ、大體農林省關係ノモノガ好マシカラザル状態ニ置カレテ居ルト云フコトハ事實ダラウト思フノデアリマス、私共國民ノ立場カラ考ヘマシルト、アア云フヤウナ好マシカラザル状態

ハ一日モ早く解消ヲシテ貰ヒタイト云フ希望ヲ持ツノデアリマス、ソレニモ拘ラズマダ案ガ出來テ居ラヌト云フコトハ、甚ダ私ハ此ノ點遺憾ニ考ヘルノデアリマス、現ニ隣組及ビ町内會ヲ通ジテ魚ノ末端配給ニ登錄制ガ採用サレテ居リマスガ、此ノ登錄制ニ付キマシテモ、魚商ニ依リマシテ、百名、二百名、三百名ト云フヤウニ、非常ニ少イ部面デアリマスシ、多イ所ニナリマスト、一千二百軒カラ一千五百軒位ノモノガアルノデアリマス、大體東京市ダケノ現實ヲ申シマシテモ、百、二百、三百マデノ者デ登錄サレテ居ル業者ガ約三千、多イ所デ一千二百、或ハ一千五百ト云フモノガ業者中二千バカリヲ數ヘテ居ルヤウニ私共承ツテ居ルノデアリマス、是ガ完全ニ隣組ト結付キ、或ハ町内會ト結付イテ居リマスルナラバ、此ノ登錄制ト云フモノハ私ハ宜イト思フノデアリマスガ、昔ノ情實、昔ノ得意關係ニ依ツテ結バレテ居ルト思フノデアリマス、隨テ隣組トハ離レタ形ニ於テ登錄制ト云フモノハナサレテ居リマスカラ、此ノ點ニ非常ニ缺點ガアリハシナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、假ニ米ニ付テ考ヘテ見マスナラバ、一町内ニハ配給所ガ大體一ツ若シクニツデアリマシテ、ソレヲ中心トシテ配給サレテ居ル状態ハ非常ニヨク行ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ魚ニナリマス、是ガヨク行カナイ、米ガヨク行ツテ魚ガヨク行カヌ等ハナイト思フノデアリマシテ、其ノ點ニ付テハ篤ト御考慮願ヒタイト思フノデアリマス、委員長ニ私要求ヲシテ置クノデアリマスガ、此ノコトニ關聯ヲ致シマシテハ、内務次官若シクハ地方局長ノ御出席ヲ私ハ要求シテ居ルノデア

リマシテ、町内會、隣組ノ整備ト末端配給登錄制等ニ關シマシテハ、内務省ノ意見モ承ラナケレバイカヌト思フノデアリマシテ、是非内務省ノ方ガオイデナルヤウ願ヒタイト思ヒマス、若シ今日イカヌト云フコトニナリマスナラバ、此ノ點ハ留保サセテ戴キマシテ、明日デモ聽カシテ戴キタイト思フノデアリマス、モウ一遍念ノ爲メ伺ヒマスルガ、農林省ニ於キマシテハマダ案ガナイト云フ程度ノモノデアツテ、末端配給ヲドウスルカ、或ハ登錄制ヲドウスルカ、或ハ配給所ヲドウ云フ工合ニ設ケルカト云フコトニ付テ、成案ハナイノデセウカ、考ヘヤウニ依リマス、私ハ、一ツノ綜合配給所ト云フヤウナモノヲ副食物ニ對シテ設ケマシテ、ソレヲ中心トシテヤルト云ツタヤウナ案モ考ヘラレルノデハナカラウカ、又反面ニ於キマシテハ、消費者ノ組織ヲ作ツテ、假ニ隣組カラ代表ガ出テ買ヒニ行クト云フヤウナ形ヲ取ツテ、共同購入ノ形ガ出來マスレバ、今アリマスルヤウナ好マシカラザル状態ト云フモノハ解消スルノデヤナイカト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ、マダ案ガナイト云フ以外ニハ申サレヌノカ、モウ一遍念ノ爲メ伺ヒタイト思ヒマス

○井野國務大臣 只今淺沼委員ハ、世間ニ於ケル色々ナ不都合ナ點ガ農林省ノ問題ニ限ラレテ居ルヤウニ御話ニナリマシタガ、農林省ハ食糧問題ヲ全部御取扱ヒ致シテ居ルノデアリマスカラ、食糧ニ關スル責任ハ無論農林省ニアリマス、併シ配給機構ニ付キマシテハ、御承知ノ通り昨年ノ春カラ農林省ノ所管ニナツタノデアリマス、而モ非常ニ物ガ不足ニナツテ來テ、公正ナル分配ヲスル爲メ、或ハ切符制度、或ハ通帳制度

ト云フモノヲ採ラナケレバナラス、ソレニハ配給機構ノ整備ヲシナケレバナラスト云フノデ、先ヅ米屋ノ配給機構ノ整備ヲ致ス、東京等ニ於テハ一万軒モアツタ米屋ヲ千數十軒ニシテ、而モ尙ホ適正ナル配給ヲ致シテ居ルト云フヤウナ次第デアリマシテ、扱ツテ居ル物資ハ、菓子モアリ、味噌モアリ、豆腐モアリ、魚モアリ、野菜モアルト云フ状態デアリマスカラ、此ノ一年ノ間食品局ハ全く不眠不休デ色々施設ヲシテ參ツタノデアリマス、デアリマスカラ、直グサウ云フモノガ出來ナイカラ怪シカラヌト云フコトヲ言ハレマシテモ、中々是ハ難カシイ問題デアリマスガ、魚ニ付テハ今折角食品局デ案ヲ練ツテ居ルノデアリマス、隨テソレ等ノ點ハヨリ一ツ役所ノ方ノ立場モ御考ヘ下サイマシテ、餘リ御不平ノナイヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス

○淺沼委員 私ハ何モ農林省ノヤリ方ガ惡イト申上ゲタノデハナイノデアリマス、偶、好マシカラザル状態ニ置カレテ居ルモノガ農林省デ扱ツテ居ルモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、其ノ點ハ必ズシモ農林省ノヤリ方ガ惡イト云ツテ攻撃ヲシテ居ルノデハナイノデアリマス、農林省ノ食品局ガ中心ニナリマシテ此ノ生活必需品ノ問題ニ付テソレハ苦勞ヲサレテ居リマス、此ノ苦勞ノ點ニ付キマシテハ能ク存ジテ居ルノデアリマシテ、唯扱ツテ居リマス物ガ農林省關係ノモノガ多イ、ソコガ少シ……ト云フヤウナ議論ガアリマスカラ、其ノ通りニ申上ゲタノデアリマシテ、其ノ點ハ決シテ責メタノデハナイノデアリマスカラ御諒承ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、況シテ不平ノ如キモノヲ私申上ゲル

ト云フモノヲ採ラナケレバナラス、ソレニハ配給機構ノ整備ヲシナケレバナラスト云フノデ、先ヅ米屋ノ配給機構ノ整備ヲ致ス、東京等ニ於テハ一万軒モアツタ米屋ヲ千數十軒ニシテ、而モ尙ホ適正ナル配給ヲ致シテ居ルト云フヤウナ次第デアリマシテ、扱ツテ居ル物資ハ、菓子モアリ、味噌モアリ、豆腐モアリ、魚モアリ、野菜モアルト云フ状態デアリマスカラ、此ノ一年ノ間食品局ハ全く不眠不休デ色々施設ヲシテ參ツタノデアリマス、デアリマスカラ、直グサウ云フモノガ出來ナイカラ怪シカラヌト云フコトヲ言ハレマシテモ、中々是ハ難カシイ問題デアリマスガ、魚ニ付テハ今折角食品局デ案ヲ練ツテ居ルノデアリマス、隨テソレ等ノ點ハヨリ一ツ役所ノ方ノ立場モ御考ヘ下サイマシテ、餘リ御不平ノナイヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス

ノデハナイノデアリマシテ、其ノ點ハ、ヤハ  
リ早クヤツタ方宜イノデハナカラウカト云  
フ考ヘガ強ク響クノデアリマシテ、其ノ督促  
ノ意味申上テタノデアリマスカラ、此ノ點モ  
一ツ御諒承願ヒタイト思フノデアリマス

次ニ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマスル  
コトハ、是ハ現實ノ問題デアリマスルガ、  
此ノ間鯷ノ漁ニ對シマシテ油ノ特配ヲヤ  
ラレマシテ、非常ニ效果ガ擧ツテ居ル  
ト思フノデアリマス、丁度今漁期デアリマ  
シテ、此ノ際鯷或ハ其ノ他ノモノニ付キマ  
シテモ特配ヲヤラレマスルナラバ相當漁ガ  
アルノデハナイカト云フコトヲ考ヘルノデア  
リマス、而モサウ云フ意味合カラ致シマシ  
テ、豫算ノ計畫ノ中ニモ油ノ特配等ヲ考ヘ  
テ居ルヤウデアリマスガ、現實今獲レル物  
ニ對シテハ特別ノ配給ヲ考慮スル、而モ其  
ノ油ノ關係ノ割當ト云フモノガ縣々ヲ通ジ  
テ行ハレテ居ルヤウデアリマスガ、是モ私  
ハ政府ノヤリ方トシテハ當然デアルト思フ  
ノデアリマス、併シナガラ縣ニ所屬シテ居  
リマスル船ニ致シマシテモ、三崎ヲ中心ト  
シ、或ハ浦賀ヲ中心トシテ、土佐ノ船ガ動  
キ、或ハ宮城ノ船ガ動キ、福島ノ船ガ動イ  
テ居ル譯デアリマスカラ、サウ云フ所デ品  
物ヲ出スコト、出荷スルコト「リンク」ヲシ  
テ油ヲ出スコト云フヤリ方ヲ致シマスルナラ  
バ、都會地ニハ割合ニ集マツテ來ルノデハ  
ナカラウカト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデア  
リマス、一ツ此ノ際割合ニ近海ヲ獲レルモ  
ノニ對シテ油ノ特配ヲヤル御考ヘハナイ  
カ、承ツテ置キタイト思ヒマス

○井野國務大臣 現在ノ水産事情カラ見マ  
シテ、油ガ或ル程度特配出來マスレバ相當  
ノ漁獲ヲ擧ゲ得ル状態デアリマスノデ、是

ハ海軍等ノ非常ナ御盡力ニ依リマシテ最近  
特配ヲ致シマシテ、而モソレハ重點的ナ特  
配ヲ致シマシテ、或ル限ツタ漁業ニ付キマ  
シテ所謂「リンク」的ナ配給ヲ致シタノデア  
リマス、此ノ點モ油ノ事情ガ更ニ改善サレテ  
參リマスレバモツトヤリタイト云フヤウナ  
意味デ、今御説ノヤウナコトヲヤツテ居ル  
譯デアリマスカラ、左様御諒承願ヒタイ  
ト思ヒマス

○淺沼委員 今大臣ノ言ハレタコトハ鯷ニ  
對スル特配デゴザイマセウカ、ソレ以外ニ  
現在鯖、鬚長ト云ヒマスカ、サウ云フモノ  
ガ獲レル時期ニ至ツテ居リマスガ、サウ云  
フモノニモ特配サレルト云フ御話デアリマ  
スカ

○井野國務大臣 鯷ノ油モ入ツテ居リマス、  
其ノ他色々ノ漁業状態モ考ヘテ今後モ適當  
ナ特配ヲヤリタイト考ヘテ居リマス

○淺沼委員 鯷ノコトハ私モ非常ニ效果ガ  
擧ツテ居ルト云フコトヲ申シタノデアリマ  
シテ、現在鯷カラ鯖、鬚長ト云ヒマスカ、  
斯ウ云フ魚ガ獲レル時期ニ入ツテ來テ居ル  
ノデアリマシテ、斯ウ云フモノニ對シテノ  
特別ナ考慮ヲ拂ハレシコトヲ切望致シテ置  
キマス

其ノ他ニ今中央市場ノ關係ニ付キマシテ  
ハ、大體ニ於テ中央市場ニ付テ食糧管理法  
トノ關係ト云フモノハ、馬鈴薯、或ハ諸ガ  
中央市場ヲ通ルダケノ話ダト云フコトヲ伺  
ツタノデアリマスガ、併シ私ノ考ヘヲ以テ  
致シマスカラ、一ツノ機能ヲ果シテ中央  
市場デアリマスカラ、中央市場カラ更ニ魚  
市場會社ト申シマスカ、卸賣會社ト申シマ  
スカ、卸賣會社其ノ他ノ小賣商人ノ末端ニ  
至ルマデ此ノ配給機構ニ付キマシテハ、當

然何等カノ手段ガ講ゼラルベキ管ダト思フ  
ノデアリマス、此ノ儘ニシテ唯繼合セダケ  
ヲヤルノデナクシテ、新タナル配給ノ機構  
ト云フモノガ當然考慮サレテ然ルベキモノ  
ダト思フノデアリマシテ、又之ヲ計畫サレ  
ルデアラウト思フノデアリマス、併シナガ  
ラ半面ニ於キマシテハソレヲヤルニ當リマ  
シテハ、市場ヲ開設シテ居ル所ノ開設者或  
ハソレト關係ヲ持ツテ居ルソレノ機關  
ノ間ニ連絡ナクシテヤリマス、後ニ摩擦  
ヲ生ズルコトニナルト思フノデアリマシテ、  
必ズ私ハサウ云フ方向ニ移行シテ行クト思  
フノデアリマス、移行シテ行ク限リハ連絡  
ヲ緊密ニシテヤツテ戴キタイ、私ノ農林省  
ニ對スル質問ハ是デ終リマスケレドモ、更  
ニ内務省ニ對スル質問ハ内務省ノ方ガ出ラ  
レル時マデ留保致シマス

○三善委員 淺沼君ノ内務省ニ對スル質  
問ニ對シマシテハ、今内務當局ノ方ニ請求  
致シマシタガ、明日ニシテ戴キタイと思ヒマ  
スカ、明日ニシテ戴キタイと思ヒマス、  
其ノ點ハ留保致シマス、尙ホ明日ハ政府ノ  
方カラ秘密會ノ要求ガアリマスノデ秘密會  
ヲ開キタイト思ヒマス、時間ハ適當ナル時  
ニ開キタイト思ヒマス、秘密會ハ先般高田  
君ノ御質疑ノアリマシタ點、其ノ他ニ付キ  
マシテ特ニ要求シテ居ラレルノデアリマス  
カラ是非御出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、明  
日ハ午前十時カラ開會致シマス、本日ハ是  
ニテ散會致シマス

午後五時二十五分散會  
〔野澤委員發言参照〕  
適正小作料  
地主 小作人  
公租公課 一、肥料代

- 二、一般勞働賃銀
  - 三、家族等同一水準勞力費
  - 四、農業經營費諸費
  - 五、公租公課
- 右地主、小作人ノ支出ヲ確立支出トシテ  
全生産額ヨリコレヲ控除シソノ殘額ヲ地  
主ノ土地資本利子ト小作人ノ經營資本利  
子トヲ評價ノ支出トシテ比例的ニ按分ス  
ル即チ收益按分法ニ依ル適正小作料ヲ基  
準トス

衆議院米穀需給調節特別會計法中改  
正法律案委員會議錄第二回中正誤  
頁 段 行 誤 正  
一一 一三四 食糧 食糧

昭和十七年一月三十日印刷

昭和十七年一月三十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局